# ハイブリッドデジタルレコーダー
# SDR-108HV

## ユーザーマニュアル

Ikegami

このページは AverMedia Information Inc.からのお知らせです。

**FCC (米国連邦通信委員会) に関する通知 (クラス A)**

本装置は米国連邦通信委員会 (FCC) 規則第 15 部に準拠しています。本装置の操作は以下の 2 つの条件を前提としています : (1)本装置は有害な障害を引き起こさないこと、(2)本装置は好ましくない操作結果を引き起こす可能性のある電波障害を含め、いかなる電波障害も容認しなければなりません。

**FCC 適合宣言**

注意- この機器は FCC 適合検査の結果、FCC 規則第 15 部に基づくクラス A に準拠することが確認されています。これらの制限は、住居に設置した場合の有害な電波障害に対する適正な保護を提供することを目的としたものです。この機器は無線周波エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、取り扱い説明書の記載どおりに設置、使用しない場合には、無線通信に有害な電波障害を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置方法において電波障害が発生しないという保証はありません。この機器の電源をオン/オフに切り替えることにより、この機器が無線またはテレビの受信に有害な電波障害を引き起こしたことが確認された場合は、電波障害を修正するために次の対処方法のうちいくつかをお試しください:

- λ 受信アンテナの向きや設置場所を変える。
- λ この機器を受信機から離す。
- λ 受信機が接続されている回路とは別の回路にコンセントを接続する。
- λ 販売店または無線機/テレビに熟達した技術者に相談する。

**ITE (情報技術機器) クラス A**

ITE (情報技術機器) クラス A は、ITE クラス A の制限に適合するが ITE クラス B の制限には適合しないすべての ITE として分類されるものです。この種の機器はその販売が制限されるものではありませんが、使用注意には以下の警告が含まれます:

**警告** – 本製品はクラス A に分類されます。本製品を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

**EC (欧州共同体) に関する適合宣言 (クラス A)**

本製品は EMC (電磁的適合性) に関して欧州指令 2004/108/EEC に準拠しています。

**注意** – 本製品はクラス A に分類されます。本製品を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、電波妨害を修正するために使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

**VCCI-A**

この装置はクラス A に分類されます。この装置を家庭環境で使用すると、電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講じるように要求されることがあります。

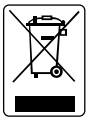
**免責事項**

本書に記載された内容、品質、性能、市販製、特定の目的との適合性に関し、当社は明示または暗示の保証、表現をしません。本書に記載された情報については十分に信頼性が確認されていますが、記載内容の誤りに対し当社は一切責任を負いません。本書に記載された情報は予告なしに変更される場合があります、

いかなる場合も、AVerMedia 社は損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本製品または本書の使用または使用できないことから生じる直接的、間接的、偶発的、特殊なまたは派生的ないかなる損害に対しても責任を負わないものとします。

**商標権について**

AVerMedia は AVerMedia Information, Inc.が使用を認可された AVerMedia TECHNOLOGIES, Inc.の登録商標です。また、IBM PC は International Business Machines Corporation (IBM 社) の登録商標です。Macintosh は Apple Computer, Inc.の登録商標であり、Microsoft は Microsoft 社の登録商標、Windows は Microsoft 社の商標です。本書に記載されたその他すべての製品および社名は識別と説明の用途にのみ使用されたものであり、これらは該当する所有者の商標または登録商標です。



×印のついた車輪付きゴミ箱マークは、本製品が家庭ゴミとして破棄できないものであることを意味します。この機器を処分する際は、産業廃棄物の所定の収集場に引き渡す必要があります。産業廃棄物の引渡し場所については、各地の行政窓口または本製品の販売店までお問い合わせください。

**電池の安全情報** (リモコンには電池が使用されています。)

- 電池は涼しく湿気の少ない場所に保存してください。
- 使用済みの電池を家庭ゴミとして廃棄しないでください。電池は専用回収ポイントに廃棄するか、販売店 (該当する場合) に返却してください。
- 長期間使用しない場合は電池を取り外して保管してください。消耗した電池はリモコンから取り外してください。電池の液漏れや腐食はリモコンの損傷の原因となります。電池は安全に廃棄してください。
- 新しい電池と古い電池を混合して使用しないでください。
- 種類の違う電池を混合して使用しないでください: アルカリ電池、標準電池 (亜鉛電池) または充電池 (ニッケルカドミウム)
- 電池を火気に投入しないでください。爆発または液漏れする恐れがあります。
- 電池の端子をショートさせないでください。

**警告**

火事や感電の恐れがあるため、この機器を雨のあたる場所や湿気の多いところに設置しないでください。

**注意**

本パッケージに含まれる内容に損傷、不足、不適当なものがあった場合、お住まいの地域の販売店までご連絡ください。 本製品の不正改造を行うと保証の対象外となります。

**通知**

- 本書に記載された情報は予告なしに変更される場合があります。
- 本書に含まれる情報は、あくまで参考用とみなされます。

**通知**

- ハードディスクドライブは消耗品です。
- 本機がさらされる環境や使用環境によってはハードディスクドライブの寿命を短くすることがありますのでご注意ください。
- ハードディスクドライブの交換、増設については池上通信機（株）の代理店もしくは弊社営業担当にご連絡ください。
- お客様によってハードディスクドライブの交換、増設を実施された結果について、池上通信機（株）はその責を負うものではありません。

**通知**

- インターネットを経由する機能については、お客様のインターネット環境に合わせた設定が必要です。
- お客様のインターネット環境の変更が必要となる場合もありますので、池上通信機(株)の代理店もしくは弊社営業担当にご相談ください。

安全上のご注意

# 安全に正しくお使いいただくために

ご使用の前にこの「安全に正しくお使いいただくために」と「取扱説明書」をよくお読みの上、
正しくお使いください。
お読みになった後はいつでも見られる所に保管してください。

## 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや
他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。
.お買い上げになった機器に当てはまらない注意事項もありますが、ご了承ください。

| | |
|---|---|
| **警告** | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |

| | |
|---|---|
| **注意** | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

## 絵表示の例

| | |
|---|---|
| | △記号は注意（危険･警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。<br>図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。 |

| | |
|---|---|
| | ○記号は禁止の行為であることを告げるものです。<br>図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。 |

| | |
|---|---|
| | ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。<br>図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。 |

## 使用上の注意　　⚠警告

●本機のケース･裏パネル等をはずさない!
内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。内部の点検･整備･修理は販売店または営業マンにご依頼ください。

●本機の上に水などの入った容器を置かない!
こぼれて中に入ると、火災･感電の原因になります。

●本機の上に小さな金属物を置かない!
中に入ると、火災･感電の原因となります。

●表示された電源電圧以外は使用しない!
火災･感電の原因となります。

●本機に水が入ったり、ぬらしたりしない！ 火災･感電の原因になります。
雨天･降雪中･海岸･水辺での使用は特にご注意ください。

●本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない！
落とし込まない！ 火災･感電の原因となります。

●電源コードを傷つけない！ 加工しない！ 無理に曲げない！ねじらない！
引っ張らない！ 加熱しない！ コードが破損して火災･感電の原因となります。

●本機を改造しない！
火災･感電の原因となります。

●風呂、シャワー室などの水場では使用しない！
火災･感電の原因となります。

●雷が鳴り出したら、同軸コネクタ/ケーブルや電源プラグに触れない！
感電の原因になります。

●指定された消費電力（W）を越える装置は接続しない！
火災の原因となります。 本機の AC アウトレットが供給できる電力（W）は AC アウトレット付近または取扱説明書に表示してあります。

## 設置について　　⚠警告

●不安定な場所に置かない！
落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

●電源コードの上に重いものを置かない！　本機の下敷きにしない！
コードが傷ついて、火災・感電の原因になります。コードの上を敷物などで覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

●水場に設置しない！
火災・感電の原因となります。

●指定された機器以外とは接続しない！
火災・感電の原因となります。

●本機の固定は工事専門業者に依頼を！　本機を固定する場合は、指定された方法できちんと固定しないと、落ちたり、倒れたりして、火災・感電・けがの原因になります。 特に、壁や天井に固定する場合は、必ず工事専門業者にご依頼ください。 なお、取付け費用については、販売店または営業マンにご相談ください。

## 異常時の処理について

●煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！　そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認して、販売店または営業マンに修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンにご連絡ください。

●本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンにご連絡ください。

●本機が故障した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンに修理をご依頼ください。

## 異常時の処理について　　⚠警告

●本機を落としたり、ケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、
電源プラグを抜く！ そのまま使用すると、火災･感電の原因となります。
販売店または営業マンにご連絡ください。

●電源コードが傷んだ（芯線の露出･断線など）場合は、交換を依頼する！
そのまま使用すると、火災･感電の原因となります。
販売店または営業マンに交換をご依頼ください。

## 乾電池について

●機器使用の乾電池を、お子様の手の届くところに置かない！
電池はお子様の手の届かない所に置いてください。
万一、飲み込んだ場合は医師に相談してください。

## 使用上の注意　　⚠注意

●本機に乗らない！
倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

●本機の上に重いものを置かない！
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。

●移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続
ケーブルをはずす！ コードが傷つき、火災･感電の原因となることがあります。

●長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く！
火災の原因となることがあります。

## 使用上の注意

●専用 AC アダプタ以外は使用しない！
定格外の AC アダプタを使用すると、火災･感電の原因になることがあります。

●レンズで太陽･照明などをのぞかない！
強い光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

## 設置について

●湿気やほこりの多い場所に置かない！
火災･感電の原因となることがあります。

## 設置について　　⚠注意

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たる場所に置かない！
火災･感電の原因となることがあります。

●本機の通風孔をふさがない！ 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 次のような使い方はしないでください。
本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。 風通しの悪い狭い所に押し込む。
じゅうたんや布団の上に置く。 テーブルやクロスなどを掛ける。

●電源コードを熱器具に近づけない！
コードの被ふくが溶けて、火災･感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！ コードが傷つき、
火災･感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない！
感電の原因となることがあります。

## 乾電池について

●指定以外の乾電池は使用しない！ 乾電池の破裂･液もれにより、
火災･けが･周囲を汚損する原因となることがあります。

●新しい電池と古い電池を混ぜて使わない！ 乾電池の破裂･液もれにより、
火災･けが･周囲を汚損する原因となることがあります。

●乾電池は極性（＋,－）を正しくつなぐ！ 間違えると、乾電池の破裂･液もれにより、火災･けが･周囲を汚損する原因となることがあります。

●乾電池を分解･加熱しない！火中･水中に投げ入れない！
ショートや破裂･液もれにより、火災･けがの原因となることがあります。

## お手入れについて　　⚠注意

●お手入れの際は安全のため、スイッチを切り電源プラグを抜く！
感電の原因となることがあります。

●一年に一度くらいは、販売店または営業マンに内部の掃除の相談を！
本機の内部にほこりがたまったまま使用し続けると、火災･故障の原因に
なることがあります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、掃除費用については販売店または営業マンにご相談ください。

# 目次


**第 1 章　はじめに ..... 1**
1.1　このパッケージに含まれるもの ..... 1
1.1.1　オプション製品（別売） ..... 1
1.2　機能と仕様 ..... 2
1.3　前面パネル ..... 4
1.4　背面パネル ..... 5
1.5　DVR ユニットのセットアップ ..... 6
1.5.1　各種デバイスの接続 ..... 6
1.6　センサー、リレーおよび RS485 用ピン穴配置 ..... 7
1.6.1　センサー用ピン配置 ..... 7
1.6.2　リレー用ピン配置 ..... 7
1.6.3　RS485 用ピン配置 ..... 8
1.7　リモコンのボタンの名称と説明 ..... 9
**第 2 章　DVR ユニットの操作 ..... 12**
2.1　DVR ユニットの操作方法 ..... 12
2.1.1　DVR ユニット初回使用時 ..... 12
2.1.2　On Screen Keyboard（仮想キーボード）の使用 ..... 14
2.2　プレビューモード時のボタンの名称と説明 ..... 15
2.2.1　E マップのセットアップと使用 ..... 17
2.2.2　PTZ カメラコントローラのボタンの名称と説明 ..... 18
2.2.2.1　PTZ カメラのセットアップ ..... 19
2.2.3　イベントログビューアの使用 ..... 20
2.3　再生モード時のボタンの名称と説明 ..... 21
2.3.1　映像のセクションへの Bookmark（ブックマーク）の設定 ..... 23
2.3.2　ビジュアルサーチ検索 ..... 24
2.3.3　Event Search（イベントサーチ）の使用 ..... 25
**第 3 章　DVR システムのカスタマイズ ..... 26**
3.1　システムの設定 ..... 26
3.2　カメラの設定 ..... 30
3.2.1　IP カメラのセットアップ ..... 30
3.2.2　アナログカメラのセットアップ ..... 35
3.2.3　リモート DVR からのカメラのセットアップ ..... 36
3.3　録画設定 ..... 37
3.3.1　IP カメラの録画設定 ..... 37
3.3.2　アナログカメラの録画設定 ..... 38
3.4　ネットワークのセットアップ ..... 41
3.5　スケジュールの設定 ..... 44

3.6 バックアップの設定 ..... 45
3.6.1 QPlayer を使用したバックアップ映像の再生 ..... 46
3.6.2 Visual Search (ビジュアルサーチ) を使用した検索 ..... 49
3.6.3 Event Search (イベントサーチ) を使用した検索 ..... 49
3.6.4 Intelligent Search (選択的サーチ) を使用した検索 ..... 50
3.7 センサーの設定 ..... 51
3.8 リレーの設定 ..... 52
3.9 アラームの設定 ..... 53
3.10 ユーザーのセットアップ ..... 57
**第 4 章 リモートプログラムの使用 ..... 59**
4.1 WebViewer のボタンの名称と説明 ..... 60
4.1.1 リモートシステムのセットアップ ..... 62
4.1.1.1 システムの設定 ..... 62
4.1.1.2 カメラの設定 ..... 64
4.1.1.3 録画設定 ..... 68
4.1.1.4 ネットワークの設定 ..... 72
4.1.1.5 アラームの設定 ..... 74
4.2 WebViewer PTZ のボタンの名称と説明 ..... 78
4.3 リモートコンソールのボタンの名称と説明 ..... 79
4.3.1 リモートコンソールのセットアップ ..... 80
4.3.2 PTZ カメラコントローラのボタンの名称と説明 ..... 81
4.4 リモート再生の使用 ..... 82
4.4.1 ローカル再生時のボタンの名称と説明 ..... 83
4.4.1.1 録画映像の一部分 (時間) を切り取って保存する ..... 85
4.4.2 リアルタイム再生時のボタンの名称と説明 ..... 86
4.4.3 ダウンロードして再生時のボタンの名称と説明 ..... 88
付録 A ドメイン名の登録 ..... 90
付録 B ネットワークのサービスポート ..... 91
付録 Cファンクションキーの使用 ..... 92

# 第 1 章　はじめに

## 1.1 このパッケージに含まれるもの

(1)

(2)

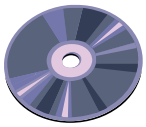
(3)

(4)

(5)

(6)

(7)



(8)

- ☐ (1) DVR 本体
- ☐ (2) USB マウス
- ☐ (3) ユーザーマニュアル
- ☐ (4) AC アダプター
- ☐ (5) 赤外線リモコン
- ☐ (6) 電源ケーブル
- ☐ (7) オーディオケーブル(8CH 入力/1CH 出力)
- ☐ (8) ソフトウェア CD-ROM (ユーザーマニュアル)

### 1.1.1 オプション製品（別売）

ラックマウント用金具

## 1.2 機能と仕様

■ **主な特徴**

- 安定性に優れたスタンドアローンハイブリッド DVR
- 最大 8ch の IP カメラ又はアナログカメラ入力
- 最大 240 フレーム/秒 (D1 換算) の映像録画
- 各チャンネルで独立したフレームレート･解像度設定
- 直感的かつユーザーフレンドリーな操作画面
- ローカル/リモートでのライブ監視及び映像再生が可能
- 多彩なコントロール:マウス、キーボード、リモコン、本体フロントパネル、リモート設定
- VGA 出力、スポットモニター (2 系統) 、ループスルー出力 (ケーブル別売) を利用可能
- 最大 4 台の HDD を搭載可能
- ネットワーク帯域を有効に活用出来るギガビット LAN ポートを装備
- 16 入力のセンサーイン、4 つのリレー出力

■ **解像度**

- アナログカメラ: D1,HalfD1,CIF
- IP カメラ:
  - CH1 ～ CH7 最大解像度 1900×1200 をサポート
  - CH8 最大 5 メガピクセルのカメラをサポート

■ **映像**

- 最大 8ch のアナログビデオ又は 8ch の IP カメラを入力可能
  (組み合わせた上で合計最大 8ch 映像入力)
- 音声 8ch 入力、1 音声出力
- インターレスノイズ除去機能

■ **表示**

- IP カメラ映像:最大 120fps 表示 (D1 解像度換算)
- アナログカメラ映像:リアルタイム表示
- 1,4,8,9 分割表示及びシーケンシャル表示対応
- 選択エリアのデジタルズーム機能
- PTZ カメラ制御対応

■ **録画**

- 対応ビデオストリーミングフォーマット:M-JPEG、MPEG4
- IP カメラ、アナログカメラ併せて最大録画速度 240fps (D1 解像度換算)
- 録画方法:モーションディテクション、連続録画、スマート録画、スケジュール録画

■ **検索、再生、バックアップ**

- 日付、時間を指定してのチャネル毎再生
- 多彩な検索機能:日付、時間、カメラ、イベント、ログファイル検索
- タイムサーチバーを用いた簡単映像検索
- ブックマーク機能:特定の記録データにブックマークを設定可能
- ログビューワーを用いて、オペレーション、システム又はネットワークイベントからの映像検索可能
- DVD±RW、USB メモリ又は外付け HDD に映像データのバックアップが可能

■ **リモート監視**

- CMS ソフトウェア対応 (CM3000-別売)
- リモートコンソール/Web ビューアに対応 (一部別売ソフトウエア)

■ **E-map 機能**

- E-map 上にカメラ、センサー、リレー出力デバイスの位置を視覚的に配置可能
- 最大 8 枚の地図を保存可能

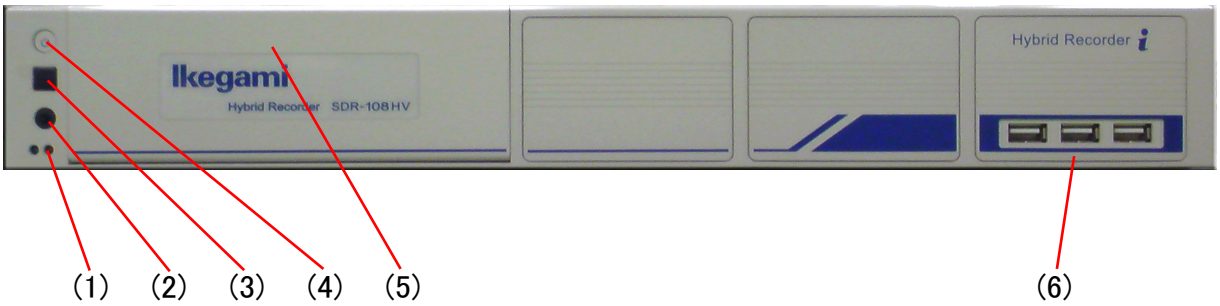
■ **アラーム機能**

- 以下のイベントやアラームを組み合わせてアラーム機能が使用可能
- HDD エラー
- E-map 表示
- 警告音
- メール送信
- ファイルの FTP 送信
- 映像を CMS ソフトウェアに送信
- PTZ プリセットポイントのトラッキング
- 記録開始
- カメラ映像の最大化

■ **その他**

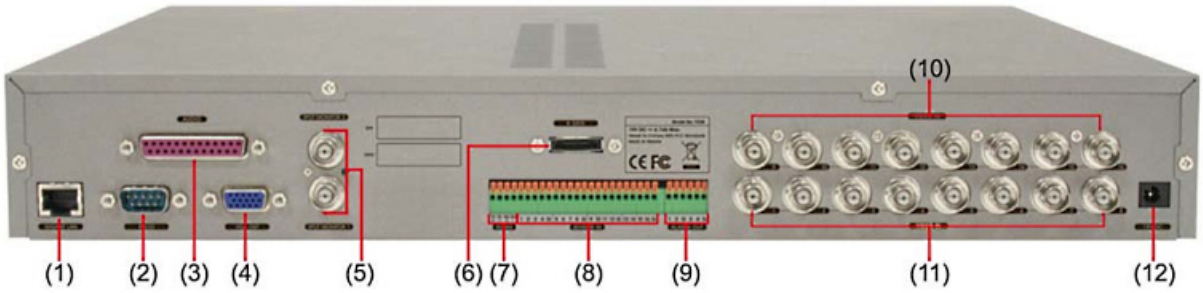
- 内蔵 DVD ドライブでの直接書き込みが可能
- ラックマウント可能（要ラックマント金具:別売）

# 1.3 前面パネル




| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (1) システムインジケータ | 緑 LED : システムの電源が入っている時に点灯します。<br>赤 LED : 映像を録画している時に点滅します。 |
| (2) IR センサーポート | IR センサー延長ケーブル接続用（オプション） |
| (3) IR センサー | リモコンから DVR ユニットへの操作信号を受信 |
| (4) 電源スイッチ | DVR ユニット本体の電源 ON/OFF |
| (5) DVR-ROM | DVD±R/DVD±RW ディスクへの録画ファイルバックアップ用 |
| | ⓘ CD-R/RW にはシステムとして非対応です。 |
| (6) USB ポート | USB デバイスへのバックアップ（USB メモリ、HDD や DVD） |

# 1.4 背面パネル

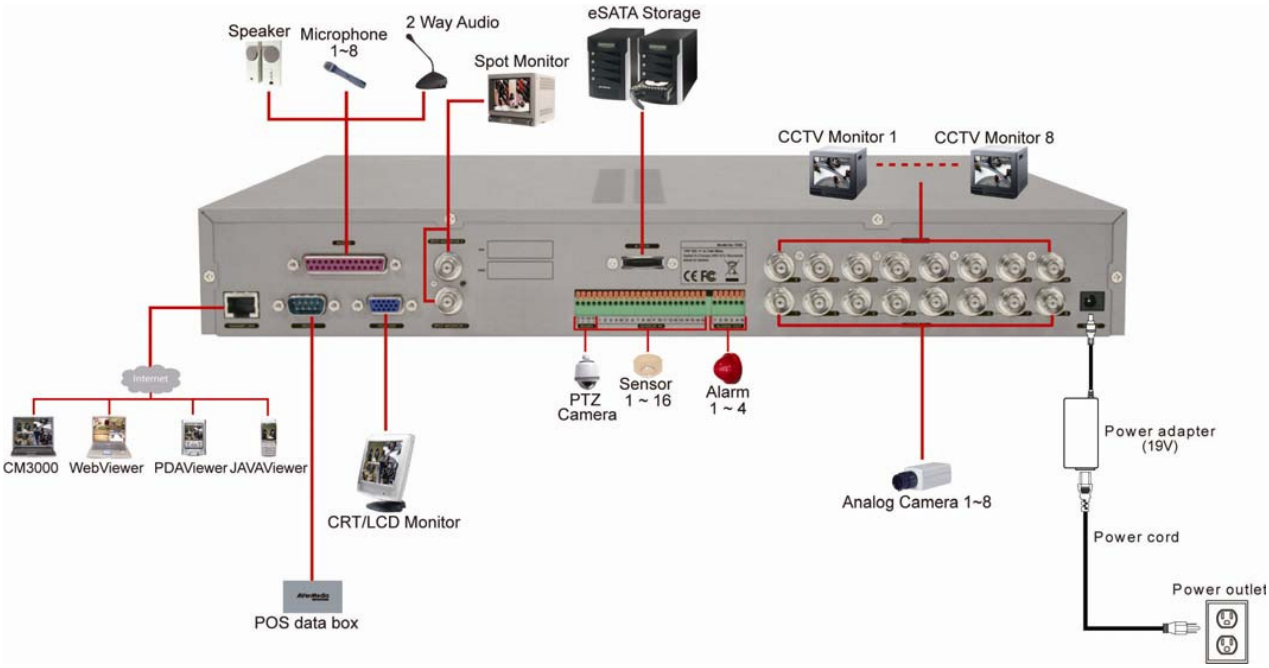



| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (1) LAN ポート | ギガビットイーサネット接続用ポートです。 |
| (2) RS232 ポート | シリアルデバイス接続用ポートです。 |
| (3) 音声入力/出力<br>マイク入力 | 音声信号を音声信号入出力デバイスへ出力します。 |
| 音声入力･出力デバイスは別途電源が必要です。 | |
| (4) VGA 出力 | 映像信号を CRT または液晶モニターへ出力します。 |
| (5) スポットモニター 1 / 2 | スポットモニター出力用ポートです。 |
| (6) eSATA ポート | eSATA RAID との接続用端子です。 |
| (7) RS485 | PTZ カメラ接続用端子です。 |
| (8) センサ入力 | 最大 16 センサデバイスに対応しています。 |
| (9) リレー出力 | 4 つのリレーデバイスに対応しています。(リレー:1A @ 125V AC/30V DC) |
| (10) ループスルー出力端子 | 入力された映像の、ループスルー専用 出力端子です。 |
| (11) 映像入力端子 | 1 ～ 8 チャンネルのビデオカメラのアナログ信号を入力します。 |
| (12) 19V DC 接続 | AC アダプタ接続用端子です。 |

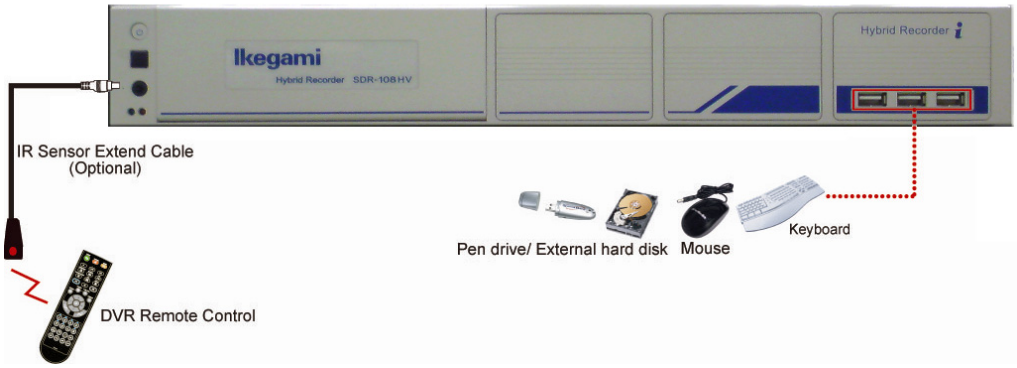
# 1.5 DVR ユニットのセットアップ

## 1.5.1　各種デバイスの接続

本体の背面にはカメラ入力（アナログと IP の組み合わせで最大 8ch）、16 個のセンサーイン、
4 つのリレー出力、および VGA 出力コネクタが装備されています。
下図を参考に各機器を接続して下さい。




録画データをバックアップするには、本体前面にある USB ポートに USB メモリ、外付け HDD（別売）を
接続して下さい。 バックアップしたデータは付属のソフトウェアで再生や加工が可能です。
下図を参考に各機器を接続して下さい。



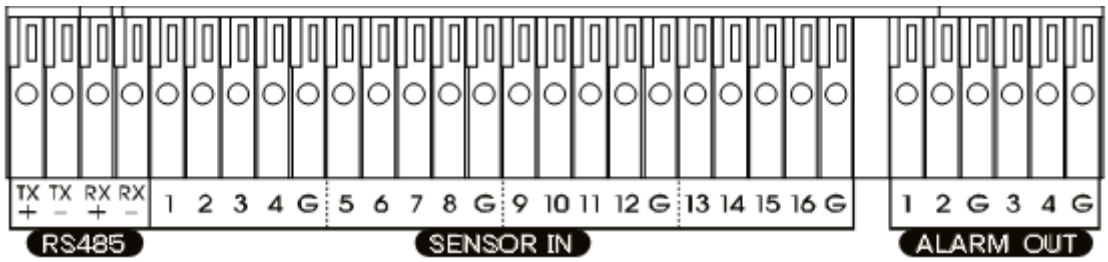

USB フラッシュメモリおよび外付けハードディスクは FAT32 形式のものを使用してください。

- すべての外部接続デバイスには外部電源が必要です。
- 本 DVR ユニットには、最大で 8 台までのカメラ（アナログ･IP 混合可）が接続可能です。

# 1.6 センサー、リレーおよび RS485 用ピン穴配置

センサーおよび、アラームの接続は 16 のセンサー入力および 4 つのリレー出力があり、
PTZ カメラは 1 台接続可能です。

外付けセンサー、リレーおよび PTZ カメラのピンを直接ピン穴へ接続します。
センサー入力および、リレー出力に対応するピン配置については、以下の表を参照してください。




## 1.6.1 センサー用ピン配置

| センサーピン# | 信号名 | センサーピン# | 信号名 |
|---|---|---|---|
| 1 | センサー1 信号 | 9 | センサー9 信号 |
| 2 | センサー2 信号 | 10 | センサー10 信号 |
| 3 | センサー3 信号 | 11 | センサー11 信号 |
| 4 | センサー4 信号 | 12 | センサー12 信号 |
| G | センサーグランド | G | センサーグランド |
| 5 | センサー5 信号 | 13 | センサー13 信号 |
| 6 | センサー6 信号 | 14 | センサー14 信号 |
| 7 | センサー7 信号 | 15 | センサー15 信号 |
| 8 | センサー8 信号 | 16 | センサー16 信号 |
| G | センサーグランド | G | センサーグランド |

## 1.6.2 リレー用ピン配置

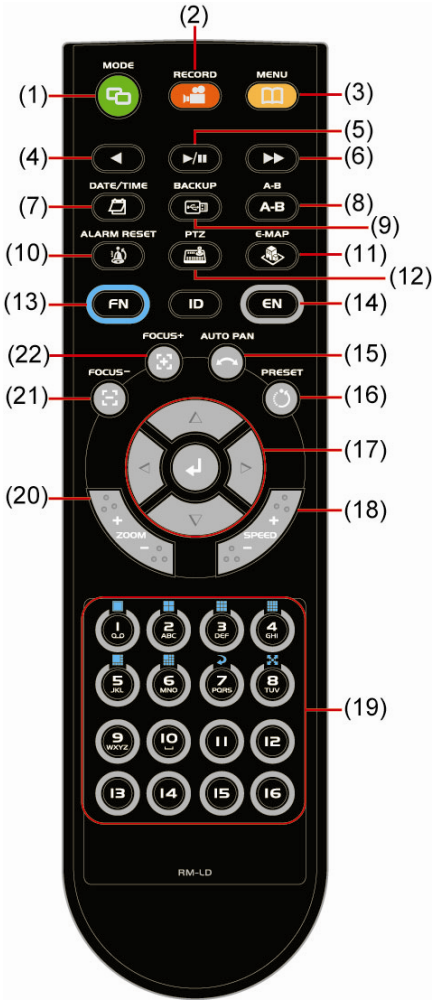
| リレーピン# | 信号名 |
|---|---|
| 1 | リレー1･信号 |
| 2 | リレー2･信号 |
| G | リレー1/2･グランド |
| 3 | リレー3･信号 |
| 4 | リレー4･信号 |
| C | リレー3/4･グランド |

## 1.6.3 RS485 用ピン配置

RS485 インタフェースを通して PTZ カメラを接続する場合、以下のピン配置を参照して DVR と PTZ を接続してください。

| ピン# | DVR 側 | PTZ カメラ側 |
|---|---|---|
| TX+ | RS485 TX+信号 | RS485 RX+信号 |
| TX− | RS485 TX−信号 | RS485 RX−信号 |
| RX+ | RS485 RX+信号 | RS485 TX+信号 |
| RX− | RS485 RX−信号 | RS485 TX−信号 |

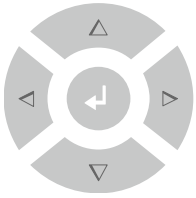
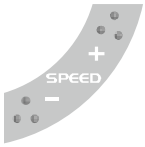
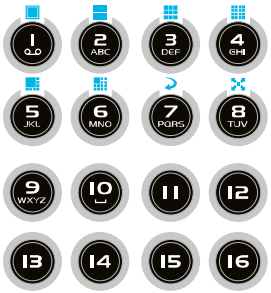
# 1.7 リモコンのボタンの名称と説明




| Name | Function |
|---|---|
| (1) | 再生モードに切り替えます。 |
| (2) | 録画を開始します。 |
| (3) | システムセットアップメニューの表示を ON/OFF します。 |
| (4) | 映像の巻き戻しです。 |
| (5) | 映像の再生を始めます。<br>一時停止します。 |
| (6) | 映像の早送りをします。 |
| (7) | 再生するファイルを録画日時で選択します。 |
| (8) A-B | A-B リピートの ON/OFF です。 |
| (9) | 録画されたビデオファイルから USB ストレージデバイス（USB メモリー、外付け HDD）や DVD にバックアップを取ります。 |
| (10) | アラームステータスのリセットスイッチです。 |
| (11) | E マップモードの ON/OFF スイッチです。 |
| (12) | PTZ モードへ切り替え。選択するカメラが PTZ カメラの場合、PTZ ボタン と（ から ）までのボタンを押すことにより、PTZ コントロールモードに切り替えます。 |

| Name | Function |
|---|---|
| (13) FN | ファンクションキーは他のキーとの組み合わせにより多彩な機能を実現します<br>- FN キーを押した後以下のキーを押して下さい。機能がアクティブになった時は画面左下に「FN」表示が確認できます。<br>- 機能をキャンセルしたい場合は FN をもう一度押して下さい。「X」が表示されます。<br>FN + 1 : 1 画面表示モードに切り替えます。<br>FN + 2 ABC : 4 分割画面表示モードに切り替えます。<br>FN + 3 DEF : 9 分割画面表示モードに切り替えます。:<br>FN + 5 JKL : 1 画面と 7 画面 + 1 画面表示モードに切り替えます。<br>FN |

| Name | Function |
|---|---|
| (13) FN | FN + 7 PQRS : 自動スキャン機能をオンにします。<br>FN + 8 TUV : 全画面表示モードに切り替えます。<br>FN + 📖 : チャネル名、日付、時間、HDD 使用状況の表示を切り替えて表示でき、4 つの表示モードがあります。<br>λ 全ての項目を表示します。（チャネル名、日付、時間、HDD 使用状況）<br>λ チャネル名のみ表示しません。<br>λ チャネル名のみ表示します。<br>λ 全項目表示しません。<br>FN + 9 WXYZ から 16 この組み合わせには機能が割り振られていません |
| | テキスト入力モードに切り替えます。<br>1 から 16 までを押すと、以下の文字･数字･記号を入力できます。<br>EN の跡に押すと［］内の入力ができます。<br>（11）から（16）が記号入力「 !, #, $, %, & 」に対応しています。 |
| (14) FN | 1 : 1、[ delate/削除 ]<br>2 ABC : 2、[ abc ABC ]<br>3 DEF : 3, [ def DEF ]<br>4 GHI : 4, [ ghi GHI ]<br>5 JKL : 5, [ jkl JKL ]<br>6 MNO : 6, [ mno MNO ]<br>7 PQRS : 7, [ pqr PQR ]<br>8 TUV : 8, [ tuv TUV ]<br>9 WXYZ : 9, [ wxyz WXYZ ]<br>10 : 10 、[ スペース ] |
| (15) | オートパン機能を ON にします。 |
| (16) | PTZ カメラをプリセットしたポジションに移動させます<br>+ チャネル番号ボタン（1 ～ から 16 ）まで。 |

| Name | Function | |
|---|---|---|
| (17)  | | カメラおよびポインターを左に移動します。 |
| | | カメラおよびポインターを右に移動します。 |
| |  | カメラおよびポインターを上に移動します。 |
| | | カメラおよびポインターを下に移動します。 |
| |  | 確認及び選択･決定します。 |
| (18)  | Speed + : PTZ カメラの移動速度を速くします。 | |
| | Speed − : PTZ カメラの移動速度を遅くします。 | |
| (19)  | | - プレイバックやプレビューモードでパスワードの入力に使用します。<br>- プレイバックやプレビューモードでカメラの選択に使用します。 |
| | | PTZ カメラコントロールモードでのプリセットポジションの決定。  |
| | | FN ボタンと組み合わせて使用する事により、フルスクリーン表示を含める、異なった表示に切り替える事が出来ます。<br>（詳細は 1.7 章参照） |
| (20) | Zoom + : PTZ カメラをズームアップします。 | |
| | Zoom − : PTZ カメラをズームダウンします。 | |
| (21)  | PTZ カメラをフォーカスアウトします。 | |
| (22)  | PTZ カメラをフォーカスインします。 | |

ID ボタンは本機ではサポートされていません。

# 第 2 章　DVR ユニットの操作

## 2.1 DVR ユニットの操作方法

本 DVR ユニットには 3 つの操作手段があります:

1. **マウスおよびキーボードの使用**
   USB インタフェースを通してマウスとキーボードを接続することで、本 DVR ユニットを簡単に操作することができます。 本 DVR ユニットの初回使用時、すべての DVR 関連の構成を設定する際にマウスとキーボードを使用すると便利です。本機には **On Screen Keyboard（仮想キーボード）** が搭載されています。
2. **リモコンの使用**
   DVR ユニットのセットアップ終了後は、リモコンを使ってプレビュー、再生、バックアップ、アラームリセット、映像出力などを行うことができます。

3. **前面パネルボタンの使用**
   前面パネルでも DVR ユニットの操作が行えます。 前面パネルボタンはリモコンのボタンと同じ機能を持ちます。

---

本 DVR ユニットの初回使用時、マウスとキーボードを使用してすべての構成を設定します。

---

### 2.1.1　DVR ユニット初回使用時

1. マウスを（USB インタフェースから）本 DVR ユニットに接続します。
2. **On Screen Keyboard**（仮想キーボード）を選択します。

---

以下の 4, 5, 6 項については池上通信機（株）にて設定済みです。

---

3. DVR ユニット本体の電源を入れます。
4. セキュリティ確保のため、本 DVR システムにアクセスするにはユーザーID とパスワードの入力が必要です。（メーカーからの工場出荷時はデフォルトの ID「**superuser**」とパスワード「**111111**」となっていますが、お客様の機器の設定については池上通信機（株）の代理店もしくは弊社営業担当にご確認ください。）

5. ハードディスクは本 DVR ユニットでの使用前にフォーマットしておく必要があります。 以下の手順に従ってハードディスクをフォーマットします:
   a. **Setup (設定)** をクリックし、パスワードを入力します。
   b. **System (システム)** → **Add (追加)** をクリックします。
   c. デバイス一覧からハードディスクを選択し、**Format type (フォーマット形式)** を選択します
   d. **Format (フォーマット)** ボタンをクリックしてフォーマットを開始します。
   e. フォーマットが完了したら **OK** をクリックします。

6. 録画日時を正確にしておくために日付と時刻を設定します。
   以下の手順に従って日付と時刻を設定します:
   a. **Setup (設定)** をクリックし、パスワードを入力します
   b. **Time (時刻)** セクションで **System Time (システムの時刻)** の **Setting (設定)** をクリックします。
   c. 日付を選択し、時刻を調節して **OK** をクリックします。

7. 以下の手順に従って IP カメラおよびアナログカメラを接続します。
   λ **アナログカメラを接続する:**
      a. アナログカメラの映像ケーブルを DVR ユニットの映像入力端子に差し込みます。
      b. **Setup (設定)** → **Camera (カメラ)** をクリックします
      c. カメラのチャンネルを選択し、カメラの種別としてアナログカメラを選択します。
      d. **Enable (適用)** 枠にチェックを入れカメラをアクティブにします。
      e. カメラ名を入力し、簡単な説明を入力します。
      f. カメラの **Bright (輝度)** 、**Contrast (コントラスト)** 、**Hue (色相)** 、**Saturation (彩度)** を調整します。
      g. **OK** をクリックします。

λ **IP カメラを接続する:**

a. **Setup (設定)** → **Camera (カメラ)** をクリックします
b. カメラのチャンネルを選択し、カメラの種別として IP カメラを選択します。
c. **Enable (適用)** 枠にチェックを入れカメラをアクティブにします。
d. **IP Setting (IP 設定)** をクリックします。
e. **Protocol (プロトコル)** をアクティブにし、次に **protocol (プロトコル)**、**mode (モード)**、**video format (映像形式)** および IP カメラの **channel (チャネル)** を選択します。
f. IP カメラの **IP address (IP アドレス)** または **URL** を入力します。
g. IP カメラのアクセス許可が必要な場合は **ID** と **password** を入力します。
h. **OK** をクリックします。
i. 更に次の IP カメラを接続するには、上記手順を繰り返します。

- 本 DVR ユニットには、最大で 8 台までのカメラ（アナログ･IP 混合可）が接続可能です。
- 本 DVR ユニットは外付けデバイスに電源を供給しません。

## 2.1.2 On Screen Keyboard (仮想キーボード) の使用

USB キーボードが利用できない場合は、**On Screen Keyboard (仮想キーボード)** を使用することができます。 のクリックまたは画面の右クリックから、**On Screen Keyboard (仮想キーボード) を**呼び出します。大文字の入力には **Caps (大文字)** ボタンをクリックします。 終了するには **Esc (終了)** をクリックします。

# 2.2 プレビューモード時のボタンの名称と説明

| 名称 | | 機能 |
|---|---|---|
| (1) | Exit (終了) | **Reboot (再起動)** : DVR システムを再起動します。 パスワードの入力が必要です<br>**Power Off (電源オフ)** : DVR システムをシャットダウンします。 パスワードの入力が必要です。<br>**Login (ログイン)** : 別の ID で DVR システムにログインします。<br>**Cancel (キャンセル)** : DVR アプリケーションに戻ります。 |
| (2) | 画面分割モード | 全カメラ映像の均等表示、単一カメラ映像の表示または 1 台のメイン映像ウィンドウと他のカメラの小ウィンドウの同時表示など、4 つの画面分割パターンから選択します。 カメラ番号を切り替えて表示することも可能です。 |

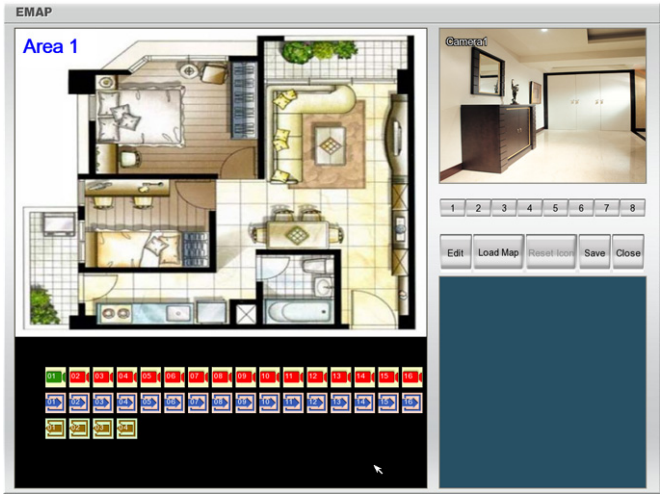
- シングル画面モード時に**右クリック**して**ドラッグ**により領域を指定すると、その領域が拡大表示されます。
- 全画面表示モードでは部分拡大がサポートされません。

| | | |
|---|---|---|
| (3) | Record (録画) | 映像の録画開始/停止を制御します。 |
| (4) | Emap (E マップ) | カメラ/センサー/リレー/警告の位置をエリアごとにマップ表示します (2.2.1 参照)。 |
| (5) | Network (ネットワーク) | システムへの遠隔アクセスをオン/オフします。 インターネット接続を通して遠隔地から DVR サーバにアクセスするための機能です。 デフォルトでオフに設定します。 |
| (6) | Setup (設定) | システム構成の設定です。(第 3 章 参照) |
| (7) | PTZ | PTZ カメラのコントロールパネルへアクセスします。(2.2.2 参照) |
| (8) | Preview (プレビュー) | プレビューモードに切り替えます。 ライブ映像を表示します。 |
| (9) | Playback (再生) | 再生モードに切り替えます。 録画された映像ファイルを表示します。(2.3 参照) |
| (10) | ステータスバー | 日時、HDD 空き容量およびユニットの本体温度を表示します。 |

| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (11) カメラ ID | 映像表示中のカメラ番号を表示します。シングル画面モード時にカメラ ID 番号をクリックすると、そのカメラの映像に切り替わります。 |
| (12) Snapshot（スナップショット） | スクリーンショットをキャプチャして*.jpg 形式で保存します。 |
| (13) Event log（イベントログ） | システム内で行われたアクティビティ（動作指令）の記録を表示します。(2.2.3 参照) |
| (14) AutoScan（オートスキャン） | 映像画面の自動切り替えの ON/OFF を切り替えます。 |
| (15) Full screen（全画面） | 全画面表示です。普通表示に戻るにはマウスの右クリックまたはキーボードの **ESC** ボタンを押すか、矢印アイコンをクリックします。<br> <br><br>複数画面モード時に全画面表示に切り替えた場合、**左**クリックで単一映像/全ての映像表示を切り替えられます。 |
| (16) Alarm（アラーム） | ボタンが点滅し、クリックすると警告情報を表示します。 |
| (17) On Screen Keyboard（仮想キーボード） | クリックすると **On Screen Keyboard（仮想キーボート）** が起動します。 |

## 2.2.1 E マップのセットアップと使用

E マップでは最大で 8 つのマップを*.jpg 形式で保存できます。 マップ上でカメラ、センサーおよびリレーの位置を確認することができます。



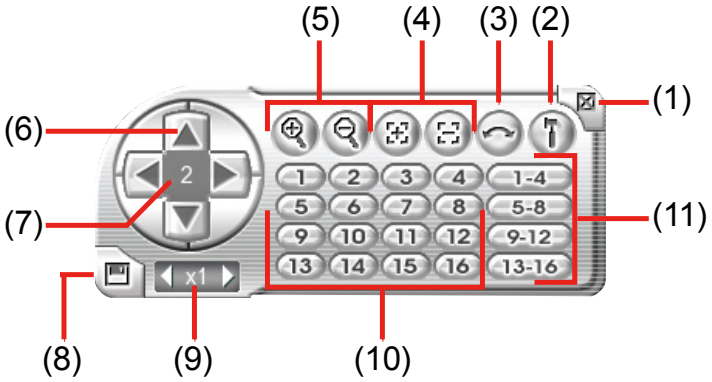

**E マップをセットアップする**

1. **Emap (E マップ)** をクリックします。
2. E マップ画面が表示されたら、マップを挿入する任意のエリア番号（1 ～ 8 のボタン）をクリックします。上書きすると元の画像は削除されます。
3. E マップ登録用画像データ（.jpg）を収容した USB メモリーを USB 端子に挿入します。
4. マップを挿入するために **Load Map (電子地図ロード)** をクリックします。 表示されるダイアログボックスでマップを選択し、**OK** をクリックします。挿入された画像が画面に表示されれば自動的に保存されます。
5. 挿入されたマップが E マップ画面に表示されたら、**Edit (編集)** をクリックします。 マップ上の対応する位置にカメラ、センサーおよびリレーのアイコンをそれぞれドラッグします。 マップ上のアイコン配置は自由に変更できます。 マップ上のアイコンを別のエリアに移動する場合、そのアイコンを E マップ画面下部の黒のペインにドラッグし、アイコンを配置したいエリアに切り替えます。 すべてのアイコンを E マップ画面下部の黒いペインに戻すには、**Reset Icon (アイコン再設定)** をクリックします。
6. 作業が完了したら、**Save (保存)** ボタンをクリックして新しい設定を保存します。 E マップ画面を終了するには **Close (閉じる)** をクリックします。

**E マップを使用する**

1. **E-map** をクリックします。
2. E マップ画面で、カメラアイコンをクリックしてそのカメラが配置されたエリアを表示し、E マップ画面右上にそのカメラ映像を表示します。 E マップ画面の右下にはすべての警告メッセージが一覧表示されます。
3. E マップ画面を終了するには **Close (閉じる)** をクリックします。

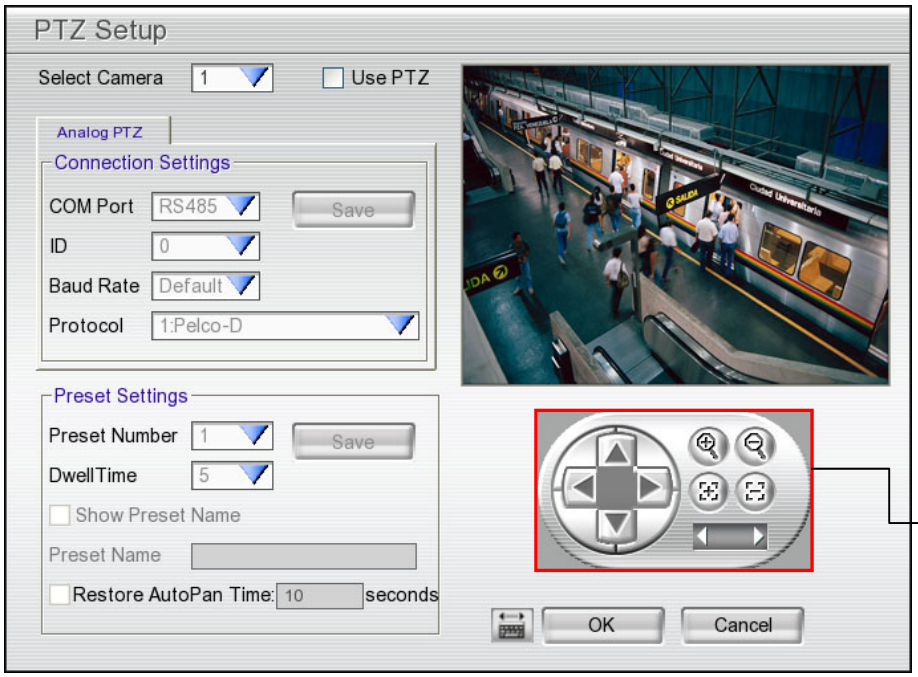
## 2.2.2 PTZ カメラコントローラのボタンの名称と説明




| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (1) 閉じる | PTZ カメラコントローラを終了します。 |
| (2) Set up (設定) | PTZ カメラの設定を行います。 |
| (3) オートパン | 選択されたカメラグループのプリセット位置番号に基づいて PTZ カメラを自動運転します。 |
| (4) フォーカス +/- | 映像を明瞭にするための手動のピント調整です。 |
| (5) ズーム +/- | 映像のズームイン･ズームアウト制御です。 |
| (6) 方向ボタン | PTZ カメラの向きを調整します。 |
| (7) カメラ ID ペイン | 操作中の PTZ カメラ番号を表示します。 |
| (8) プリセット位置保存 | PTZ カメラのプリセット位置番号を設定します。カメラを選択し、プリセット位置番号をクリックして保存します。 |
| (9) 速度コントローラ | PTZ カメラの動作速度を調整します。 |
| (10) プリセット位置番号 | PTZ カメラをプリセット位置に動かします。 |
| (11) オートパングループ | 自動旋回する PTZ カメラグループを選択します。 |

### 2.2.2.1 PTZ カメラのセットアップ

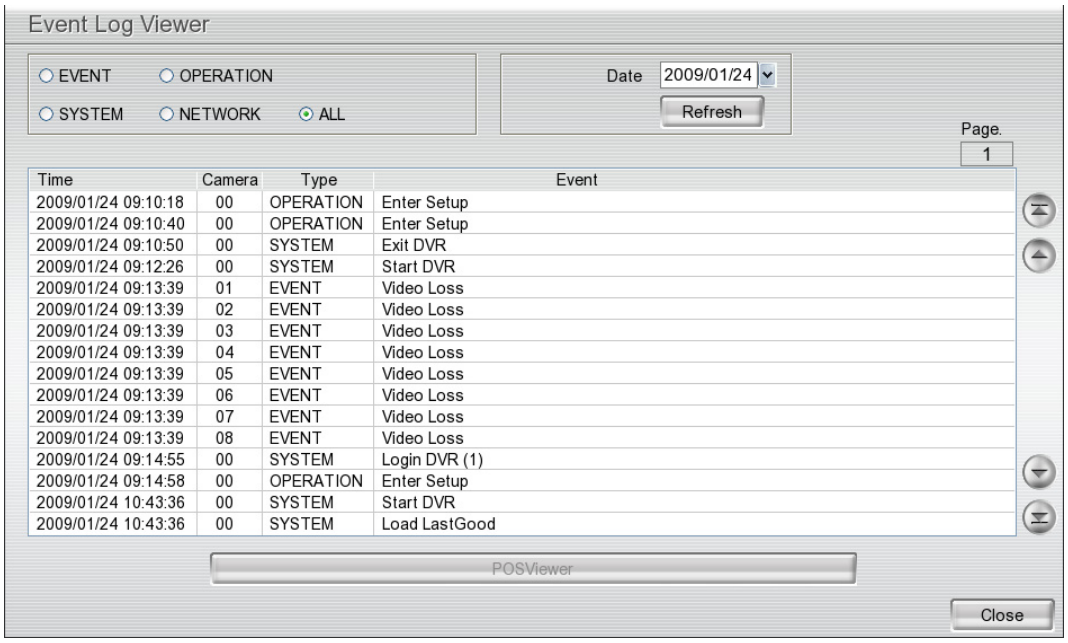
1. PTZ カメラコントローラーの **Setup (設定)** .ボタンを押して下さい。**PTZ Setup (PTZ カメラ設定)** 画面に入ります
2. PTZ 設定ダイアログボックスが開いたら設定したいカメラ番号を選択して **Use PTZ (PTZ 使用)** ボックスにチェックを入れて下さい。




3. **Connection Setting (接続設定)** 部では以下の設定を行った後に **Save (保存)** ボタンを押して下さい。内容が保存されます。
   - **COMPort (COM ポート)** : PTZ カメラが接続されているポートを指定して下さい。
   - **ID:** PTZ カメラに設定されている ID ナンバーを指定して下さい。
   - **Baud Rate (ボーレート)** : PTZ カメラのマニュアル等を参照の上、サポートされているボーレートを指定して下さい。
   - **Protocool (プロトコル)** : 通常はリストアップされているメーカー、カメラモデルがサポートされていますので指定して下さい。うまく動作しない場合は PTZ カメラのマニュアル等を参照の上、どのプロトコルが使用されているのかご確認下さい。
4. **Preset Setting (プリセットセッティング)** 部では、コントロールパネルを使用してカメラの画角を希望の位置に動かした後、任意のプリセット番号を指定して下さい。**DwellTime (滞留時間)** (1 ～ 60 秒) は指定した画角にどれくらいの間カメラが留まってるかの設定を行います。これらの設定値を記録したい場合は **Show Preset Name (プリセット名表示)** ボックスにチェックを入れ、**Preset Name (プリセット名)** ボックスに名前を入れた後 **Save (保存)** ボタンを押すと設定がセーブされます。
5. 上記手順 4 と 5 を繰り返して、全ての PTZ カメラの設定を行って下さい。
6. PTZ カメラの操作後、一定時間経過を経過した際に元の位置にカメラポジションを戻したい場合は **Restore AutoPan Time (オートパン復元時間)** ボタンにチェックを入れて下さい。指定時間経過後、カメラは自動で元の位置に戻ります。
7. 全ての設定が終了しましたら **OK** ボタンを押して本設定画面を終了して下さい。**Cancel (キャンセル)** を押すと、今回の設定は保存されずに本設定画面を終了します。

## 2.2.3 イベントログビューアの使用

システム内で行われたアクティビティ（動作指令）の記録を表示します。




1. DVR システムのメインインタフェース上で **Event Log（イベントログ）** ボタンをクリックします。 イベントログビューアのウィンドウが開きます。
2. **Date（日時）** で表示する日付形式を選択します。
3. 記録を選択するには、選択ボタンをクリックして **Event（イベント）**、**System（システム）**、**Operation（操作）**、**Network（ネットワーク）**、**All（全部）** を表示します。
4. イベントリストの次/前ページ、最初/最終ページへ移動するにはスクロールボタンを使用します。 また、**Page（ページ）** 欄にページ番号を入力することで、そのページにジャンプすることができます。

## 2.3 再生モード時のボタンの名称と説明

再生モードに切り替えるには、プレビューモードのユーザーインタフェースの右下にある **Playback (再生)** ボタンをクリックします。

| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (1) 画面分割モード | 全カメラの録画映像の均等表示再生、単一カメラの録画映像の再生または 1 台のメイン映像ウィンドウと他のカメラの小ウィンドウの同時再生など、4 つの画面分割再生パターンから選択できます。。 |

シングル画面モード時に**右クリック**して**ドラッグ**により領域を指定すると、その領域が拡大表示されます。全画面表示モードでは部分拡大がサポートされません。

| | |
|---|---|
| (2) プログレスバー | 再生中のファイルの進捗を表示します。バー内の任意の位置に移動することでトラック内の該当箇所にジャンプできます。 |
| (3) 時刻ボタン | 時刻を選択してクリックすることで、特定の時間枠の録画映像ファイルを再生します。 |

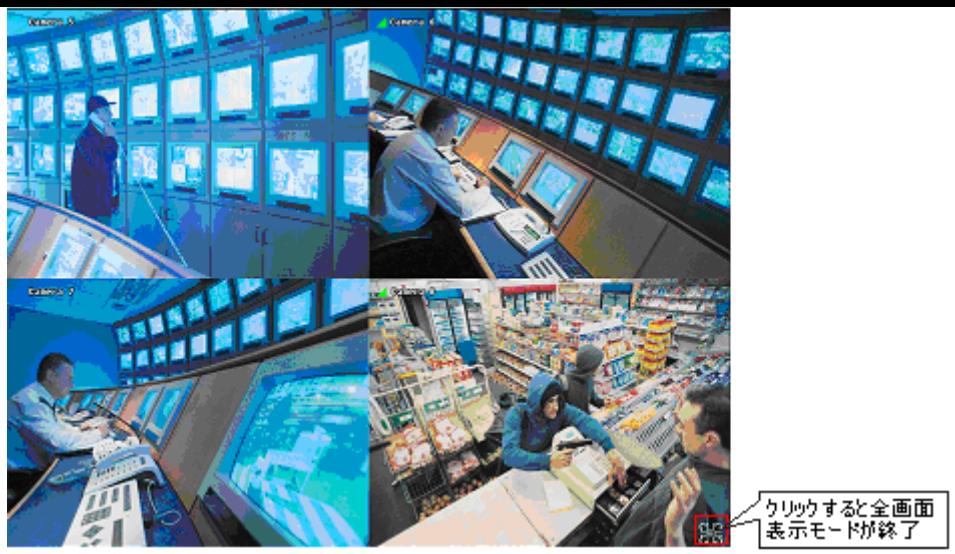
時刻ボタンは 24 時間形式で時刻を表します。時刻ボタン上の青いバーは、その時間帯の録画映像ファイルが存在することを示します。また、赤いバーは現在再生中の録画映像ファイルを示します。

| | |
|---|---|
| (4) 再生制御ボタン | **Begin (先頭)**: 録画ファイルの先頭に移動します。<br>**Previous (前)**: 前のコマに戻ります。<br>**Slower (スロー)**: 録画映像のスロー再生 (1/2x, 1/4x)。<br>**Rewind (巻き戻し)**: 録画映像の巻き戻し。<br>**Pause (一時停止)**: 録画映像ファイル再生の一時停止。<br>**Play (再生)**: 録画映像ファイルの再生。<br>**Faster (倍速再生)**: 録画映像ファイルの倍速再生 (2x, 4x, 8x, 16x, 32x, 64x)<br>**Next (次)**: 次のコマに進みます。<br>**End (最後)**: 録画ファイルの最後に移動します。 |

| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (5) 日付 | 録画映像の再生開始日時を指定するには、カレンダーで日付を選択し、00 ～ 23 の間で時刻を選択します。 |

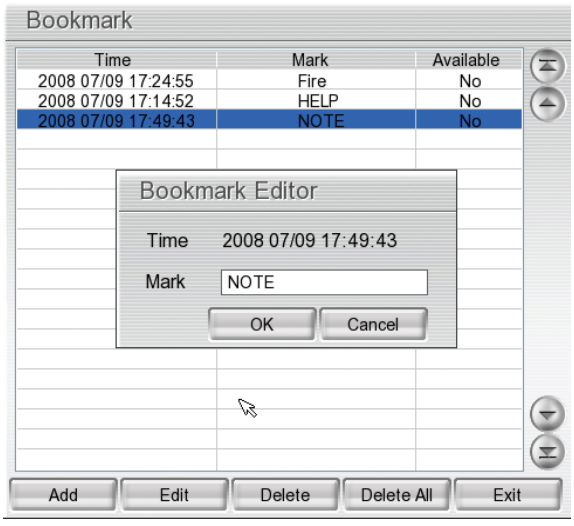
00 ～ 23 の数字は 24 時間形式で時刻を表します。01 ～ 08 の数字はカメラ ID を表します。青いバーは、その時間帯の録画映像ファイルが存在することを示します。また、赤いバーは録画映像ファイルの再生開始位置を示します。

| | |
|---|---|
| (6) Preview<br>(プレビュー) | プレビューモードに切り替えます。 |
| (7) 再生 | 再生モードに切り替えます。録画された映像ファイルを表示します。 |
| (8) ステータスバー | 録画日時および再生速度を表示します。 |
| (9) カメラ ID | 映像表示中のカメラ番号を表示します。シングル画面モード時にカメラ ID 番号をクリックすると、そのカメラの映像に切り替わります。 |
| (10) Export<br>(エクスポート) | エクスポートにはスナップショット、映像クリップ出力およびバックアップ機能が含まれます。<br>λ **Snapshot (スナップショット)** :スクリーンショットをキャプチャし、*.jpg 形式で保存します。<br>λ **Output Video Clip (映像クリップ出力)** : 分割ファイルを*.dvr 形式で外付け USB ストレージデバイスに保存します。<br>λ **Backup (バックアップ)** : 再生ファイルを USB デバイスまたは DVD-ROM ディスクに保存します。(3.6 参照) |
| (11) Segment<br>(セグメント) | 録画映像の一部分を時系列上を分割的に選択します。<br>1. 再生制御ボタンを使用、または再生プログレスバーをドラッグして、切り取りの開始位置で一時停止します。 **Segment (セグメント)** をクリックして開始マークをつけます。<br> <br>2. 再生制御ボタンを使用、または再生プログレスバーをドラッグして、切り取りの終了位置で一時停止します。 **Segment (セグメント)** をクリックして終了マークをつけます。 分割を取り消す、またはセグメントマークをリセットする場合は、**Segment (セグメント)** ボタンを再度クリックします。<br> <br>3. **Export (エクスポート)** ボタン → **映像クリップ出力**をクリックして、映像セグメントを USB ストレージデバイスに保存します。 |
| (12) Full screen<br>(全画面) | 全画面表示。普通表示に戻るにはマウスの右クリックまたはキーボードの **ESC** ボタンを押すか、矢印アイコンをクリックします。 |

| 名称 | 機能 |
|---|---|
| |  <br>複数画面モード時に全画面表示に切り替えた場合、**左**クリックで単一映像/全ての映像表示を切り替えられます。 |
| (13) Event log<br>(イベントログ) | システム内で行われたアクティビティ（動作指令）の記録を表示します。 記録を検索するには、オプションボタンをクリックして Event（イベント）、System（システム）、Operation（操作）、Network（ネットワーク）または All（全部）を表示します。 |
| (14) Bookmark<br>(ブックマーク) | 録画映像ファイルをレビューする際に、後で戻って参照したい位置にマークを付けます。(0 参照) |
| (15) Visual Search<br>(ビジュアルサーチ) | 特定のカメラから日付、時刻、分、秒で検索します。 |
| (16) Find Next<br>(次を検索) | 次のイベントを検索します。Event Search（イベントサーチ）機能使用時に使います。 |
| (17) Event Search<br>(イベントサーチ) | イベントログに記録されたアクティビティ（動作指令）を検索します。(例:センサー、モーション、ビデオロス)。(2.3.2 参照) |
| (18) インターレース除去 | 映像画質を向上させます。動きのない画像をキャプチャする場合はインターレース除去モードを#1 に、動きの多い画像の場合は#2 に設定します。 |

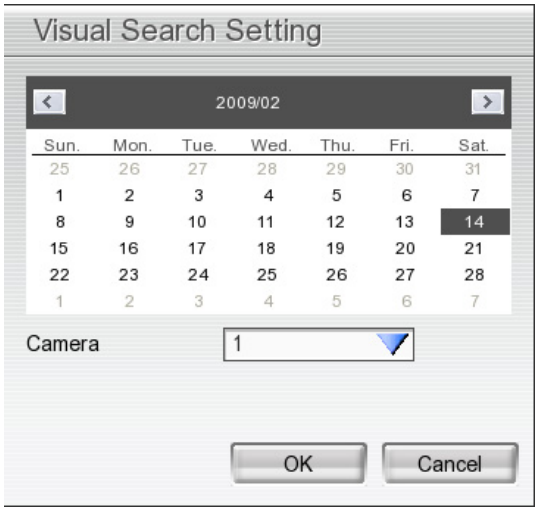
## 2.3.1 映像のセクションへの Bookmark（ブックマーク）の設定

1. **Bookmark（ブックマーク）**ボタンをクリックします。
2. Bookmark ダイアログボックスで以下の操作が行えます。:
   -**Add（追加）**でブックマーク一覧に新しい参照ポイントを作成します。
   -**Edit（編集）**でブックマークの説明を編集します。
   -**Delete（削除）**で一覧リストから選択した参照ポイントを削除します。
   -**Delete All（全部削除）**で一覧リストのすべての参照ポイントを削除します。
   -**Exit（終了）**で Bookmark ダイアログボックスを閉じます。
3. ブックマーク一覧リストでブックマークを選択しクリックすると、映像ファイルの該当箇所にジャンプして表示することができます。

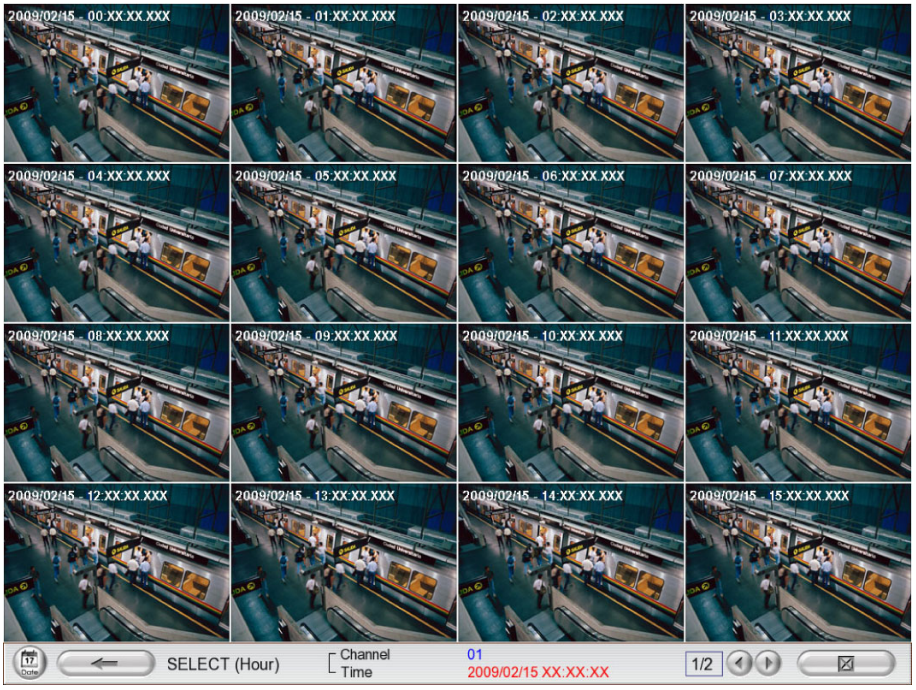


## 2.3.2 ビジュアルサーチ検索

1. ビジュアルサーチボタンを押して下さい
2. アルサーチダイアログボックスが表示されたら、任意のカメラ番号と日付を指定して OK ボタンを押して下さい

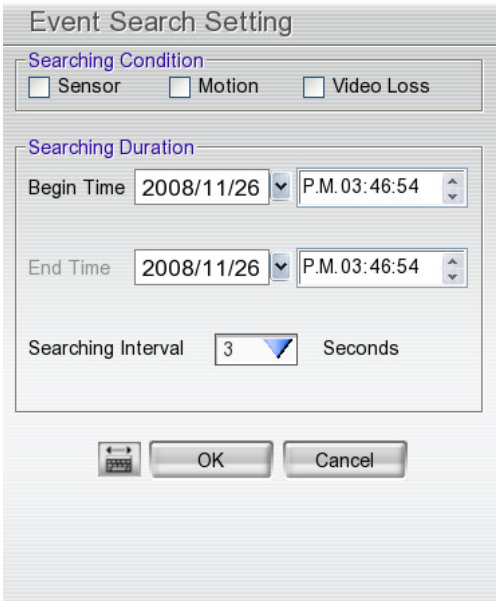



3. 選択した日付の連続フレームが表示されます。フレームをクリックすると別の連続フレームが表示されます。その日付の毎時、毎分毎秒で検索が可能です。 と を使用して前後の時間のページに移動できます。戻るには、選択したフレームを表示しサーチを閉じるには を押して下さい。 ボタンを押すと違う日付のビジュアルサーチを行う事ができます。



4. 秒単位画面で、チャンネルボタンを押すとプレイバックボタンが現れます。現れたボタンを押すと選択されたカメラの映像が再生されます。

## 2.3.3 Event Search（イベントサーチ）の使用




1. イベントを検索したいチャンネルをクリックします。
2. **Event Search（イベントサーチ）**をクリックします。イベント検索設定ダイアログボックスが表示されます。
3. イベント検索設定ダイアログボックスで、検索条件を選択します。 **OK**をクリックして検索を開始します 条件に適合するコマで映像検索がストップします。次を検索するには をクリックします。
4. すべての検索結果を一覧表示することもできます。**開始時刻**、**終了時刻**、**検索間隔**を設定します。**OK** をクリックして検索を開始します。
5. 表示された Event（イベント）一覧で、見たい項目をクリックします。

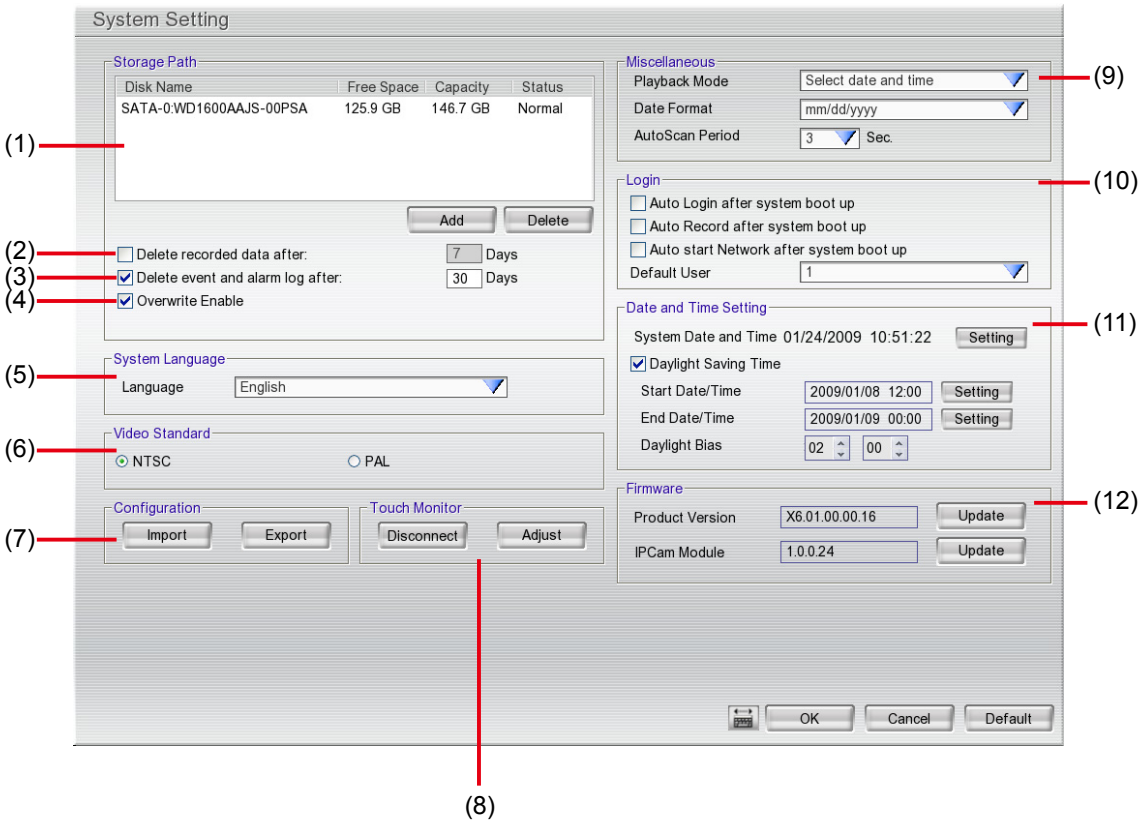
本 DVR システムでは、**End Time（終了時刻）**の日付が自動的に Begin Time（開始時刻）の 3 日後に設定されます。イベントデータが 3 日間より短い場合、End Time には自動的に現在の日付が設定されます。End Time は自由に変更できます。

# 第 3 章　DVR システムのカスタマイズ

DVR ユニットをカスタマイズするには、プレビュー画面モードで Setup ボタンをクリックします。DVR 設定の選択画面が表示されたら、設定を変更したい項目のボタンをクリックします。

## 3.1 システムの設定

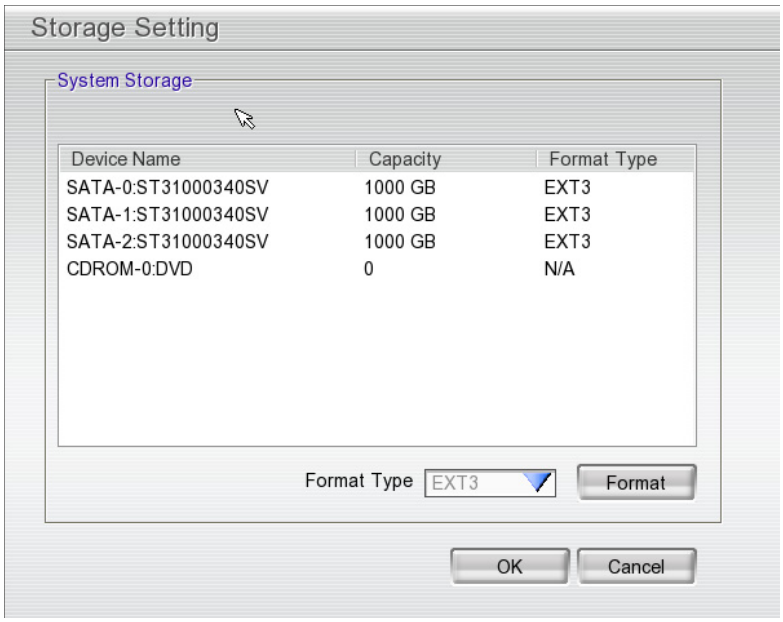
**System Setting（システム設定）** ダイアログボックスで **OK** をクリックすると新しい設定が保存され、**Cancel（キャンセル）** をクリックすると設定の変更内容を保存しないで終了します。




**(1) Strage Path（データ保存先）**

データの保存先 HDD を設定します。1 台以上のストレージデバイスが存在する場合、データは自動的に次のストレージデバイスに保存されます。内蔵のハードディスクが認識されていない場合は、**Add（追加）** をクリックして格納先を選択します。選択したディスクを分離するには **Delete（削除）** をクリックします。

フォーマットを実行すると記録しておいた映像データが消失します。 ハードディスクをフォーマットするには、ハードディスクを選択して **Format Type (フォーマット形式)** を選択し、**Format (フォーマット)** ボタンをクリックします。




**(2) Delete recorded data after – (指定日数を経過した録画データの削除)**
指定の日数が経過したデータを自動的に削除したい場合は、**Delete recorded data after – (指定日数を経過した録画データの削除)** チェックボックスを選択し、テキストボックスに **Days (日数)** を入力します。

**(3) Delete event and alarm log after – (指定日数を経過したイベントとアラームログを削除)**
指定の日数が経過したイベント･アラームログを自動的に削除したい場合は、**Delete event and alarm log after – (指定日数を経過したイベントとアラームログを削除)** チェックボックスを選択し、テキストボックスに **Days (日数)** を入力します。

**(4) Overwrite Enable (上書きをアクティブにする)**
この項目を選択すると、1 時間分のデータを記録する空き容量が足りないときに、最も古いデータが上書きされます。

**(5) Language (表示言語)**
ツールチップやダイアログの表示言語を選択します。お客様への納入時にはデフォルトで日本語に設定されています。システムがリフレシュされた場合は English (英語) 表示となります。

**(6) Video Standard (映像方式)**
アナログカメラのための映像方式の設定です。デフォルトは NTSC 方式です。 PAL 方式 (欧州･東南アジアでの方式) に切り替えると映像が正しく表示されません。

**(7) Configuration (設定)**

全設定のバックアップを保存し、後で同じ設定が復元できるようにします。 現在の設定を保存するには **Export (エクスポート)** をクリックします。 保存された設定を呼び戻し置き換える場合は **Import (インポート)** をクリックします。

**(8) Touch Monitor (タッチモニター)**

**池上通信機 (株) 仕様ではタッチモニターはサポートしていません。**
DVR サーバをタッチモニターと接続する場合、タッチモニターを正常に作動させるために設定を調整する必

要があります。

1. タッチモニターを DVR サーバに接続します。
2. DVR サーバとタッチモニターの電源を入れます。
3. Setup (**設定**) → System (**システム**) → Touch Monitor (**タッチモニター**) → Adjust (**調整**) を選択します。
4. 調整ウィンドウが開きます。

＋の位置を1つずつタッチしてください。

注意: このウィンドウは3分後に自動的に閉じます。

5. +を 1 つずつタッチして調整を完了します。
6. タッチモニターを取り外す場合は、まず Disconnect (**取り外し**) ボタンを押し、タッチモニターの電源を切ってから DVR から取り外してください。

**(9) Miscellaneous (その他)**

- λ Playback mode (**再生モード**): 映像の再生モードを選択します。
  - – Select data and time (**日時の選択**): 再生したい映像ファイルの録画日時を選択します。
  - – Play the last file (**前回のファイル再生**): 最後の 1 時間の映像を自動的に再生します。
  - – Instant Playback (**インスタント再生**): 直前に録画した映像を自動的に再生します。

  Data Format (**日付形式**):録画日時の選択再生モードで表示される日付の形式を選択します。
- λ Auto Scan Period (**オートスキャンスキャン周期**)

  シーケンシャル表示の自動切り替え間隔を 3 秒から 10 秒の間で設定します。設定した間隔に基づいて映像が周期的に切り替わります。

**(10) Login (ログイン)**

システムに自動実行させたいログインに関するオプションを選択します。

- Auto Login after system bootup (**システム起動後に自動ログインする**)

  DVR ユニットのオペレーションシステム起動時に指定したユーザ名で自動的にログインします。

- **Auto Record after system bootup (システム起動後に自動録画を開始する)**
  DVR ユニットの起動時に映像の録画を自動的に開始します。
- **Auto Record after system bootup (システム起動後にネットワークを自動的にスタートする)**
  DVR ユニット起動時にネットワーク接続を自動的に開始します。
- **Default user (デフォルトユーザ)**
  DVR ユニット起動時に自動ログインする際のユーザーID を設定します。

**(11) Data and Time Setting (日付けと時刻の設定)**

DVR システムの日付と時刻を設定します。 **Setting (設定)** をクリックして月、日、時間、分、秒を設定します。 **Daylight saving (サマータイム)** チェックボックスを選択すると、サマータイム機能が ON になります。 次に **Setting (設定)** をクリックして **Start (開始日時)** と **End Date/Time (終了日時)** を設定します。

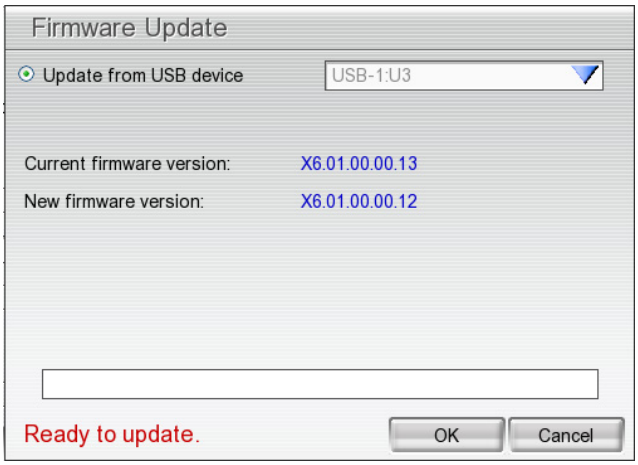
**Daylight Bias (サマータイム時刻補正)** :地域ごとのタイムゾーンにおけるサマータイムの時間オフセットを設定します。 例: 米国東海岸のタイムゾーンの場合、時間オフセットは 1 時間です。

(13) **Farmware (ファームウェア) アップデート**

**お客様によるファームウェアのアップデートは池上通信機 (株) 仕様ではサポートしていません。お客様によって本項を実行した結果について池上通信機 (株) は一切の責を負わないものとします。**

■ **Update (更新)** : 本 DVR システムのファームウェアをアップデートします。

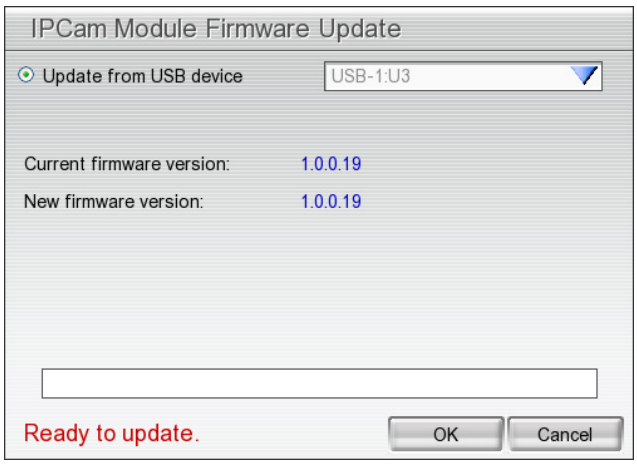
1. **更新**ボタンをクリックします。FirmwareUpdate (**ファームウェア更新**) ウィンドウが表示されます。




2. USB ディスク経由で Update 作業を行います。USB ディスクのルートディレクトリにファームウェアが保存されている必要があります。 その USB ディスクを DVR ユニット本体に接続します。
3. 複数の USB ディスクが接続されている場合は、ドロップダウンリストから該当する USB ディスクを選択します。 DVR ユニットはファームウェアの存在ををを自動検出します。
4. **OK** をクリックして **Update (更新)** を開始します。

■ **IPCam Module アップデート**: IP カメラの接続プロトコールに関するファームウェアを更新します。

1. **更新**ボタンをクリックします。IPCam Module **Firmware UPdate** ウィンドウが表示されます。



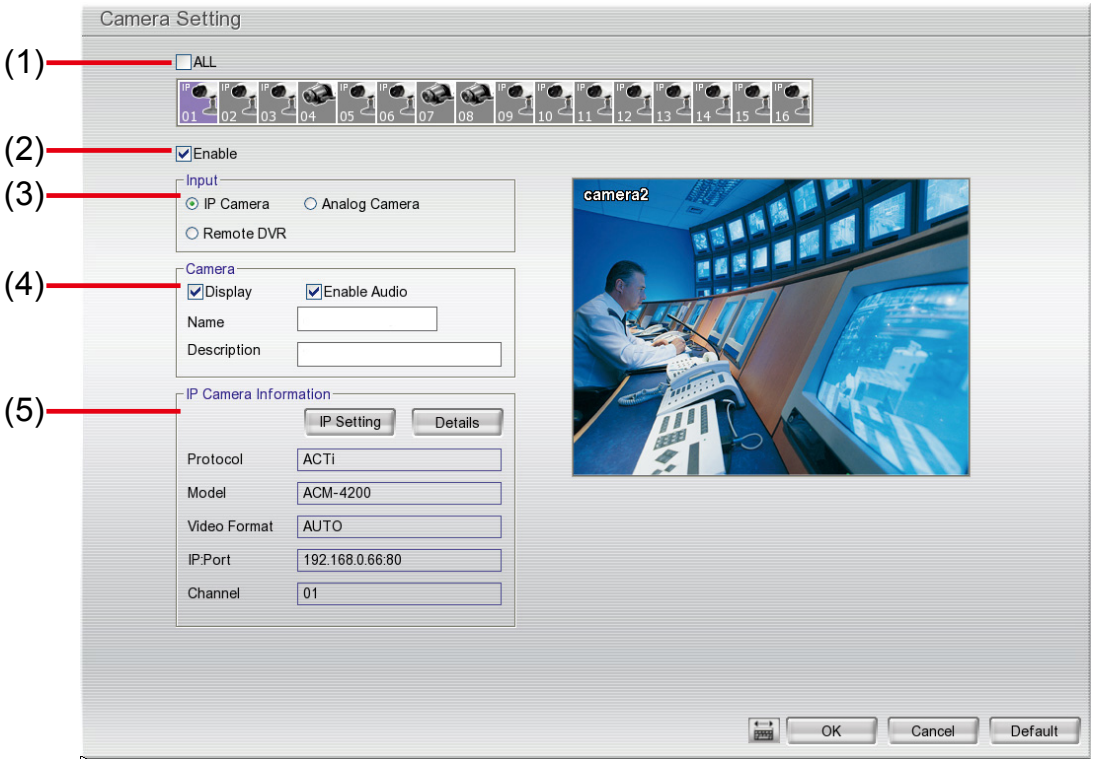

2. USB ディスク経由で Update 作業を行います。USB ディスクのルートディレクトリにファームウェアが保存されている必要があります。 その USB ディスクを DVR ユニット本体に接続します。
3. 複数の USB ディスクが接続されている場合は、ドロップダウンリストから該当する USB ディスクを選択します。 DVR ユニットはファームウェアの存在ををを自動検出します。
4. **OK** をクリックして Update（更新）を開始します。

# 3.2 カメラの設定

本 DVR システムは、アナログ･IP（混合可）合わせて 8 台までのカメラを接続することができます。

## 3.2.1 IP カメラのセットアップ

**Default（デフォルト）**をクリックすると、出荷時のデフォルト設定に戻ります。




**(1) カメラアイコン**

表示したいカメラの番号を選択します。 すべてのカメラの接続を一括で ON/OFF する場合は **ALL（全部）**チェックボックスを使用します。

**(2) Enable (適用)**

選択したカメラ入力端子を ON/OFF します。カメラ入力端子に映像ソースが存在しない場合は、システムに映像の損失エラーが検出・表示されてしまうため、OFF にしておくことを推奨します。

**(3) Input (入力)**

カメラの種別として **IP Camera (IP カメラ)** を選択します。

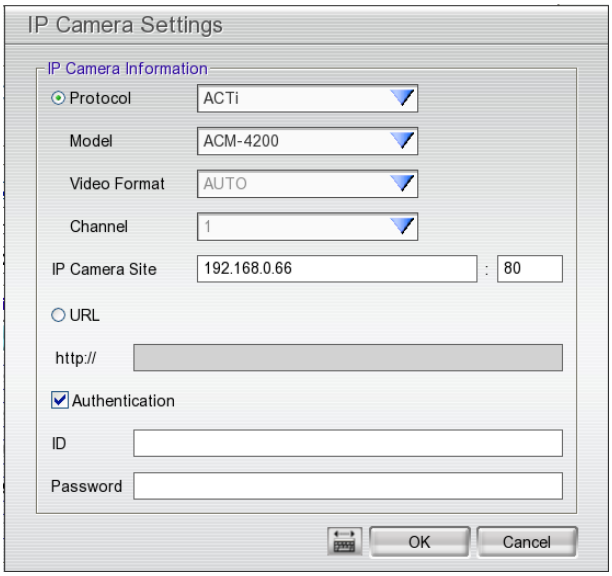
**(4) Camera (カメラ)**

- **Display (表示)**
  映像の表示をオン/オフにします。選択したカメラの映像が非表示の状態でも、その映像を録画して再生モードでプレビューすることができます。
- **Enable Audio (音声アクティブ化)**
  カメラの音声をオン/オフにします。
- **Name (名前)**
  カメラの名前を入力・変更します。
- **Description (説明)**
  短い説明文を入力します。

**(5) IP Camera Information (IP カメラの情報)**

IP カメラをセットアップし、カメラの詳細を表示します。

λ **IP Setting (IP 設定)：** **IP Setting (IP 設定)** をクリックして IP カメラを追加します。




1. **Protocol (プロトコル)** のラジオボタンをクリックして、IP カメラのセットアップを開始します。

2. **Protocol (プロトコル)**、**Model (モデル)**、**Video Format (映像形式)** および IP カメラの **Channel (チャネル)** を選択します。

3. **IP Camera Site (IP カメラサイト)** 欄に IP アドレスおよび接続ポートを入力します。

4. また、IP アドレスのかわりに IP カメラの URL を入力することもできます。

5. IP カメラが認証を必要とする場合は、**Authentication (認証)** をアクティブにし、**ID** と **Password (パスワード)** を入力します。

6. **OK** をクリックして IP カメラに接続します。

λ **Detail (詳細)** : IP カメラのパラメータを設定するには、**Detail (詳細)** をクリックします。 **Default (デフォルト)** をクリックすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。

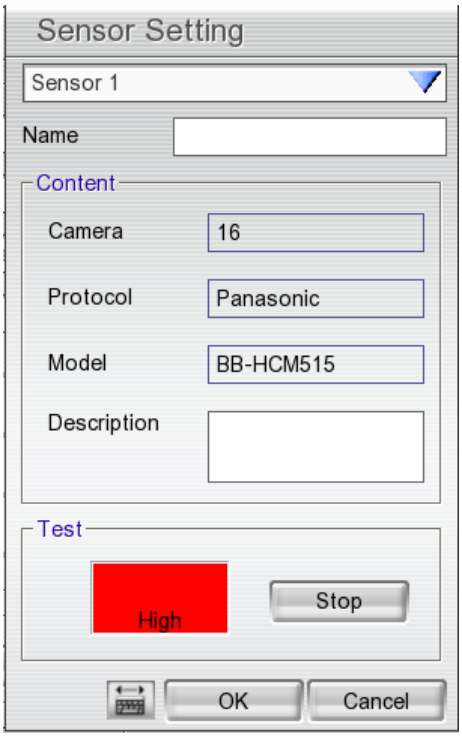
カメラの **Video size (映像サイズ)** 、 Frame rate (フレームレート) 、**Bitrate mode (ビットレートモード)** 、**Quality (画質)** が選択できます。 また、カメラの **Bright (輝度)** 、**Contrast (コントラスト)** 、**Hue (色相)** 、**Saturation (彩度)** 、 **I/O Control (入出力制御)** を調整します。各カメラ間の色調差の補正に使用します。

調節可能な設定項目は、カメラによって異なる場合があります。

**I/O Control（入出力制御）**：IP カメラに内蔵されたセンサーおよびリレーを設定します。

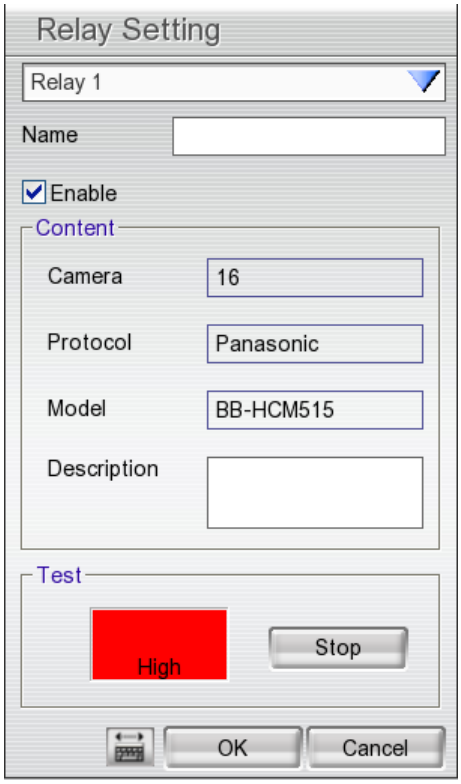
## ■ センサーの設定

1. **Senser（センサー）** ボタンをクリックします。
2. ドロップダウンボックスをクリックして、センサーID 番号を選択します。
3. **Name（名前）** 欄にセンサーの名前を入力します。
4. システムによってカメラが自動検出され、関連情報が入力されます。**Content（内容）** セクションの **Description（説明）** にセンサーの**説明**を入力します。
5. **Test（テスト）** セクションで **Test（テスト）** をクリックしてセンサーのステータスを確認します。**赤**は High、**緑**は Low を意味します。
6. **OK** をクリックして設定内容を保存します。設定の変更内容を保存しないで終了する場合は **Cancel（キャンセル）** をクリックします。



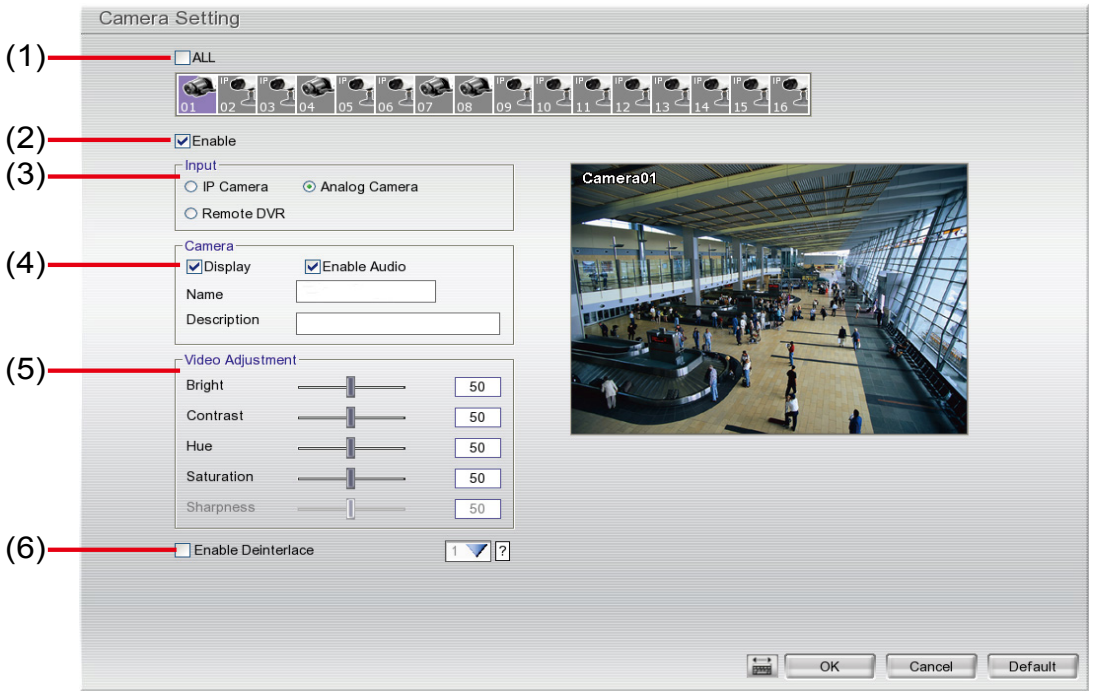
■ **リレーの設定**

1. **Relay（リレー）** ボタンをクリックします。
2. ドロップダウンボックスをクリックして、リレーID 番号を選択します。
3. **Name（名前）** 欄にリレーの名前を入力します。
4. システムによってカメラが自動検出され、関連情報が入力されます。 **Content（内容）** セクションの **Description（説明）** にリレーの**説明**を入力します。
5. **Test（テスト）** セクションで **Test（テスト）** をクリックしてリレーのステータスを確認します。 **赤**は High（NC）、**緑**は Low（NO）を意味します。
6. **OK** をクリックして設定内容を保存します。設定の変更内容を保存しないで終了する場合は **Cancel（キャンセル）** をクリックします。



## 3.2.2 アナログカメラのセットアップ

Default (デフォルト) をクリックすると、出荷時のデフォルト設定に戻ります。




**(1) カメラアイコン**

表示したいカメラの番号を選択します。すべてのカメラを一括して ON/OFF する場合は **ALL (全部)** チェックボックスを使用します。

**(2) Enable (アクティブ化)**

選択したカメラ入力端子を ON/OFF します。カメラ入力端子に映像ソースが存在しない場合は、システムに映像の損失エラーが検出・表示されてしまうため、OFF にしておくことを推奨します。

**(3) Input (入力)**

カメラの種別として **Analog Camera (アナログカメラ)** を選択します。

**(4) Camera (カメラ)**

- **Display (ディスプレイ)**
  映像の表示をオン/オフにします。選択したカメラの映像が非表示の状態でも、その映像を録画して再生モードでプレビューすることができます。
- **Enable Audio (音声のアクティブ化)**
  カメラの音声をオン/オフにします。
- **Name (名前)**
  カメラの名前を変更します。
- **Description (説明)**
  短い説明文を入力します。

**(5) Video Adjustment (映像調整)**

カメラの **Brightness (輝度)**、**Contrast (コントラスト)**、**Hue (色相)**、**Sharpness (シャープネス)**、**Saturation (彩度)** を調整します。各カメラ間の色調差の補正に使用します

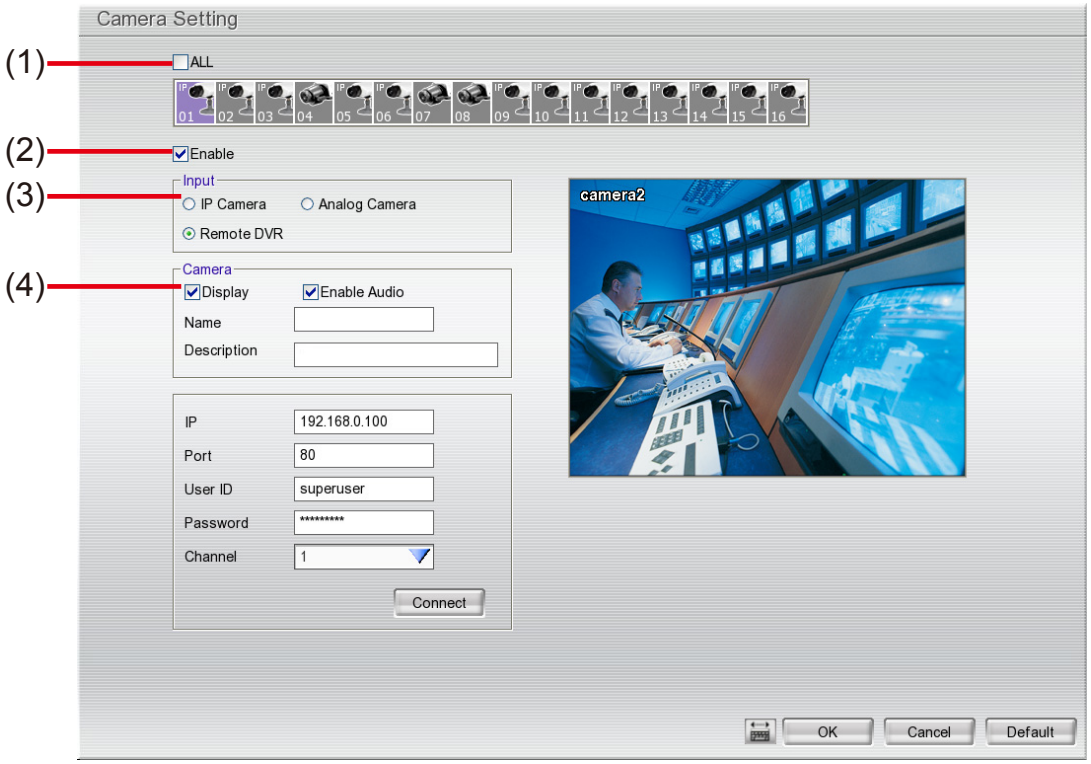
**(6) Enable Deinterlace (インターレース除去アクティブ化)**

映像画質を向上させます。動きのない画像をキャプチャする場合は **Enable Deinterlace (インターレース除去のアクティブ化)** モードを#1 に、動きの多い画像の場合は#2 に設定します。

## 3.2.3 リモート DVR からのカメラのセットアップ

**この機能の使用にあたっては池上通信機（株）の代理店もしくは弊社営業担当にご確認ください。ネットワーク設定の変更が必要となる場合があります。**

ネットワークを経由して、別の DVR からカメラを追加することができます。




**(1) カメラアイコン**

表示したいカメラの番号を選択します。 すべてのカメラを一括で ON/OFF する場合は **ALL（全部）** チェックボックスを使用します。

**(2) Enable（アクティブ化）**

選択したカメラ入力端子を ON/OFF します。カメラ入力端子に映像ソースが存在しない場合は、システムに映像の損失エラーが表示されてしまうため、OFF にしておくことを推奨します。

**(3) Input（入力）**

カメラの種別として **Remote DVR（リモート DVR）** を選択します。

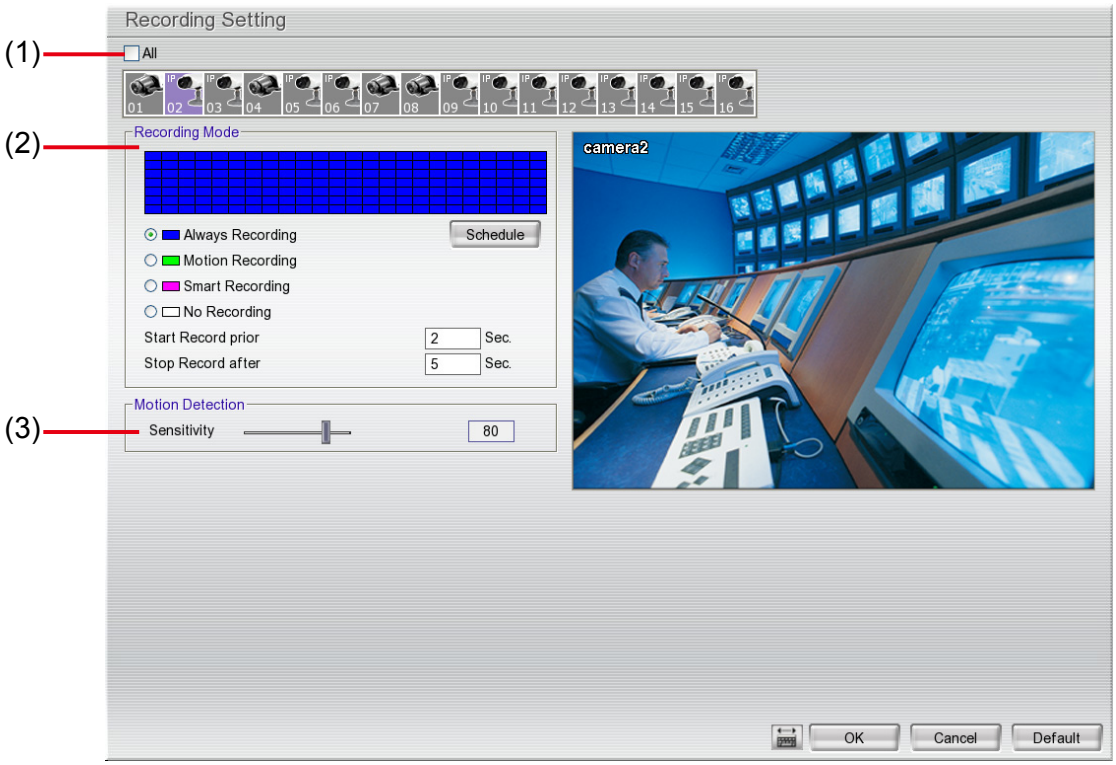
**(4) Camera（カメラ）**

- **Display（ディスプレイ）**
  映像の表示をオン/オフにします。 選択したカメラの映像が非表示の状態でも、その映像を録画して再生モードでプレビューすることができます。
- **Enable Audio（音声のアクティブ化）**
  カメラの音声をオン/オフにします。
- **Name（名前）**
  カメラの名前を入力または変更します。
- **Description（説明）**
  短い説明文を入力します。
- **IP**
  リモート DVR の IP アドレスを入力します。

- **Port (ポート)**
  接続用ポート番号を入力します。
- **User ID (ユーザーID)**
  接続時の認証用ユーザーID を入力します。
- **Password (パスワード)**
  接続時の認証用パスワードを入力します。
- **Channel (チャネル)**
  接続カメラのチャネルを選択します。
- **Connect (接続)**
  すべての設定入力が完了したら、クリックしてカメラを接続します。

# 3.3 録画設定

## 3.3.1 IP カメラの録画設定




**(1) カメラアイコン**
録画設定をしたいカメラの番号を選択します。すべてのカメラを一括で選択する場合は **ALL (全部)** チェックボックスを選択します。複数のカメラを選択する場合は、カメラアイコン上で**右クリック**します。カメラを 1 つだけ選択する場合は、カメラアイコン上で**左クリック**します。選択されたカメラは紫色で表示されます。

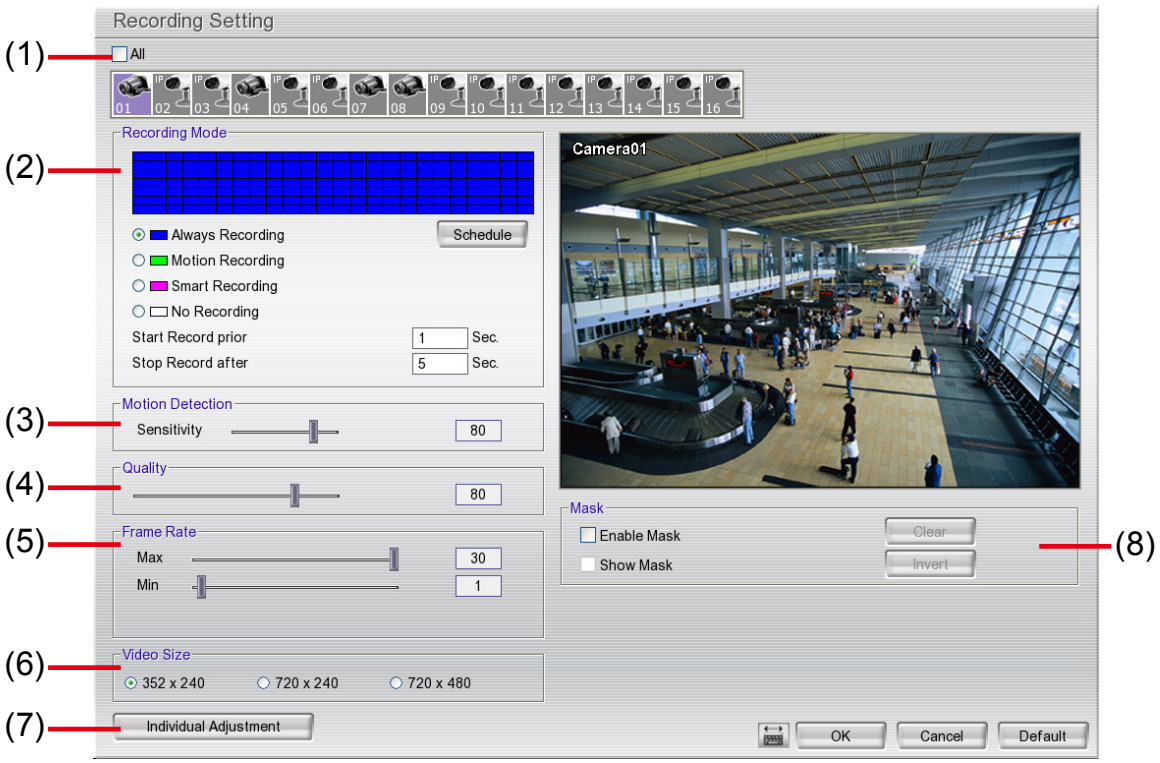
**(2) Recording Mode (録画モード)**
水平方向の 00 ～ 23 のブロックは 24 時間形式の時刻を表し、垂直方向の 1 ～ 7 のブロックは曜日（日曜 ～ 月曜）を表します。週 7 日 24 時間フルに録画する場合は、録画モードを選択してラジオボタン⊙をクリックします。特定の時間帯や曜日にだけ録画したい場合は、**Schedule (スケジュール)** ボタンをクリックして**録画モード**を選択し、時間帯または曜日のブロックをクリックします。システムによって録画が開始されると、画面左上に赤い三角マークが表示されます。録画モードは以下のとおりです:

- **Always Recording（常時録画）**
  選択したカメラで映像を常時録画し、指定の格納デバイスに保存します。
- **Motion Recording（モーション録画）**
  システムによって動きが検出されたときだけ、選択したカメラで映像を録画します。 動きが検出されると、**Start Record Prior（指定の秒数にさかのぼって開始）** および **Stop Record After（指定の秒数後に停止）** の設定に基づき、直前のコマから録画が自動的に始まり停止します。
- **Smart Recording（スマート録画）**
  動きが検出されると設定された最大フレームレートの録画に自動的に切り替わり、動きがないときは設定された最小フレームレートで録画されます。
- **No Recording（録画しない）**
  システムによる録画が行われません。

**(3) Motion Detection（モーション検出）**
動きの検出感度を調整します。 値が大きいほど検出感度が上がります。 動きが検出されると、画面左上に緑の三角マークが表示されます。

## 3.3.2 アナログカメラの録画設定

**Default**（デフォルト）をクリックすると、出荷時のデフォルト設定に戻ります。




**(1) カメラアイコン**
録画設定をしたいカメラの番号を選択します。 すべてのカメラを一括で選択する場合は **ALL（全部）** チェックボックスを選択します。 複数のカメラを選択する場合は、カメラアイコン上で**右クリック**します。 カメラを 1 つだけ選択する場合は、カメラアイコン上で**左クリック**します。 選択されたカメラは紫色で表示されます。

(2) Recording Mode (**録画モード**)

水平方向の 00 ～ 23 のブロックは 24 時間形式の時刻を表し、垂直方向の 1 ～ 7 のブロックは曜日（日曜 ～ 月曜）を表します。 週 7 日 24 時間フルに録画する場合は、録画モードを選択してラジオボタン⊙をクリックします。 特定の時間帯や曜日にだけ録画したい場合は、Schedule (**スケジュール**) ボタンをクリックして**録画モード**を選択し、時間帯または曜日のブロックをクリックします。 システムによって録画が開始されると、画面左上に赤い三角マークが表示されます。 録画モードは以下のとおりです:

- Always Recording (**常時録画**)
  選択したカメラで映像を録画し、指定の格納デバイスに保存します。
- Motion Recording (**モーション録画**)
  システムによって動きが検出されたときだけ、選択したカメラで映像を録画します。 動きが検出されると、Start Record Prior (**指定の秒数にさかのぼって開始**) および Stop Record After (**指定の秒数後に停止**) の設定に基づき、直前のコマから録画が自動的に始まり停止します。
- Smart Recording (**スマート録画**)
  動きが検出されると設定された最大フレームレートの録画に自動的に切り替わり、録画時間は Stop Record After (**指定の秒数後に停止**) 設定に基づき継続します。動きがないときは設定された最小フレームレートで録画されます。 フレームレートは (5) Frame Rate (**フレームレート**) で設定します。
- No Recording (**録画しない**)
  システムによる録画が行われません。

(3) Motion Detection (**モーション検出**)

動きの検出感度を調整します。 値が大きいほど検出感度が上がります。 動きが検出されると、画面左上に緑の三角マークが表示されます。

(4) Quality (**画質**)

映像画質を調整します。 値が大きいほど圧縮度が下がり、ハードディスク容量をより多く使用します。

(5) Frame Rate (**フレームレート**)

動きのあるとき、ないときに応じて録画する最大および最小フレーム数を設定します。 フレームレートは、NTSC 方式の場合は 01 ～ 30 の範囲で設定します。 フレームレートの値が大きいほど、ハードディスク容量をより多く使用します。

---

通常の録画フレームレートは、最大フレームレートの値に基づきます。

---

(6) Video Size (**映像サイズ**)

選択した映像サイズの⊙ボタンをクリックします。 サイズが大きいほど、映像ファイルのサイズが大きくなります。

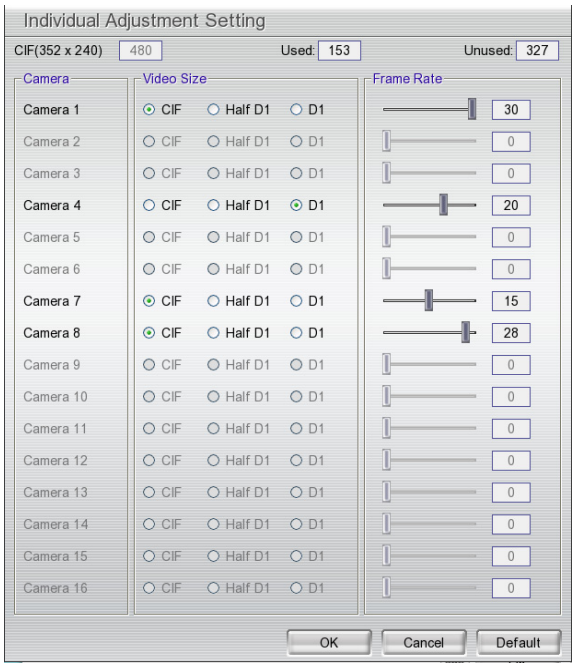
(7) Individual Adjustment (**個別調整**)

各カメラの映像サイズおよびフレームレートを個別に調整することができます。 Default (**デフォルト**) をクリックすると、出荷時のデフォルト設定に戻ります。 CIF モードによるフレームレートの使用状況は、Used (**使用**) および Unused (**未使用**) 欄に表示されます。

---

アナログカメラに対してのみ、各カメラの映像サイズおよびフレームレートをチャンネル別に設定することができます。

---




### (8) Mask (マスク)

画面上の特定の領域をマスクしてその領域内で発生する動きを無視し、領域外の場所のみ監視するように設定します。

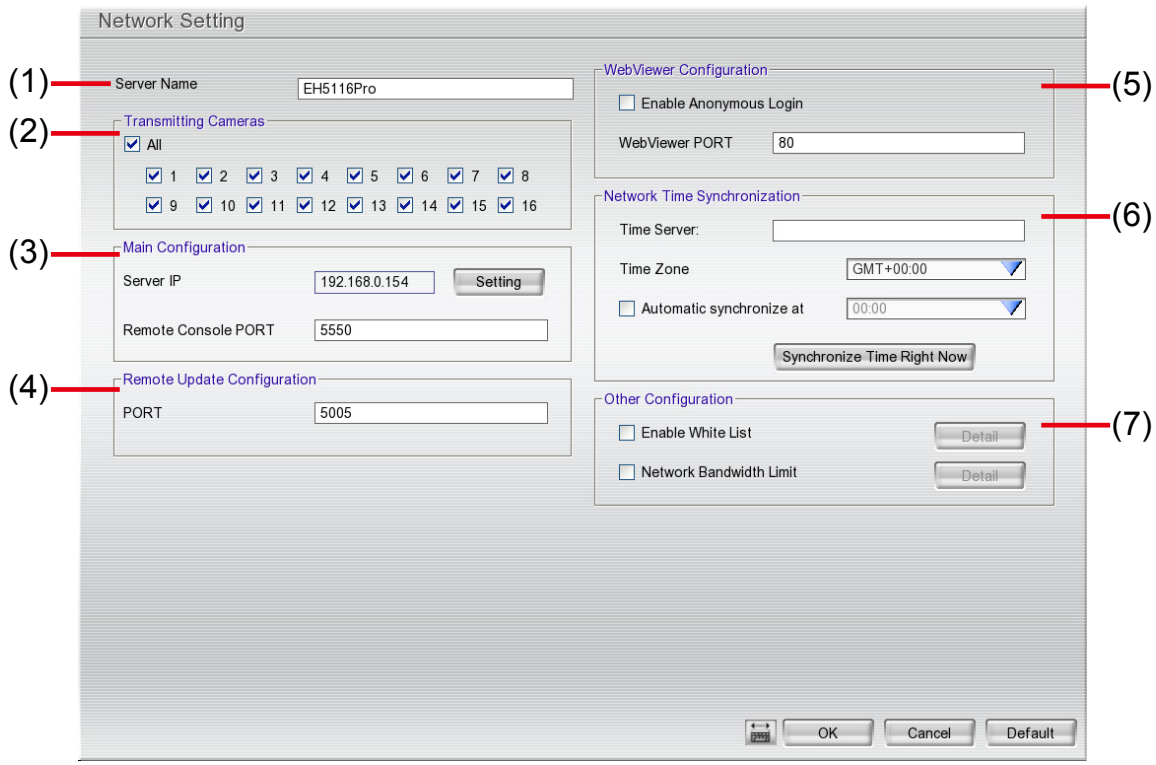
**Enable Mask (マスクを有効にします。)** を選択し、マスクしたい領域をクリックアンドドラッグで選択します。マスク領域をすべてクリアするには **Clear (クリア)** ボタンをクリックします。

マスク領域を反転させるには **Invert (逆転)** ボタンをクリックします。 選択領域と非選択領域が入れ替わります。 プレビュー画面でマスク領域を表示するには **Show Mask (マスク表示) を**選択します。 プレビュー画面がシングル画面モード時のみ、マスクを画面上に表示することができます。

# 3.4 ネットワークのセットアップ

**この機能の使用にあたっては池上通信機（株）の代理店もしくは弊社営業担当にご確認ください。ネットワーク設定の変更が必要となる場合があります。**

**Default**（デフォルト）をクリックすると、出荷時のデフォルト設定に戻ります。




**(1) Server Name（サーバー名）**

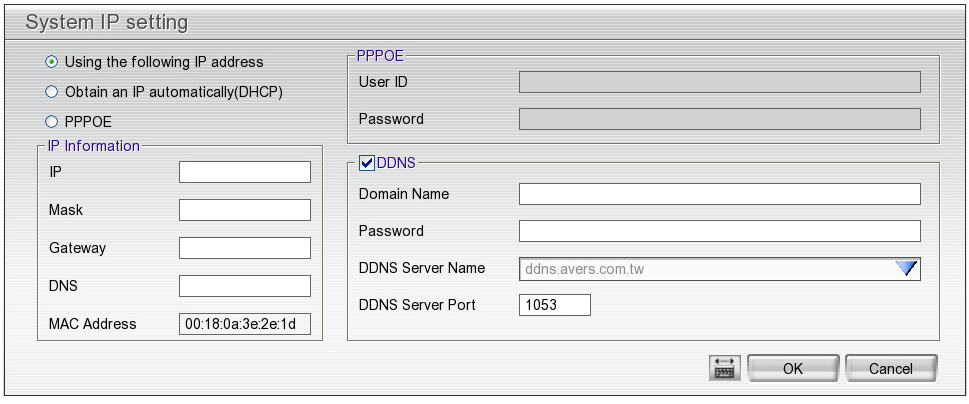
DVR ユニットの名前を入力します。使用できるのは英数字のみです。

**(2) Transmitting Cameras（送信カメラ）**

Transmitting Camera セクションで、WebViewer、リモートコンソール、PDA Viewer、JAVAViewer（静止画）を使用した、インターネット経由のアクセスをアクティブにしたいカメラの番号を選択します。すべてのカメラを一括で選択する場合は **ALL（全部）** チェックボックスを選択します。

**(3) Main Configuration（主要のコンフィギュレーション）**

DVR の IP アドレスと、**Remote Console Port（遠隔コンソールポート）** を設定します。これは、インターネットを経由して遠隔地から DVR サーバーにアクセスする際に必要な情報です。DVR の IP を設定するには **Setting（設定）** をクリックします。



- **Using the following IP address (次の IP アドレスを使います。)** DVR システムの IP アドレスを入力します。**IP information (IP 情報)** セクションに IP 関連のパラメータを入力します。
  - **IP:** DVR システムに与えられる固定 IP アドレスを入力します。
  - **Mask (マスク):** ISP から DVR システムに割り当てる IP アドレスのサブネットマスクを入力します。
  - **Gateway (ゲートウェイ)** :ネットワークゲートウェイの IP アドレスを入力します。
  - **DNS:** DNS の IP アドレスが利用できる場合は入力します。
  - **MAC Address (MAC アドレス):** メーカーによって割り当てられた、DVR ユニットのハードウェア識別用アドレスです。ユーザによる入力の必要はなく、システムによって自動的に入力されます。
- **Obtain an IP automatically (DHCP) (IP を自動的に取得 (DHCP) ):** ローカル DHCP サーバによって DVR システムに IP アドレスが割り当てられます。
- **PPPoE:** これは主に ADSL サービスで使用されます。ISP によって PPPoE 接続の認証用に与えられた **User ID (ユーザーID)** と **Password (パスワード)** を入力します。
- **DDNS:** DDNS (ダイナミック DNS) とは、ドメイン名をインターネットアドレスに変換するためにインターネット上で使用されるデータクエリサービスです。ユーザーは **http://ddns.avers.com.tw** で自分のドメイン名を登録することができます。(付録 A 参照)
  - **Domain Name (ドメイン名)**

    ユーザーが登録したドメイン名を入力します。
  - **Password (パスワード)**

    ドメイン名の登録時に設定した DDNS アクセス用パスワードを入力します。
  - **DDNS Server Name (DDNS サーバー名)**

    DDNS のサーバ名を選択します。現時点ではデフォルトで DDNS サーバ名は 1 つだけです。
    提供 DDNS サーバは将来追加されることがあります。
  - **DDNS Server Port (DDNS サーバーポート)**

    DDNS サーバに接続するポート番号を入力します。この値はデフォルトで 1053 に設定されています。

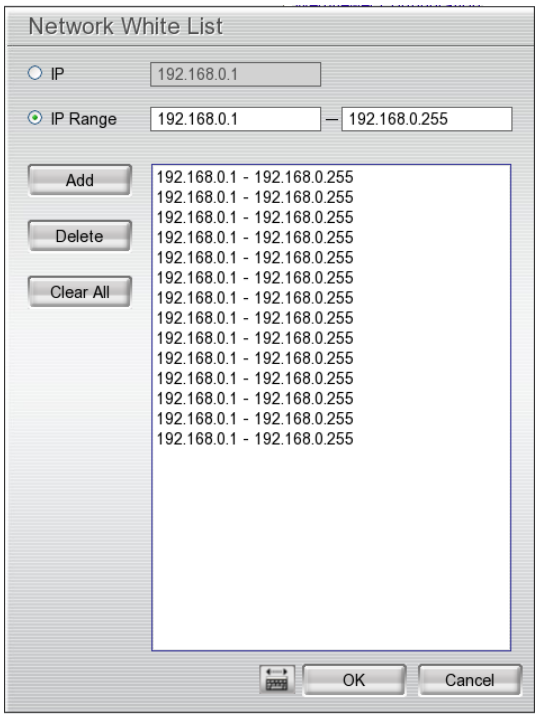
**(4) Remote Upgrade Configuration (リモート更新設定)**
ネットワークを経由したファームウェアのアップグレードに使用されるポート番号です。

**(5) WebViewer Configuration (WebViewer のコンフィギュレーション)**
DVR サーバーにパスワードなしでリモートアクセスするには、**Enable Anonymous Login (匿名ログインします。)** を選択します。リモートアクセスの接続用 **WebViewer PORT (WebViewer のポート)** を入力します。

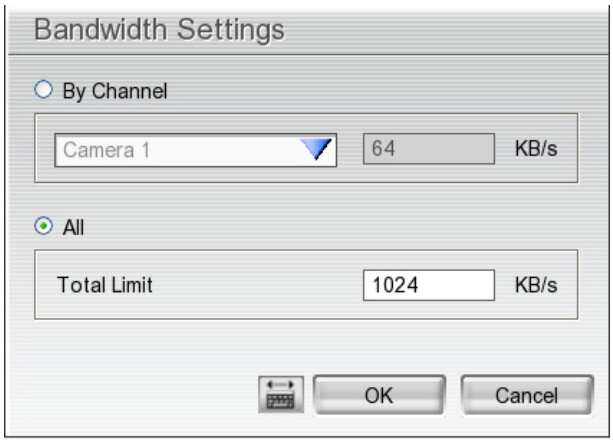
**(6) Network Time Synchronization (ネットワーク時刻同期)**
DVR システムの時刻設定をネットワーク時刻サーバーに合わせます。**Time Server (時間サーバー)** の IP アドレスまたはドメイン名を入力し、**Time Server** (タイムゾーン) を選択します。**Automatic Synchronize at (自動同期化)** を選択すると、毎日決まった時刻に自動同期が実行されます。または、**Synchronize Time Right Now (今すぐ時刻を同期します。)** をクリックしてすぐに時刻調整を行うこともできます。

(7) Other Configuration (**その他のコンフィギュレーション**)

- **Enable White List (ホワイトリスト有効)**
  DVR サーバーへのリモートアクセス用のアクセス許可リストです。 IP アドレスまたは IP アドレス範囲を入力して **Add (追加)** をクリックします。リストから IP を削除するには、IP を選択して **Delete (削除)** ボタンをクリックします。 入力内容をリセットするには **Clear (クリア)** ボタンをクリックします。アクティブに設定されていると登録外の IP アドレスからの接続は拒否されます。

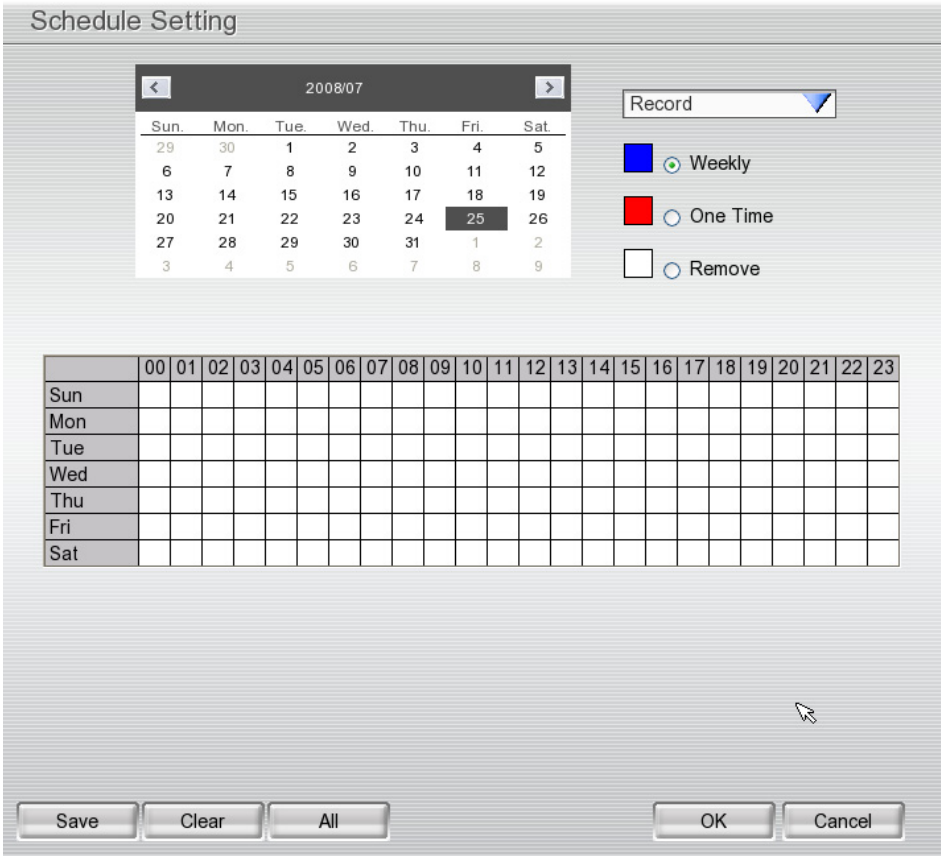



- **Network Bandwidth Limit (ネットワークの回線容量制限)**
  **By Channel (チャネル)**: 各チャンネルごとにネットワーク帯域幅を設定します。
  **ALL (全部)**: ネットワーク帯域幅の使用合計制限を設定します。



# 3.5 スケジュールの設定

すべてのカメラの録画、ネットワークのアクティブ化、再起動、アラームの無効化を、1 回または週単位でスケジュールします。 00 ～ 23 の数字は 24 時間形式で時刻を表します。 左端の列には曜日が表示されています。

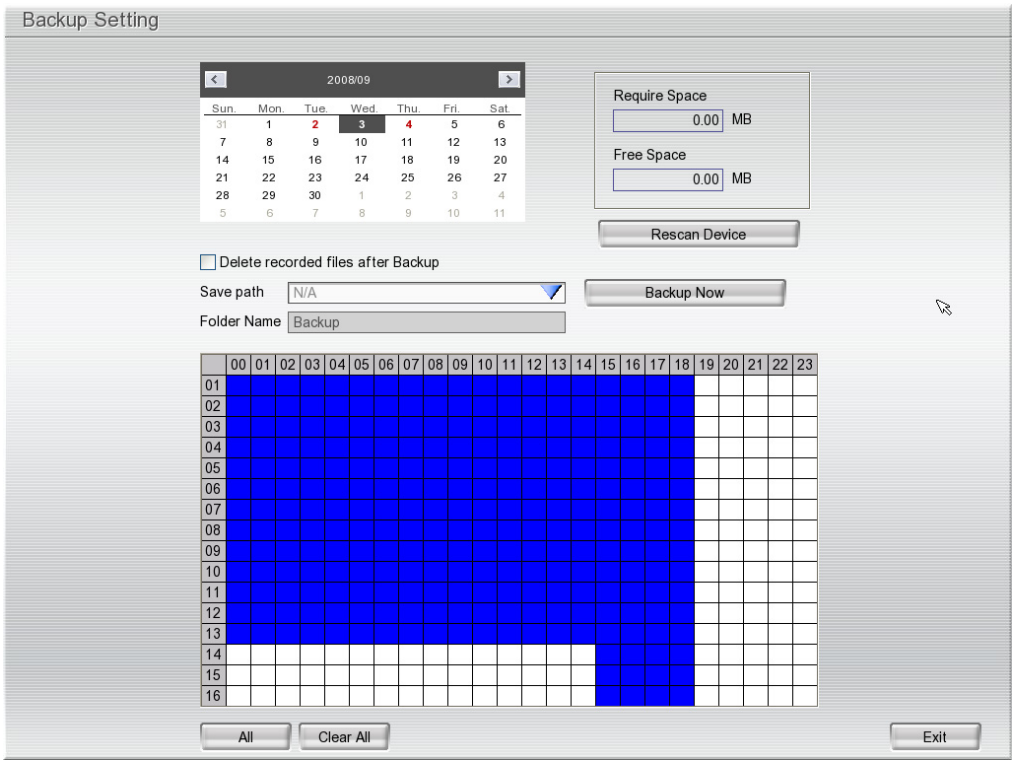



**スケジュールを設定する:**

1. カレンダーで日付を選択します。カレンダーの月を移動するには ◂ および ▸ ボタンを使用します。
2. ドロップダウンリストからスケジュールしたい項目を選択します。
   - **Record (録画)**
     録画設定で指定した時刻に、すべてのカメラの映像録画を開始します。
   - **Enable Network (ネットワーク有効)**
     指定した時刻に DVR リモートシステムのアクセスをアクティブ化します。 指定した時間帯が過ぎると、ネットワーク機能が OFF されます。 ネットワーク機能がすでにアクティブ化されていた場合は、指定した時間帯が終了してもネットワーク機能が OFF されません。
   - **Reboot (再起動)**
     指定時刻に DVR を再起動します。
     **Disable Alarm (アラーム無効)**
     指定した時間帯に、一時的にアラームを OFF します。
3. スケジュールは週単位または 1 回のみで設定することができます。 ⊙をクリックして選択します。
4. スケジュールを設定するブロックをクリックします。すべて選択する場合は **All (全部)** をクリックします。特定のスケジュールブロックの選択を解除する場合は、**Remove (削除)** をクリックして選択を解除するブロックをクリックします。 **Save (保存)** をクリックして設定を保存します。 設定を削除するには **Clear (クリア)** をクリックします。
5. Schedule Setting (スケジュール設定) を終了するには、**OK** をクリックして設定内容を保存し終了します。設定内容を保存しないで終了する場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。

# 3.6 バックアップの設定

Backup Setting（バックアップの設定）ダイアログボックス内の 00 ～ 23 の数字は、24 時間形式で時刻を表します。01 ～ 08 の数字はカメラ番号を表します。ファイルを再生するには、Qplayer アプリケーションが PC にインストールされている必要があります。ファイルをバックアップする際、バックアップフォルダに Qplayer アプリケーションが一緒に保存される場合があります。（3.6.1 参照）




1. バックアップを取りたい録画ファイルの録画日をカレンダーで選択します。カレンダーの月を移動するには ◀ および ▶ ボタンを使用します。

2. 下の表で、青いブロックをクリックして録画ファイルを選択します。カメラ（01 ～ 08）または時刻（00 ～ 23）をクリックすると、その列または行全体が選択されます。選択されたブロックは赤色で表示されます。白のブロックにはデータが存在しません。特定の時間を指定する場合は、選択したブロック上で右クリックします。そして開始時刻と終了時刻を設定します。

3. カレンダー横のセクションで、バックアップに必要なスペースを確認します。バックアップに要するスペースを計算するには **Rescan Device（デバイスを再スキャンします。）を**クリックします。
   - **Require Space（必要なスペース）**：バックアップファイルの合計サイズが表示されます。
   - **Free Space（空き領域）**：利用可能な格納スペースが表示されます。

4. DVR に録画ファイルを**引き続き保存しない**場合は、**Delete recorded files after Backup（バックアップ完了後の録画データを削除します。）チェックボックス**を選択します。

5. USB ディスクまたは DVD-ROM デバイスからバックアップデバイスを選択します。
6. **Folder Name（フォルダ名）**は DVR システムによって自動的に生成されます。
7. Backup Now **（今すぐバックアップ）**をクリックすると、選択したファイルの保存作業を開始します。

## 3.6.1 QPlayer を使用したバックアップ映像の再生

PC 上でバックアップファイルを再生するには QPlayer アプリケーションを使用します。 録画ファイルをバックアップする際、QPlayer アプリケーションはバックアップフォルダに自動的に保存されます。
QPlayer は再生モードと同様の機能を持ち、すべての映像を同時に表示するさまざまな画面分割タイプをサポートします。 再生モードとの唯一の違いは、右下にプレビューボタン･プレイバックボタンがないことです。 アプリケーションを実行するには、バックアップフォルダから **install_player** をダブルクリックして QPlayer をインストールします。 インストールが完了したら、PC のデスクトップ上の **QPlayer** アイコンをダブルクリックします。

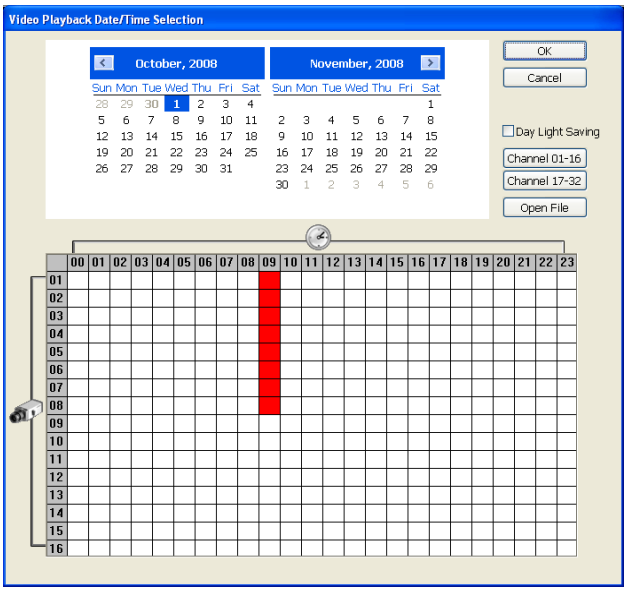
| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (1) 終了 | 本アプリケーションを終了します。 |
| (2) 画面分割モード | 全カメラの録画映像の均等表示再生、単一カメラの録画映像の再生または 1 台のメイン映像ウィンドウと他のカメラの小ウィンドウの同時再生など、4 つの画面分割再生パターンから選択できます。 |

- カメラ入力が 8ch のため、16 画面･13 画面分割モードに切り替えることはできません。
- 画面上の特定の領域を拡大表示するには、**右**クリックして**ドラッグ**することにより拡大領域を指定します。

| | |
|---|---|
| (3) プログレスバー | 再生中のファイルの進捗を表示します。 バー内の任意の位置に移動することでトラック内の該当箇所にジャンプできます。 |
| (4) 時刻ボタン | 時刻を選択してクリックすることで、特定の時間枠の録画映像ファイルを再生します。 |

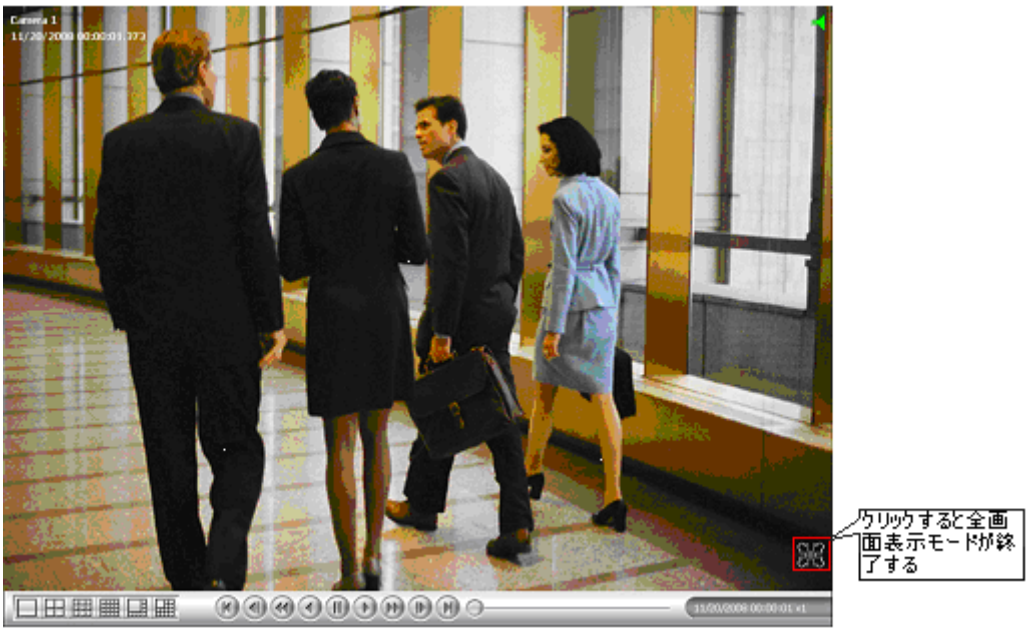
時刻ボタンは 24 時間形式で時刻を表します。 時刻ボタン上の青いバーは、その時間帯の録画映像ファイルが存在することを示します。 また、赤いバーは現在再生中の録画映像ファイルを示します。

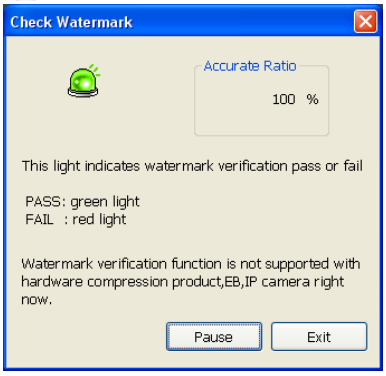
| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (5) 再生制御ボタン | **Begin (先頭)**: 録画ファイルの先頭に移動します。<br>**Previous (前)**: 前のコマに戻ります。<br>**Slower (スロー)**: 録画映像のスロー再生 (1/2x, 1/4x) 。<br>**Rewind (巻き戻し)**: 録画映像の巻き戻し。<br>**Pause (一時停止)**: 録画映像ファイル再生の一時停止。<br>**Play (再生)**: 録画映像ファイルの再生。<br>**Faster (倍速再生)**: 録画映像の倍速再生 (2x, 4x, 8x, 16x, 32x) 。<br>**Next (次)**: 次のコマに進みます。<br>**End (最後)**: 録画ファイルの最後に移動します。 |
| (6) Archive (アーカイブ) | 録画映像の再生開始日時を指定するには、カレンダーで日付を選択し、00 ～ 23 の間で時刻を選択します。<br>– **OPEN FILE (ファイルを開く)**: HDD から録画ファイルを開きます。<br>– **Channel 01-16 & Channel 17-32:** 再生カレンダーのチャンネルグループを切り替えます。<br>– **Day Light Saving (サマータイム調整)**: サマータイム時間調整中の録画映像が再生カレンダーに表示されます。 |




00 ～ 23 の数字は 24 時間形式で時刻を表します。01 ～ 08 の数字はカメラ ID を表します。青いバーは、その時間帯の録画映像ファイルが存在することを示します。また、赤いバーは録画映像ファイルの再生開始位置を示します。

| | |
|---|---|
| (7) ステータスバー | 録画日時および再生速度を表示します。 |
| (8) カメラ ID | 映像表示中のカメラ番号を表示します。シングル画面モード時にカメラ ID 番号をクリックすると、そのカメラの映像に切り替わります。 |
| (9) Language (言語) | UI (ユーザーインターフェース) 言語を切り替えます。 |
| (10) Export (エクスポート) | エクスポートにはスナップショット、印刷、映像クリップ出力機能が含まれます。<br>λ **Snapshot (スナップショット)**: スクリーンショットをキャプチャして*.jpg 形式で保存します。<br>λ **Print (印刷)**: スクリーンショットの印刷をします。<br>λ **Output Video Clip (映像クリップ出力)**: 分割したファイルを*.dvr 形式で保存します。 |

| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (11) Segment<br>(セグメント) | 録画映像の時間の一部分を選択します。<br>録画映像の一部分を切り取って保存するには以下の手順を行います。<br>1. 再生制御ボタンを使用、または再生プログレスバーをドラッグして、切り取りの開始位置で一時停止します。 **Segment (セグメント)** をクリックして開始マークをつけます。<br> <br>2. 再生制御ボタンを使用、または再生プログレスバーをドラッグして、切り取りの終了位置で一時停止します。 **Segment (セグメント)** をクリックして終了マークをつけます。分割を取り消す、またはセグメントマークをリセットする場合は、**Segment (セグメント)** ボタンを再度クリックします。<br> <br>3. **Export (エクスポート) →Output Video Clip (映像クリップの出力)** ボタンをクリックして切り取った部分を保存します。<br>4. **Save As** (名前をつけて保存) ダイアログボックスでファイルの保存場所を選択し、ファイル名を入力して映像形式を選択します。 |
| (12) Full screen<br>(全画面) | 全画面表示。普通表示に戻るにはマウスの右ボタンまたはキーボードの **ESC** ボタンを押すか、矢印アイコンをクリックします。<br>  <br><br>複数画面モード時に全画面表示に切り替えた場合、**左**クリックで単一映像/全ての映像表示が切り替えられます。 |
| (13) Find Next<br>(次を検索) | モーション検出フレームで次のイベントまたは変化を検索します。<br>Intelligent Search (知的サーチ) または Event Search (イベントサーチ) 機能使用時に使います。 |
| (14) Event Search<br>(イベントサーチ) | イベントログに記録されたアクティビティを検索します。<br>(例:センサー、モーション、映像の損失) |
| (15) Intelligent Search<br>(選択的サーチ) | モーション検出フレームで変化を検索します。 |
| (16) 音声 | 音声をオンまたはオフにします。 |

| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (17) インターレース除去 | 映像画質を向上させます。動きのない画像をキャプチャする場合はインターレース除去モードを#1 に、動きの多い画像の場合は#2 に設定します。 |
| (18) ウォーターマーク | 再生動画が加工されていないかをチェックします。(電子透かし)<br>このボタンを押すと、以下のようにウォーターマーク証明確認ウィンドウが開きます。<br>  |

## 3.6.2 Visual Search (ビジュアルサーチ) を使用した検索

5. **Visual Search (ビジュアルサーチ)** をクリックします。
6. Visual Search Setting (ビジュアルサーチ設定) ダイアログボックスで、カメラ番号と日付を選択します。**OK** をクリックします。

7. 選択した日付の連続フレームが表示されます。フレームをクリックすると別の連続フレームが表示されます。その日付の毎時、特定の時間内の 3 分毎、特定の分内の 10 秒毎、特定の 10 秒内の毎秒で検索できます。戻るには をクリックします。選択したフレームを表示し、イベントサーチを閉じるには、 をクリックします。

## 3.6.3 Event Search (イベントサーチ) を使用した検索

1. イベントを検索したい映像画面上をクリックします。
2. **Event Search (イベントサーチ)** をクリックします。
3. イベントサーチ検索設定) ダイアログボックスで検索条件を選択します。条件に適合するコマで映像検索がストップします。次を検索するには をクリックします。
4. すべての検索結果を一覧表示することもできます。**Begin Time (開始時刻)** 、**End Time (終了時刻)** 、**Searching Interval (間隔を検索します。)** を設定します。**OK** をクリックして検索を開始します
5. 表示された Event (イベント) 一覧で、見たい項目をクリックします。

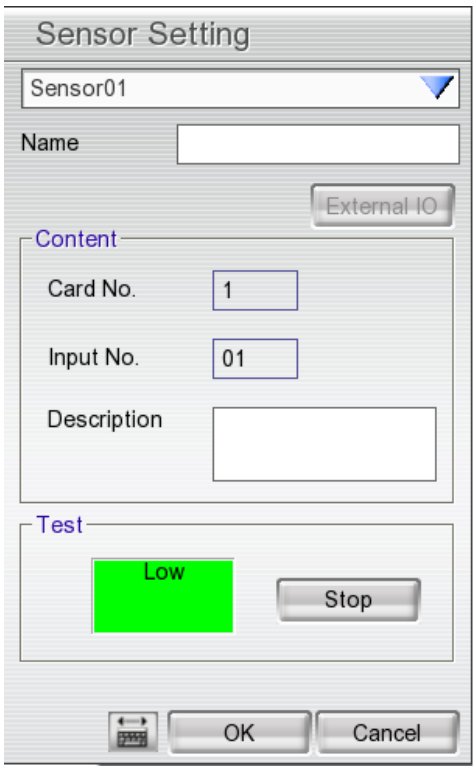
## 3.6.4 Intelligent Search（選択的サーチ）を使用した検索

1. イベントを検索したい映像画面上をクリックします。
2. **Intelligent Search（選択的サーチ）**をクリックします。画面左下に Intelligent Search テキスト（赤）が表示されます。
3. インテリジェント検索設定ダイアログボックスとモーション検出フレームが表示されます。**Sensitivity（感度）**バーとモーション検出フレームのサイズ･位置は調節可能です。
4. モーション検出フレームのサイズと位置を設定するには、左クリックして画面上をドラッグします。
5. **OK** をクリックして検索を開始します。条件に適合するコマで映像検索がストップします。
6. 次を検索するには をクリックします。すべての検索結果を一覧表示することもできます。
7. **List**（リスト）ボックスを確認します。**Searching Duration（検索時間帯）**セクションで、**Begin Time（開始時刻）**、**End Time（終了時刻）**、**Searching Interval（検索間隔）**を設定します。**OK** をクリックして検索を開始します。

# 3.7 センサーの設定

この機能を使用するには、入出力デバイスの接続・登録設定が必要です。

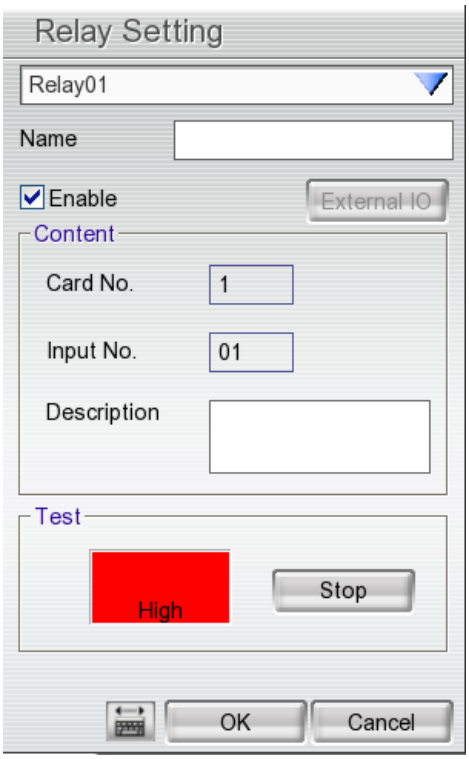
1. ドロップダウンボックスをクリックして、センサーID 番号を選択します。
2. **Name（名前）** 欄にセンサーの「名前」を入力します。
3. システムによってカードと入力番号が自動検出されます。 **Content（内容）** セクションの **Description（説明）** にセンサーの**説明**を入力します。
4. **Test（テスト）** セクションで **Test** をクリックしてセンサーのステータスを確認します。 **赤**は High、**緑**は Low を意味します。 制御は電圧供給で 6V DC（MAX）です。
5. **OK** をクリックして設定内容を保存します。設定の変更内容を保存しないで終了する場合は **Cancel（キャンセル）** をクリックします。



# 3.8 リレーの設定

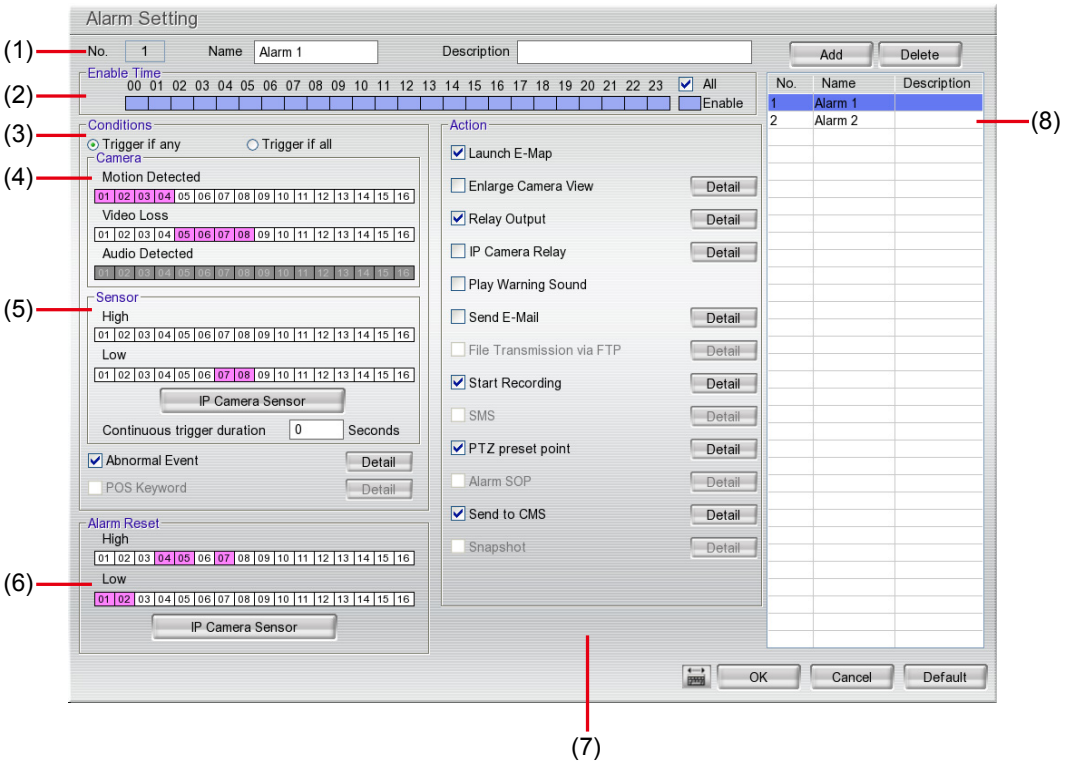
この機能を使用するには、入出力デバイスの接続・登録設定が必要です。

1. ドロップダウンボックスをクリックして、リレーID 番号を選択します。
2. **Name（名前）** 欄にリレーの「名前」を入力します。
3. システムによってカードと入力番号が自動検出されます。 **Content（内容）** セクションの **Description（説明）** にリレーの説明を入力します。
4. **Test（テスト）** セクションで **Test** をクリックしてリレーをトリガします。 **赤**は High（NC）、**緑**は Low（NO）を意味します。
5. **OK** をクリックして設定内容を保存します。設定の変更内容を保存しないで終了する場合は **Cancel（キャンセル）** をクリックします。



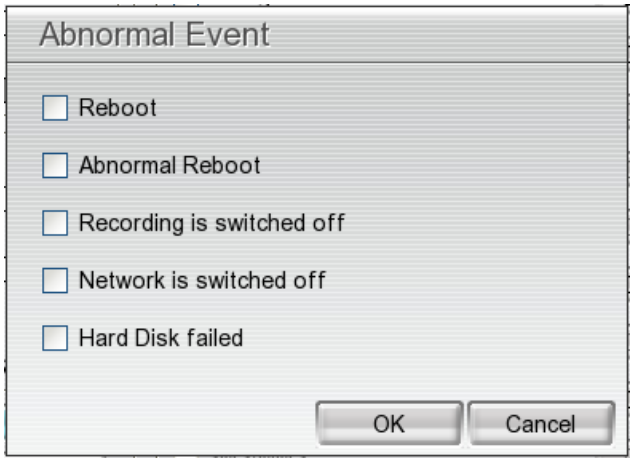
# 3.9 アラームの設定

Alarm Setting（アラームの設定）ダイアログボックスで、新しいアラーム設定を追加するには **Add（追加）** をクリックします。
選択したアラーム設定を削除するには **Delete（削除）** をクリックします。
**OK** をクリックして設定を保存し、終了します。
設定の変更内容を保存しないで終了するには **Cancel（キャンセル）** をクリックします。
**Default（デフォルト）** をクリックすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。




1. 新しいアラーム設定を追加するには **Add（追加）** をクリックします。アラーム設定を編集するには、**(8) アクション**のアラーム設定一覧で編集したい項目をクリックします。
2. **(1) No./Name（名前）/Description（説明）** にアラームの「名前」と説明を入力します。**No.（アラーム番号）** は DVR システムによって自動的に設定されます。
3. **(2) Enable Time（時間を有効にします。）** 内の 00 ～ 23 の数字は、24 時間形式で時刻を表します。アラーム機能を ON/OFF したい時間ブロックをクリックします。OFF に設定されたブロックは白色で表示されます。
4. **(3) Conditions（条件）** では、いずれかの 1 つの条件に当てはまる場合でアクティブ化する **Trigger if any（1 つの条件を満たす）**、またはすべての条件が一致する場合のみアクティブ化する **Trigger if all（全ての条件を満たす）** を選択します。
5. **(4) Camera（カメラ）** セクションでは、システムがアラームを発する条件の設定として、**Motion Detected（動作検知）** および **Video Loss（ビデオ信号消失）** でカメラ番号（01 ～ 08）をクリックして選択します。
6. **(5) Sensor（センサー）** セクションでは、システムがアラームを発する条件の設定として、センサー番号をクリックして選択します。センサーの正常ステータスが High の場合、センサー条件を Low に設定します。

   システムがアラームを発するイベント条件を設定するには、**Abnormal Event（異常イベント）** チェックボックスを選択します。




■**Reboot (再起動)** : DVR システムが異常な条件がないにもかかわらず再起動した場合、システムはアラームメッセージを発信します。

■**Abnormal Reboot (異常再起動)** : DVR システムが異常な条件によって再起動した場合、システムはアラームメッセージを発信します。

■**Recording is switched off (録画停止)** : 録画が停止した場合、システムはアラームメッセージを発信します。

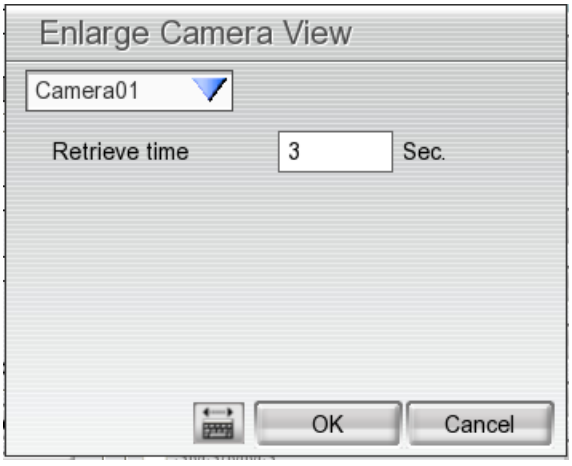
■**Network is switched off (ネットワーク停止)** : DVR システムのネットワーク接続が損なわれた場合、システムはアラームメッセージを発信します。

■**Hard Disk failed (ハードディスクエラー)** : ハードディスクが正常に動作しない場合、システムはアラームメッセージを発信します。

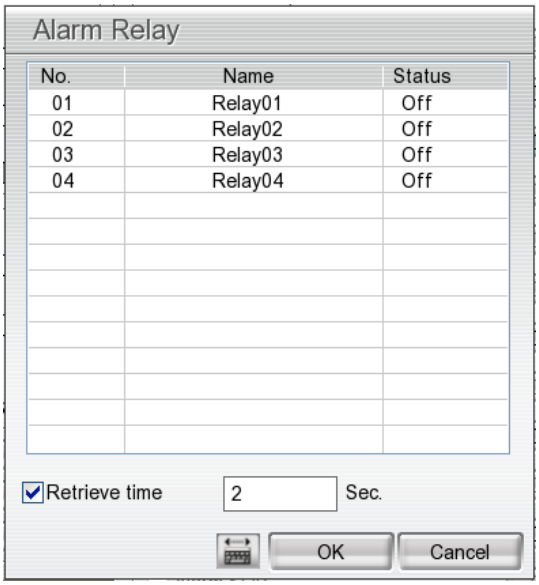
- **Continue trigger duration (連続トリガ期間)** : センサーがトリガされ、ここで指定した一定時間同じ状態が続いた場合、アラームが発信されます。

7. **(6) Alarm Reset (アラームのリセット)** では、カメラ番号をクリックして選択し、アラームのリセット条件を設定します。 アラームがリセットされると同時にすべてのアラームアクションが停止します。 センサーの正常ステータスが High の場合、アラームのリセット条件を Low に設定します。

8. **Action (アクション)** では、アラームの発動時にシステムが行うアラームアクションを設定します。
   - **E-Map 表示**: 小さい E-map を表示します。
   - **Enlarge Camera View (カメラ画面を拡大)**
     アラームが発動された映像のみをプレビューモードで表示するよう切り替えます。
     a. ドロップダウンリストからカメラを選択して、アラーム発動時に画面上で拡大表示するカメラ映像を指定します。
     b. **Retrieve time (復元時間)** : システムが元のプレビューモードに戻るまでの待ち時間を設定します。 回復までの時間が未指定の場合、ユーザーが手動でプレビューモードに切り替えるまでアラーム映像の拡大表示が続きます。 回復までの時間は 0 ～ 600 秒の範囲で指定できます。



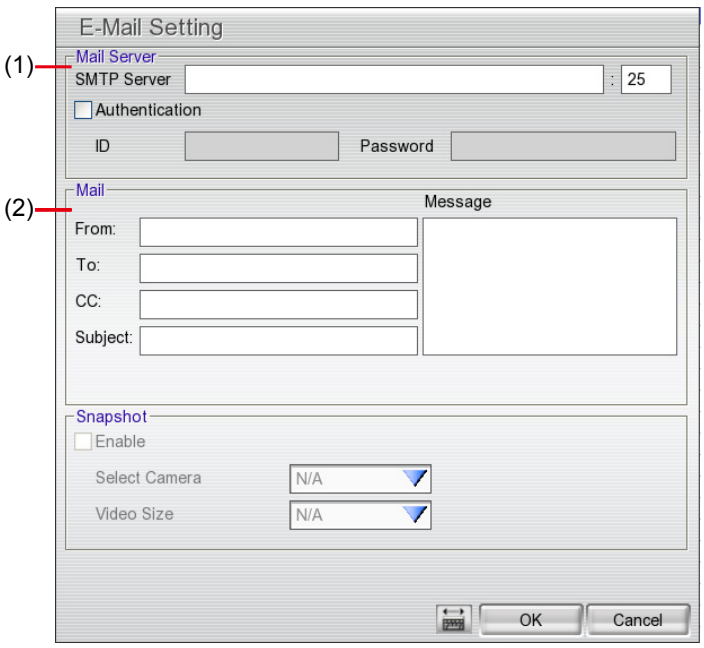
**Relay Output (リレー出力)**




アラーム発動時のリレー操作を有効にするかどうか、またリレー操作停止までの延長時間を秒単位で設定します。

1. Relay Output (リレー出力) チェックボックス横の **Detail (詳細)** ボタンをクリックします。
2. **Alarm Relay (アラームリレー)** ダイアログボックスで、リレー一覧からリレーを選択し、ステータス ON でアラーム発動時のリレー操作の ON/OFF を設定します。
3. **Retrieve time (復元時間)** チェックボックスでは、リレー操作時間の延長をアクティブ化または OFF し、時間を秒単位で設定します。
4. **OK** をクリックして設定内容を保存します。設定の変更内容を保存しないで終了する場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。

- **IP Camera Relay (IP カメラリレー)**
  アラームが動作した場合のリレー設定をオン/オフ設定します。
- **Play Warning Sound (警報音を出す)**
  警告音を鳴らします。
- **Send E-mail (E メール送信)**
  **この機能の使用にあたっては池上通信機（株）の代理店もしくは弊社営業担当にご確認ください。ネットワーク設定の変更が必要となる場合があります。**
  アラーム信号検出に応じて指定アドレスに E メールを送信します。E メールの送信チェックボックス横の **Detail (詳細)** ボタンをクリックします。
  **E-mail Setting (E メール設定)** ダイアログボックスで、**OK** をクリックすると設定内容が保存され終了します。設定内容を保存しないで終了する場合は Cancel (キャンセル) をクリックします。




**(1) Mail Server (メールサーバー)**

**SMTP Server (SMTP サーバー)** および**ポート**を入力します。E メールシステムが認証を必要とする場合は、**Authentication (認証)** をアクティブにし、**ID** と **Password (パスワード)** を入力します。

**(2) Mail (メール)**

メール詳細を入力します。

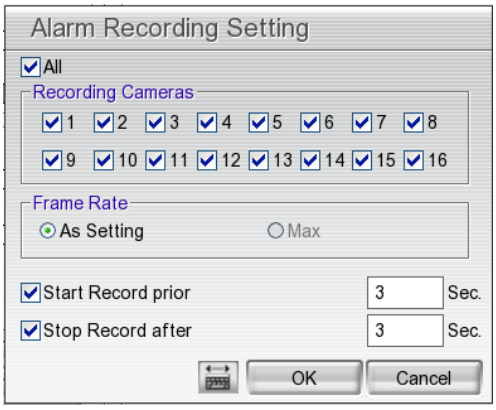
**From (発信元)**: 送信者の E メールアドレスを入力します。

**To and CC (宛先と CC)**: 宛先の E メールアドレスをカンマまたはセミコロン (;) で区切って入力します。

**Subject (件名)**: メッセージの件名を入力します。

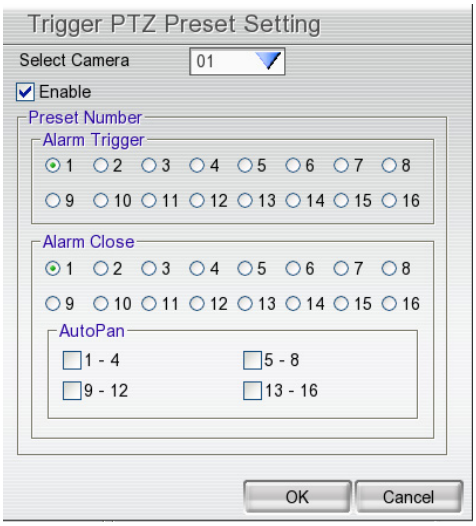
**Message (メッセージ内容)**: メッセージ文を入力します。

- **Start Recording (録画開始)**
  選択したカメラで映像を録画します。

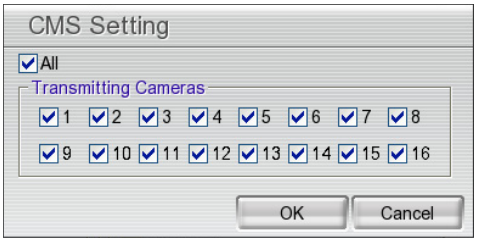



  1. **Start Recording (録画開始)** チェックボックス横の **Detail (詳細)** ボタンをクリックします。
  2. **Alarm Recording Setting (アラーム録画設定)** ダイアログボックスで、映像録画をアクティブ化または OFF するカメラを選択します。すべてのカメラを一括で選択するには **All (全部)** を選択します。
  3. **Frame Rate (フレームレート)** セクションで、**Recording Setting (録画設定)** に基づくフレーム数の録画を行うには **As Setting (設定通り)** を選択します。
  4. **Start Record prior (動作検知前の画像を何秒間保存しますか。)** をアクティブ化した場合、アラームの発動後に録画を開始するまでの秒数を指定します。時間は 1 ～ 10 秒の範囲で指定できます。
  5. **Stop Record after (動作検知後の画像を何秒間保存しますか。)** をアクティブ化した場合、アラームの終了後に録画を停止するまでの秒数を指定します。時間は 1 ～ 999 秒の範囲で指定できます。この項目が未設定の場合、アラームがリセットされるまでアラーム録画は続きます。
  6. **OK** をクリックして設定内容を保存します。設定の変更内容を保存しないで終了する場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。

- **PTZ preset point (PTZ プリセットポイント)**
  PTZ カメラをプリセットポイント設定に基づいて設定します。**PTZ preset point (PTZ プリセットポイント)** チェックボックス横の **Detail (詳細)** ボタンをクリックします。**Trigger PTZ Preset Setting (PTZ プリセット設定)** ダイアログボックスで、PTZ カメラ番号を選択し **Enable (有効)** チェックボックスにチェックを入れ、アラーム発動時および終了時の PTZ カメラの位置を選択します。PTZ カメラの終了ポイントには、プリセット位置またはプリセット位置グループ間の **Auto Pan (オートパン)** を選択することもできます。




- **Send to CMS (Central Management System) (CMS に送信)**
  **CMS は CM3000 というオプション機能に付属します。この機能については池上通信機（株）の代理店もしくは弊社営業担当にご確認ください。**
  アラーム発動時に CMS（中央管理システム）に映像を送信するカメラを選択します。



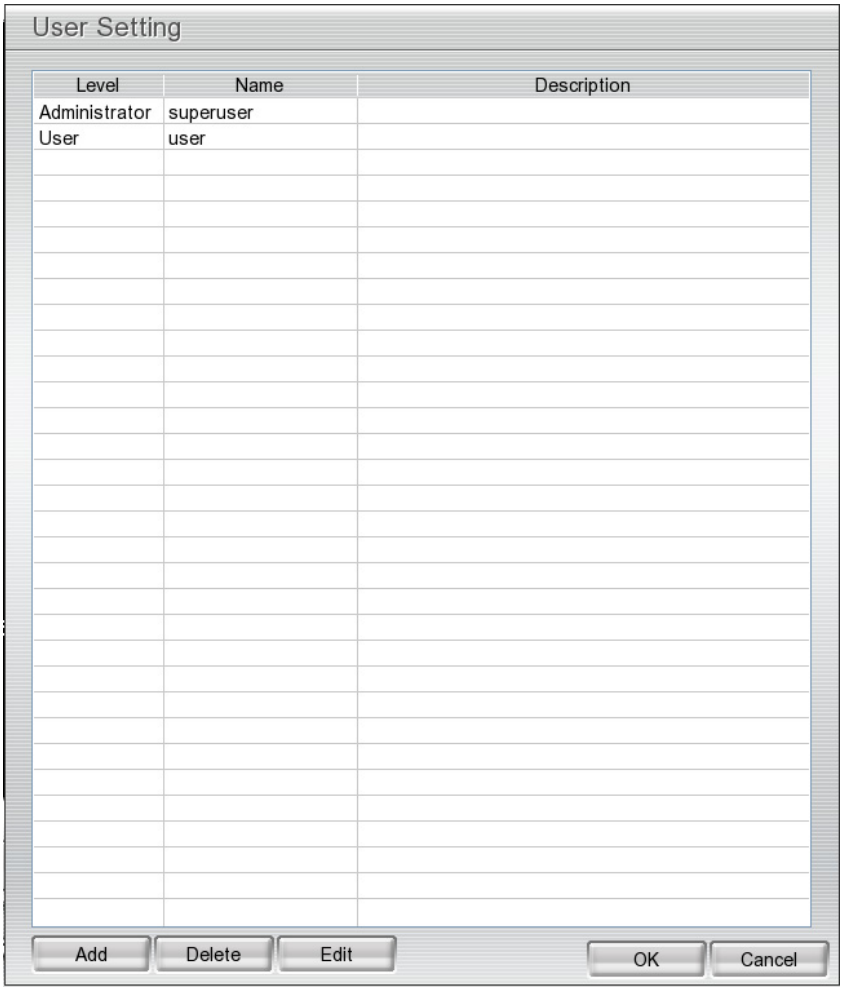

  Send to CMS（CMS に送信）チェックボックス横の **Detail (詳細)** ボタンをクリックします。**CMS Setting (CMS 設定)** で、CMS に映像を送信するカメラを選択します。すべてのカメラを一括で選択するには **All (全部)** を選択します。**OK** をクリックして設定内容を保存します。設定の変更内容を保存しないで終了する場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。

# 3.10　ユーザーのセットアップ

管理者レベルの権限を持つユーザーのみが **User Setting（ユーザー設定）** にアクセスすることができます。最大で 32 のユーザーアカウントが作成可能です。

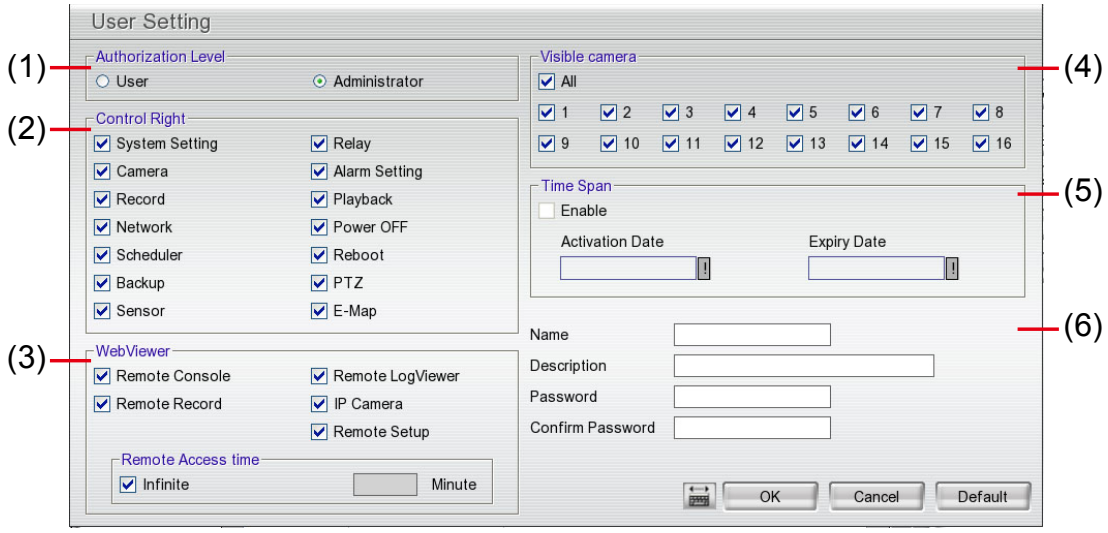
User Setting（ユーザー設定）ダイアログボックスで、新しいユーザーを追加するには **Add（追加）** をクリックします。選択したユーザーを削除するには **Delete（削除）** を、ユーザー制御を変更するには **Edit（編集）** をクリックします。

**OK** をクリックして設定を保存し、終了します。
設定の変更内容を保存しないで終了するには **Cancel（キャンセル）** をクリックします。




**<u>ユーザーアカウントを追加する:</u>**

7. **User Setting（ユーザーの設定）** ダイアログボックスで **Add（追加）** をクリックします。
8. 以下の詳細を選択･入力します。




**(1) Authorization level (許可レベル)**

ユーザーのレベルを選択します。通常は「User」を選択することを強く推奨します。

**(2) Control Right (制御権限)**

ユーザーにアクセスを許可する項目を選択します。

**(3) Web Viewer (ウェブビューアー)**

ユーザーが遠隔地から Internet Explorer を使用して操作できる WebViewer のアクセス権を選択します。

- **Remote Console (遠隔コンソール)**
  ユーザーに DVR システム設定の遠隔操作による変更を許可します。
- **Remote LogViewer (遠隔ログビューワー)**
  ユーザーに遠隔地からのイベントログの閲覧を許可します。
- **IP Camera (IP カメラ)**
  WebViewer 使用時にユーザーに新しい IP カメラの追加を許可します。
- **リ Remote Access Time (リモートアクセスタイム)**
  DVR へのアクセスを時間制限なしで許可する場合は **Infinite (無制限)** チェックボックスを選択します。 時間制限を設定する場合、**Minute (分)** テキストボックスに分数を入力します。

**(4) Visible Camera (可視カメラ;表示可能なカメラ**

ユーザーにアクセスまたは表示を許可するカメラの番号を選択します。 すべてのカメラを一括選択する場合は **ALL (全部)** チェックボックスを選択します。

**(5) Time Span (有効期間)**

ユーザーが DVR プログラムにログインできるアカウントの使用期間を設定します。**Enable (有効)** チェックボックスを選択し、**Activation Date (開始日)** および **Expiry Date (終了日)** を選択します。

**(6) Name (名前)**

ユーザーの名前を入力します。

**Description (説明)**

ユーザーの説明を入力します。

**Password (パスワード)**

ユーザーのパスワードを入力します。

**Confirm Password (パスワード確認)**

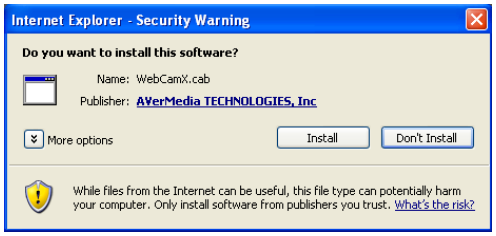
ユーザーのパスワードを確認のため再度入力します。

# 第 4 章　リモートプログラムの使用

**この機能の使用にあたっては池上通信機（株）の代理店もしくは弊社営業担当にご確認ください。ネットワーク設定の変更が必要となる場合があります。**
Microsoft Internet Explorer から IP アドレスを入力することで、DVR システムにアクセスすることができます。この機能を使用するには、お使いの PC と DVR の両方がインターネットに接続してあり、ネットワーク機能がアクティブになっていることを確認してください。

この機能への初回アクセス時、ブラウザによって WebCamX.cab のインストールが指示されます。インストールを許可することで、その後の接続とログインが可能になります。
Windows2000 をお使いの場合、**Security Warning（セキュリティ警告）**ダイアログボックスが表示されたら **Yes（はい）**をクリックしてください。

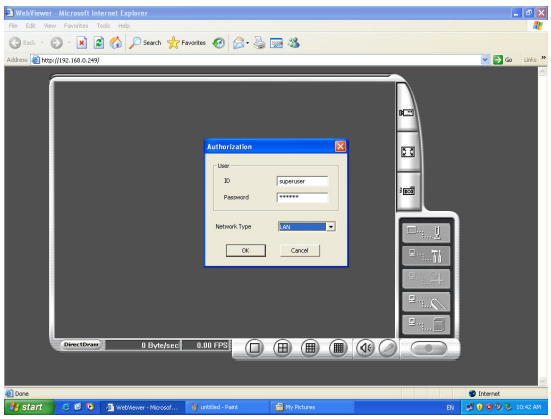
WindowsXP をお使いの場合、Internet Explorer – **Security Warning（セキュリティ警告）**ダイアログボックスが表示されたら **Install（インストール）**をクリックしてください。




WebCamX.cab のインストール後、DVR システムに接続する際に、アカウント ID およびパスワードを入力し、ネットワーク種別を選択する必要があります。メーカーの工場出荷時のデフォルトのアカウント ID は **superuser** および **user**、パスワードは共通で 111111 となっています。

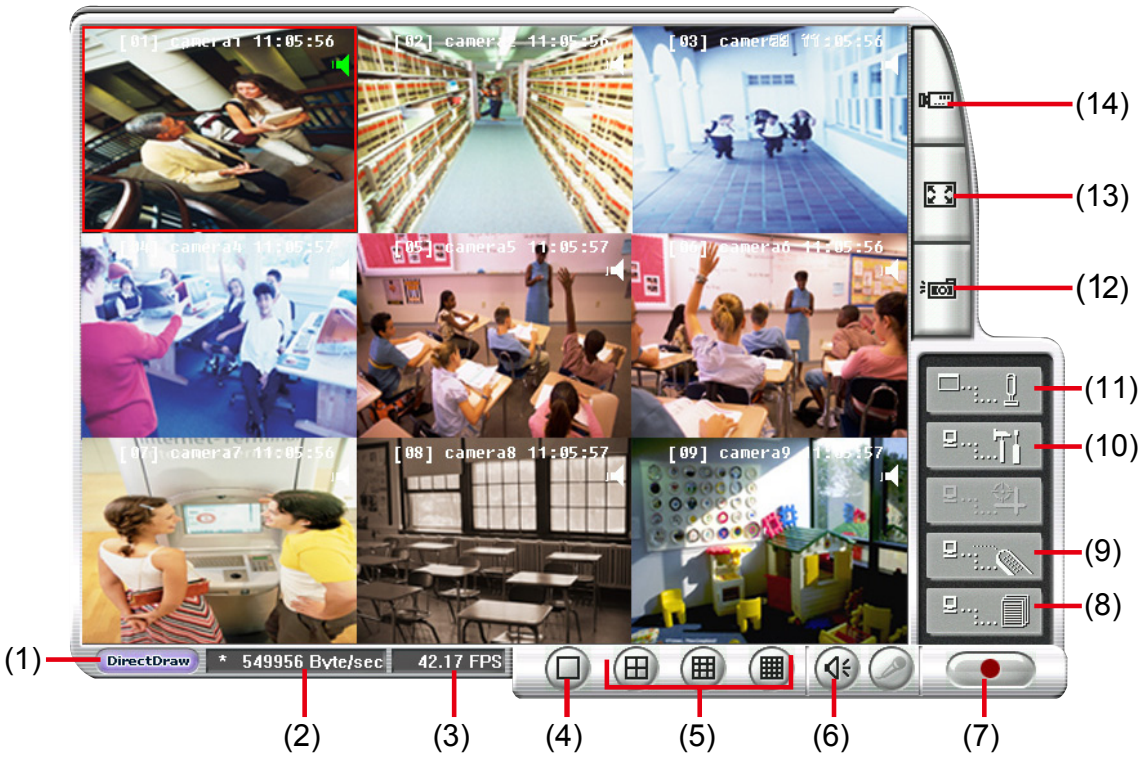
**Superuser（スーパーユーザー）**は WebViewer で DVR システムの構成をリモートセットアップする権限があります。**User（ユーザー）**は WebViewer およびリモートコンソールで映像を見ることのみ可能です。
**お客様の機器については池上通信機（株）の代理店もしくは弊社営業担当にお確かめください。**

デフォルトのアカウントパスワードから変更しておくことを強く推奨します。



# 4.1 WebViewer のボタンの名称と説明

WebViewer の映像画面上で右クリックすることで、録画の開始、画質変更、カメラ切替および DirectDraw のオン/オフの操作が行えます。

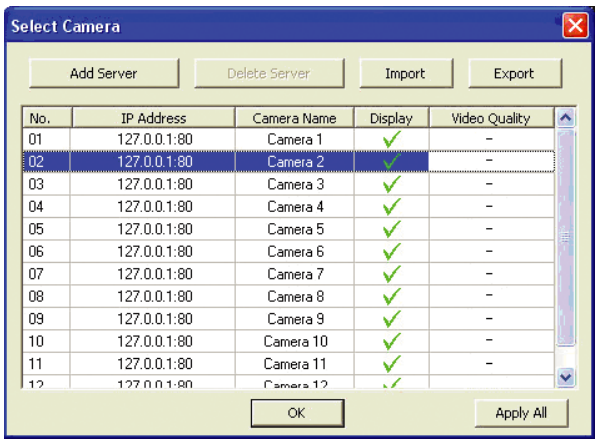



| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (1) DirectDraw | 映像画質を向上させます。 |

PC 内蔵のグラフィックカードによってはこの機能をサポートしていない場合があります。
画面表示が正しく行えない場合や画像が乱れる場合は、池上通信機（株）の代理店もしくは弊社営業担当にご連絡ください。

| | |
|---|---|
| (2) 受信ファイルサイズ | 1 秒あたりのデータ受信量を表示します。 |
| (3) カメラのコマ数 | 1 秒あたりのコマ数を表示します。 |
| (4) 単一画面表示 | 単一カメラ映像を表示する。画面上を右クリックすることで別のカメラの表示に切り替えられます。 |
| (5) 画面分割表示 | 全カメラ映像を画面上で同時に表示します。 |
| (6) 音声 | 遠隔音声をオン/オフします。 |

| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (7) 録画 | 選択したカメラの映像を AVI 形式で録画開始します。画面を直接クリックすることで録画したいチャンネルを選択し、**録画**ボタンを押します。 |
| (8) 遠隔コンソール | リモートコンソールを起動します DVR サーバを制御することができます。 |
| (9) イベントログビューア | イベントログ、操作ログ、システムログ、ネットワークログを表示します。 |
| (10) 遠隔設定 | DVR サーバの設定を変更します。 |
| (11) PTZ 制御 | PTZ カメラのコントローラを起動します。 |
| (12) スナップショット | スクリーンショットをキャプチャして*.bmp 形式で保存します。 |
| (13) 全画面 | 映像を全画面表示します。<br>普通表示に戻るにはマウスの右クリックまたはキーボードの ESC ボタンを押します。 |
| (14) 表示カメラの選択 | 異なるサーバから表示したいカメラを選択します。**Select Camera (カメラの選択)** ダイアログボックスの **Display (表示)** カラムで、各カメラをクリックすることで表示のオン/オフを切り替えます。<br>サーバーを追加するには **Add Server (サーバー追加)** をクリックし、サーバータイプ (DVR/IP) を選択します。<br>(選択した項目を削除するには **Delete Server (サーバーの削除)** をクリックします。)<br>保存されたリストをロードするには **Import (インポート)** をクリックします。<br>リストを保存するには **Export (エクスポート)** をクリックします。<br>選択した設定に基づきすべてのカメラの画質を変更するには **Apply All (全部適用)** をクリックします。<br>終了するには **OK** をクリックします。 |

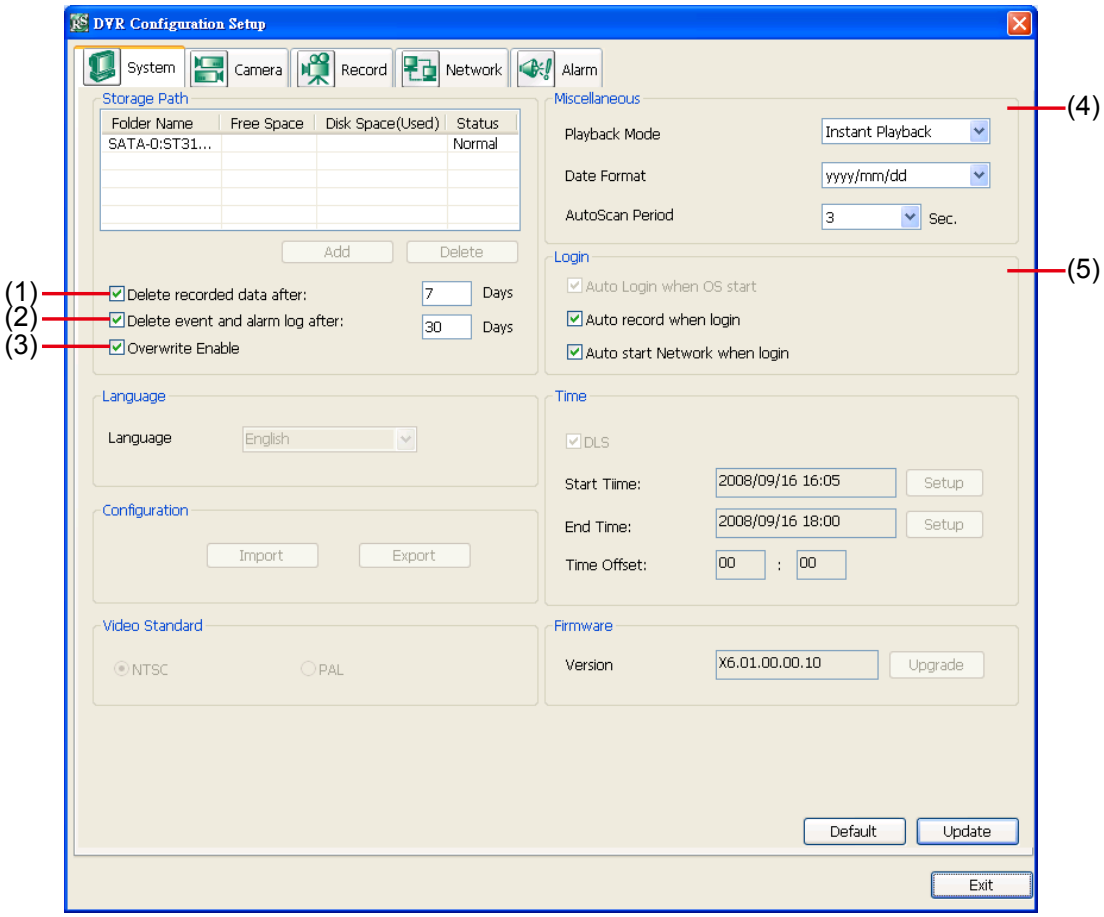


## 4.1.1　リモートシステムのセットアップ

ここで行う設定はリモート DVR にのみ適用されます
**この機能の使用にあたっては池上通信機（株）の代理店もしくは弊社営業担当にご確認ください。ネットワーク設定の変更が必要となる場合があります。。**

### 4.1.1.1　システムの設定

System Setting（システムの設定）ウィンドウで **Update（更新）** をクリックすると新しい設定が保存され、**Exit（終了）** をクリックすると設定の変更内容を保存しないで終了します。製品出荷時の設定を復元するには **Default（デフォルト）** をクリックします。




**(1) Delete recorded data after（指定日数を経過した録画データの削除）**
特定の日数が経過したデータを自動的に削除したい場合は、**Delete recorded data after（指定日数を経過した録画データの削除）** チェックボックスを選択し、**Days（日）** テキストボックスに日数を入力します。

**(2) Delete event and alarm log after（指定日数を経過したイベント･アラームログの削除）**
特定の日数が経過したイベント･アラームログを自動的に削除したい場合は、**Delete event and alarm log after（指定日数を経過したイベント･アラームログの削除）** チェックボックスを選択し、**Days（日）** テキストボックスに日数を入力します。

**(3) Overwrite Enable（上書きを有効にする）**
1 時間分のデータを記録する空き容量が足りないときに、自動的に最も古いデータが上書きされます。

### (4) Miscellaneous (その他)

システムに実行させたい条件を Miscellaneous セクションで有効にします。

- Playback mode (再生モード) :
  映像の再生モードを選択します。
  Select date and time (日時の選択) : 再生したい映像ファイルの録画日時を選択します。
  Play the last file (最後の映像ファイルの再生) : 最後の 1 時間の映像を自動的に再生します。
  Instant Playback (直前の映像を再生) : 直前に録画した映像を自動的に再生します。
- Date Format (日付形式)
  **録画日時の選択**再生モードで表示される日付の形式を選択します。
- Auto Scan Period (自動スキャン周期)
  自動スキャンの時間間隔を 3 秒から 10 秒の間で設定します。設定した間隔に基づいて映像が周期的に切り替わります。

### (5) Login (ログイン)

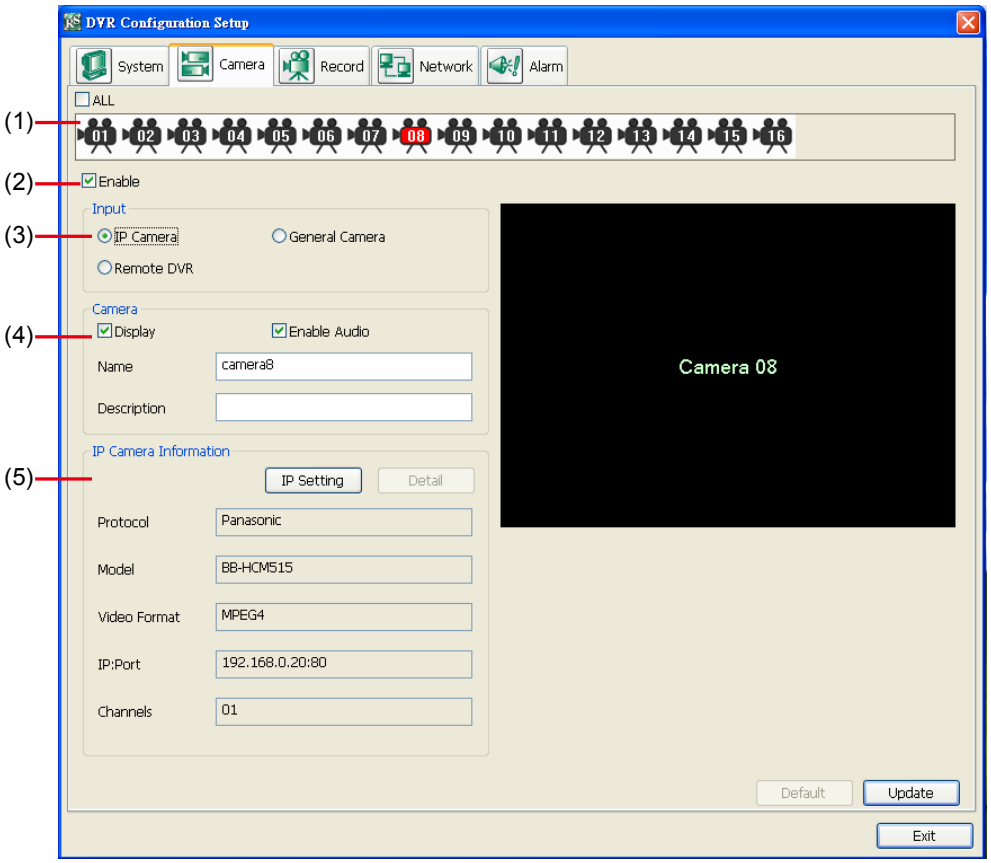
システムログインに関するオプションを選択します。

- Auto record when login (ログイン時に録画を自動開始)
  DVR 起動時に映像の録画を自動開始します。
- Auto start Network when login (ログイン時にネットワークを自動開始)
  DVR 起動時にネットワーク接続を自動開始します。

### 4.1.1.2　カメラの設定

リモート DVR サーバーから、設定を変更するカメラを選択します。Camera Setting（カメラの設定）ウィンドウで **Update（更新）** をクリックすると新しい設定が保存・適用され、**Exit（終了）** をクリックすると設定の変更内容を保存しないで終了します。

**IP カメラの設定**




**(1) カメラアイコン**

映像設定を調整したいカメラの番号を選択します。すべてのカメラを選択する場合は **ALL（全部）** チェックボックスを選択します。複数のカメラを選択する場合は、カメラアイコン上で右クリックします。カメラを 1 つだけ選択する場合は、カメラアイコン上で左クリックします。選択されたカメラは赤色で表示されます。

**(2) Enable（アクティブ化）**

選択したカメラ入力端子を ON/OFF します。カメラ入力端子に映像ソースが存在しない場合は、システムに映像の損失エラーが表示されてしまうため、OFF にしておくことを推奨します。

**(3) Input（入力）**

カメラの種別として **IP Camera（IP カメラ）** を選択します。Analog **camera（アナログカメラ）** の設定については アナログカメラの設定 を参照してください。リモート DVR のカメラ設定の変更については 遠隔 DVR カメラの設定 を参照してください。

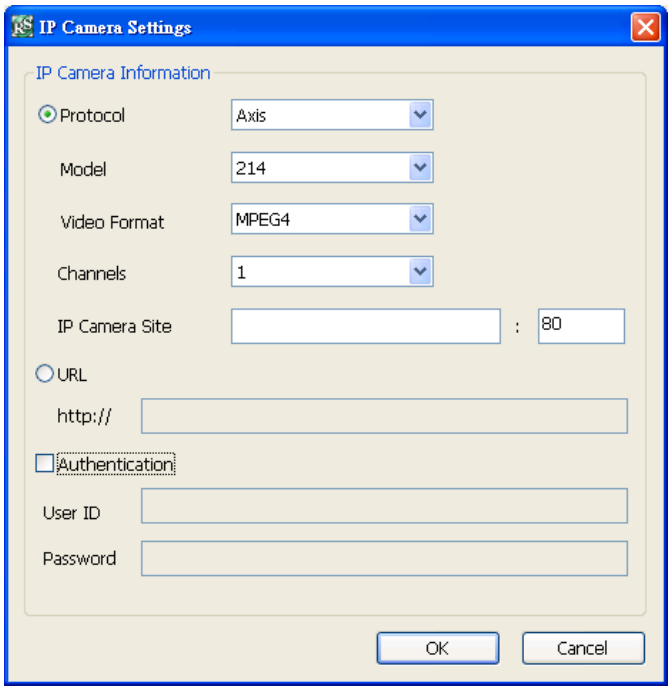
**(4) Camera (カメラ)**

- **Display (ディスプレイ)**
  映像の表示をオン/オフにします。選択したカメラの映像が非表示の状態でも、その映像を録画して再生モードでプレビューすることができます。
- **Enable Audio (音声のアクティブ化)**
  カメラの音声をオン/オフにします。
- **Name (名前)**
  カメラの名前を変更します。
- **Description (説明)**
  短い説明文を入力します。

**(5) IP Camera Information (IP カメラの詳細)**

IP カメラをセットアップし、カメラの詳細を表示します。

λ **IP Setting (IP 設定) : IP setting** をクリックして IP カメラを追加します。

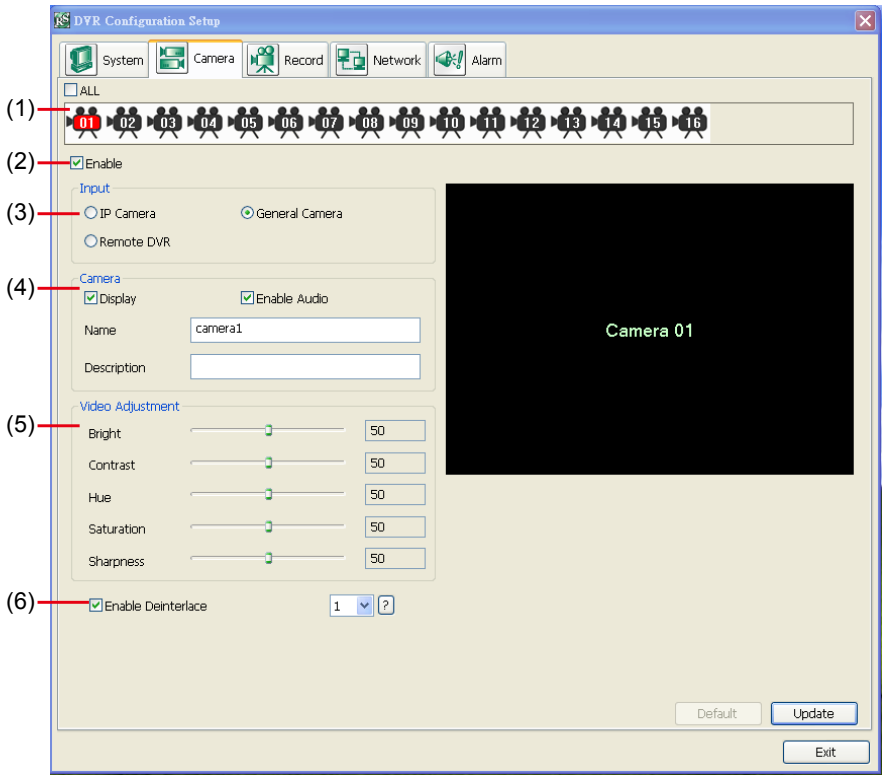



1. **Protocol (プロトコル)** のラジオボタンをクリックして、IP カメラのセットアップを開始します。
2. **Protocol (プロトコル)** 、**Model (型番)** 、**Video Format (映像形式)** および IP カメラの **Channel (チャネル)** を選択します。
3. **IP Camera Site (IP カメラサイト)** 欄に IP アドレスおよび接続ポートを入力します。
4. また、IP アドレスのかわりに IP カメラの URL を入力することもできます。
5. IP カメラが認証を必要とする場合は、**Authentication (認証)** をアクティブにし、**ID** と **Password (パスワード)** を入力します。
6. **OK** をクリックして IP カメラに接続します。

## アナログカメラの設定

リモート DVR サーバーから、設定を変更するカメラを選択します。

**Camera Setting (カメラの設定)** ウィンドウで **Update (更新)** をクリックすると新しい設定が保存・適用され、**Exit (終了)** をクリックすると設定の変更内容を保存しないで終了します。




**(1) カメラアイコン**

表示したいカメラの番号を選択します。すべてのカメラを一括で ON/OFF する場合は **ALL (全部)** チェックボックスを使用します。

**(2) Enable (アクティブ化)**

選択したカメラ入力端子を ON/OFF します。カメラ入力端子に映像ソースが存在しない場合は、システムに映像の損失エラーが表示されてしまうため、OFF にしておくことを推奨します。

**(3) Input (入力)**

カメラの種別として **General Camera (アナログカメラ)** を選択します。**IP camera (IP カメラ)** の設定については IP カメラの設定 を参照してください。リモート DVR のカメラ設定の変更については 遠隔 DVR カメラの設定 を参照してください。

**(4) Camera (カメラ)**

- **Display (ディスプレイ)**
  映像の表示をオン/オフにします。選択したカメラの映像が非表示の状態でも、その映像を録画して再生モードでプレビューすることができます。
- **Enable Audio (音声のアクティブ化)**
  カメラの音声をオン/オフにします。
- **Name (名前)**
  カメラの名前を変更します。
- **Description (説明)**
  短い説明文を入力します。

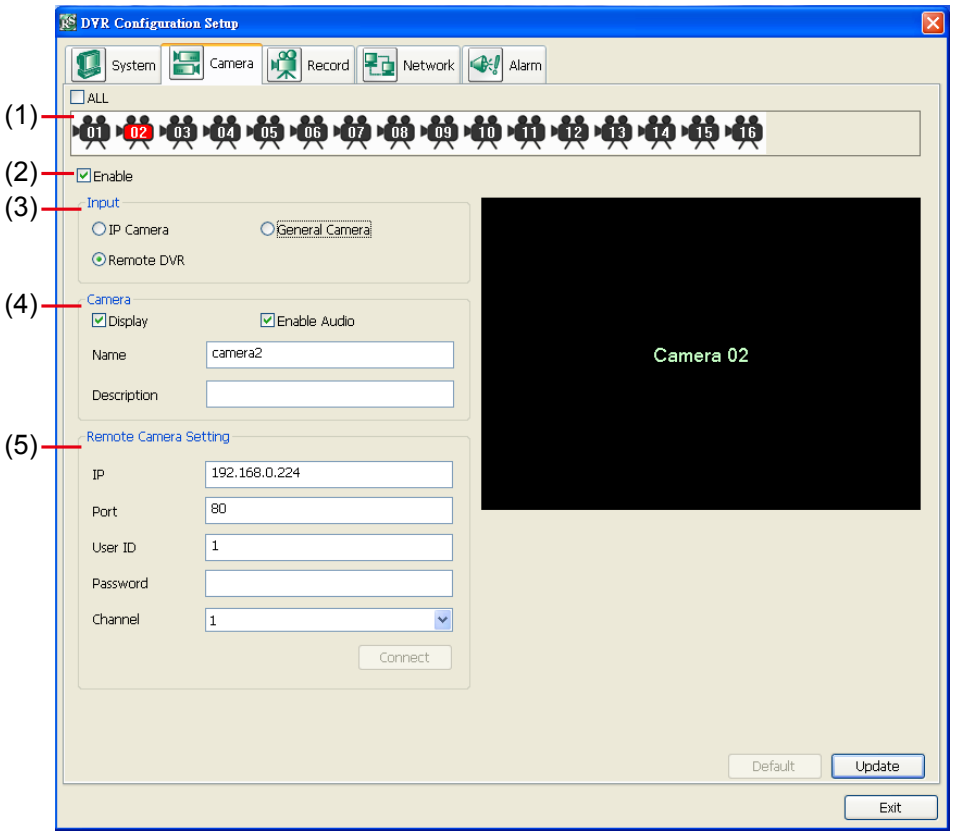
**(5) Video Adjustment (映像調整)**

カメラの **Brightness (輝度)**、**Contrast (コントラスト)**、**Hue (色相)**、**Saturation (彩度)** を調整します。各カメラ間の色調差の補正に使用します。

**(6) Enable Deinterlace (インターレース除去のアクティブ化)**
映像画質を向上させます。動きのない画像をキャプチャする場合は **Enable Deinterlace (インターレース除去の有効化)** モードを#1 に、動きの多い画像の場合は#2 に設定します。

## リモート DVR カメラの設定

設定を変更するカメラを選択します。Camera Setting (カメラの設定) ウィンドウで **Update (更新)** をクリックすると新しい設定が保存・適用され、**Exit (終了)** をクリックすると設定の変更内容を保存しないで終了します。




**(1) カメラアイコン**
表示したいカメラの番号を選択します。すべてのカメラを一括で ON/OFF する場合は **ALL (全部)** チェックボックスを使用します。

**(2) Enable (適用)**
選択したカメラ入力端子を ON/OFF します。カメラ入力端子に映像ソースが存在しない場合は、システムに映像の損失エラーが表示されてしまうため、OFF にしておくことを推奨します。

**(3) Input (入力)**
カメラの種別として **Remote DVR (リモート DVR)** を選択します。**IP camera (IP カメラ)** の設定については IP カメラの設定 を参照してください。アナログカメラの設定変更については アナログカメラの設定 を参照してください。

**(4) Camera (カメラ)**

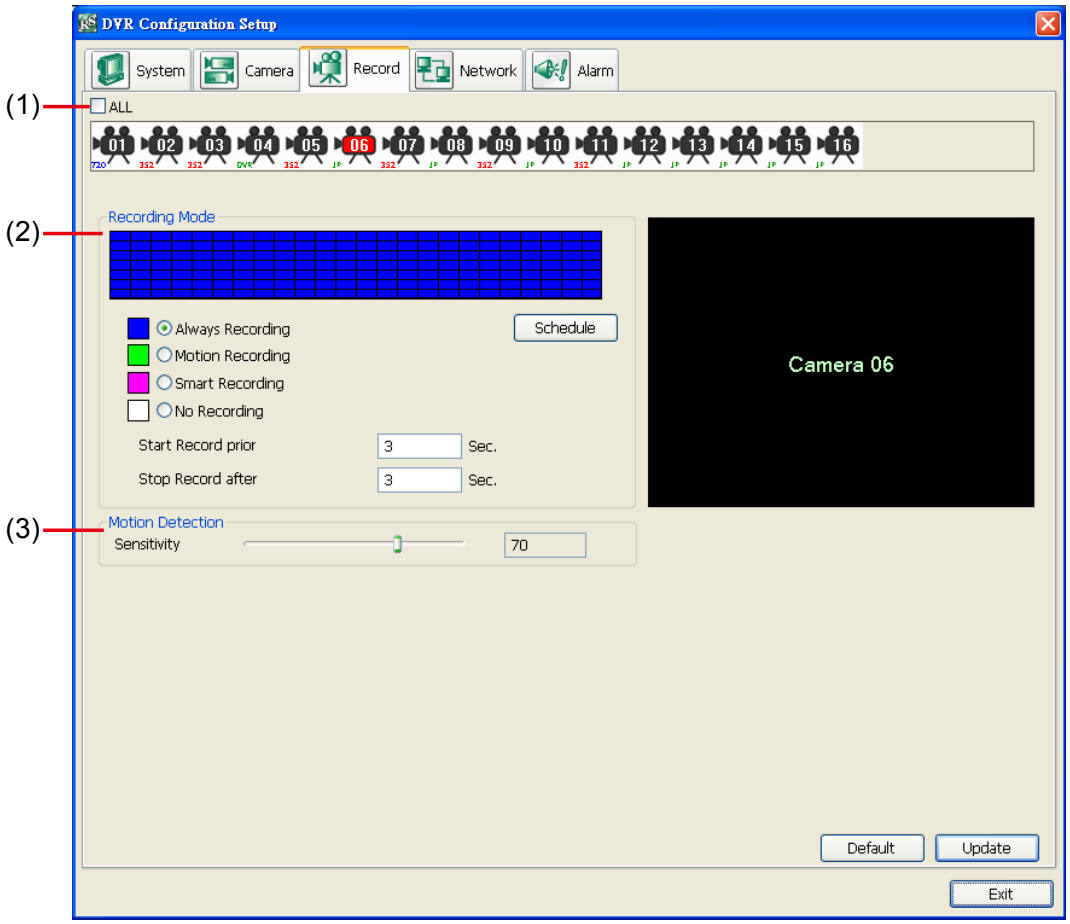
- **Display (ディスプレイ)**
  映像の表示をオン/オフにします。選択したカメラの映像が非表示の状態でも、その映像を録画して再生モードでプレビューすることができます。
- **Enable Audio (音声のアクティブ化)**
  カメラの音声をオン/オフにします。

- **Name (名前)**
  カメラの名前を変更します。
- **Description (説明)**
  短い説明文を入力します。
- **IP**
  カメラの IP アドレスを入力します。
- **Port (ポート)**
  接続用ポートです。
- **User ID (ユーザーID)**
  接続時の認証用ユーザーID を入力します。
- **Password (パスワード)**
  接続時の認証用パスワードを入力します。
- **Channel (チャンネル)**
  接続カメラのチャンネルを選択します。

### 4.1.1.3 録画設定

**Recording Setup (録画設定)** ウィンドウで **OK** をクリックすると新しい設定が保存され、**Exit (終了)** をクリックすると設定の変更内容を保存しないで終了します。製品出荷時の設定を復元するには **Default (デフォルト)** をクリックします。

**IP カメラの録画設定**

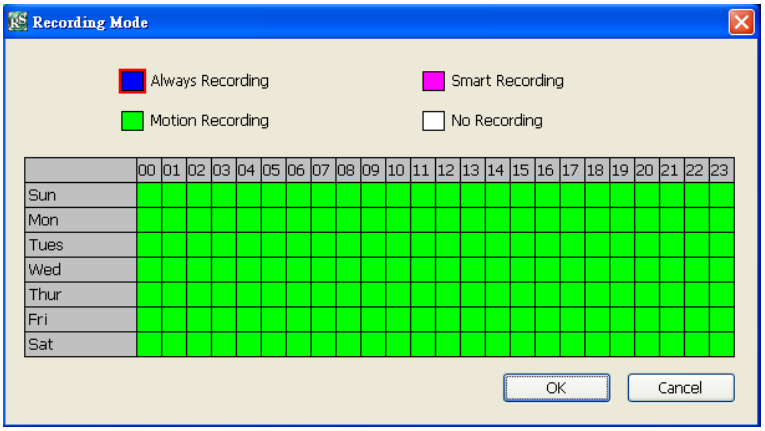


**(1) カメラアイコン**

録画設定をしたいカメラの番号を選択します。すべてのカメラを一括選択する場合は **ALL（全部）** チェックボックスを選択します。複数のカメラを選択する場合は、カメラアイコン上で**右クリック**します。カメラを 1 つだけ選択する場合は、カメラアイコン上で**左クリック**します。選択されたカメラは紫色で表示されます。

**(2) Recording Mode（録画モード）**

水平方向の 00 ～ 23 のブロックは 24 時間形式の時刻を表し、垂直方向の 1 ～ 7 のブロックは曜日（日曜 ～ 土曜）を表します。週 7 日 24 時間フルに録画する場合は、録画モードを選択してラジオボタン⊙をクリックします。特定の時間帯や曜日にだけ録画したい場合は、**Schedule（スケジュール）** をクリックして**録画モード**を選択し、時間帯または曜日のブロックをクリックします。システムによって録画が開始されると、画面左上に赤い三角マークが表示されます。




録画モードは以下のとおりです:

- **Always Recording（常時録画）**

選択したカメラで映像を録画し、指定の格納パスに保存します。

- **Motion Recording（モーション録画）**

システムによって動きが検出されたときだけ、選択したカメラで映像を録画します。動きが検出されると、**Start Record Prior（指定の秒数にさかのぼって開始）** および **Stop Record After（指定の秒数後に停止）** の設定に基づき、直前のコマから録画が自動的に始まり停止します。

- **Smart Recording（スマート録画）**

動きが検出されると設定された最大フレームレートの録画に自動的に切り替わり、動きがないときは設定された最小フレームレートで録画されます。

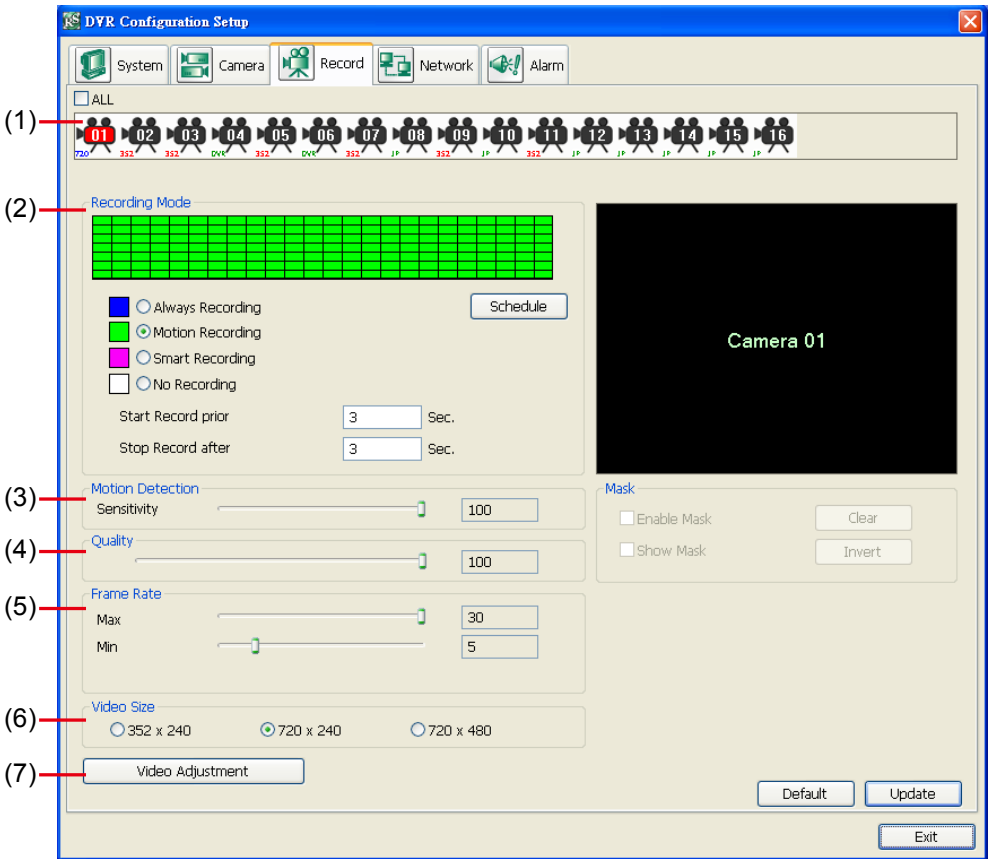
- **No Recording（録画しない）**

システムによる録画が行われません。

**(3) Motion Detection（モーション検出）**

動きの検出感度を調整します。値が大きいほど検出感度が上がります。動きが検出されると、画面左上に緑の三角マークが表示されます。

## アナログカメラの録画設定

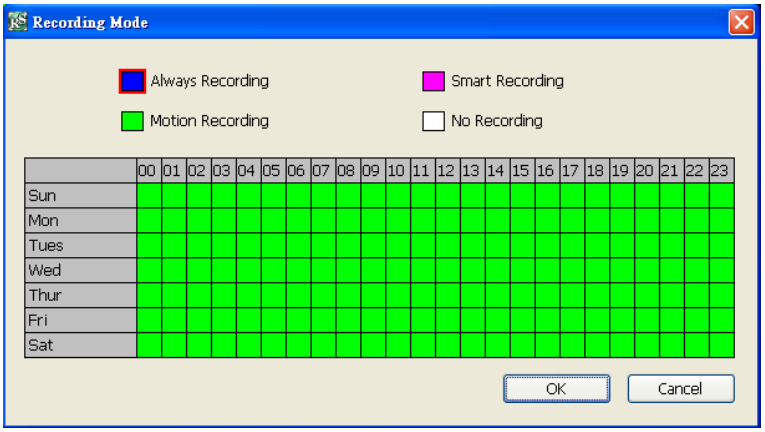



### (1) カメラアイコン

録画設定をしたいカメラの番号を選択します。すべてのカメラを選択する場合は **ALL（全部）** チェックボックスを選択します。複数のカメラを選択する場合は、カメラアイコン上で**右クリック**します。カメラを 1 つだけ選択する場合は、カメラアイコン上で**左クリック**します。選択されたカメラは紫色で表示されます。

### (2) Recording Mode（録画モード）

水平方向の 00 ～ 23 のブロックは 24 時間形式の時刻を表し、垂直方向の 1 ～ 7 のブロックは曜日（日曜 ～ 土曜）を表します。週 7 日 24 時間フルに録画する場合は、録画モードを選択してラジオボタン⊙をクリックします。特定の時間帯や曜日にだけ録画したい場合は、**Schedule（スケジュール）** ボタンをクリックして**録画モード**を選択し、時間帯または曜日のブロックをクリックします。システムによって録画が開始されると、画面左上に赤い三角マークが表示されます。




録画モードは以下のとおりです:

- **Always Recording（常時録画）**

選択したカメラで映像を録画し、指定の格納パスに保存します。

- **Motion Recording（モーション録画）**

システムによって動きが検出されたときだけ、選択したカメラで映像を録画します。 動きが検出されると、**Start Record Prior (指定の秒数にさかのぼって開始)** および **Stop Record After (指定の秒数後に停止)** の設定に基づき、直前のコマから録画が自動的に始まり停止します。

- **Smart Recording (スマート録画)**

動きが検出されると設定された最大フレームレートの録画に自動的に切り替わり、動きがないときは設定された最小フレームレートで録画されます。

- **No Recording (録画しない)**

システムによる録画が行われません。

**(3) Motion Detection (モーション検出)**

動きの検出感度を調整します。 値が大きいほど検出感度が上がります。 動きが検出されると、画面左上に緑の三角マークが表示されます。

**(4) Quality (画質)**

映像画質を調整します。 値が大きいほど圧縮度が下がり、ハードディスク容量をより多く使用します。

**(5) Frame Rate (フレームレート)**

動きのあるとき、ないときに応じて録画する最大および最小フレーム数を設定します。 フレームレートは、NTSC 方式の場合は 01 ～ 30 の範囲で設定します。 フレームレートの値が大きいほど、ハードディスク容量をより多く使用します。

通常の録画フレームレートは、最大フレームレートの値に基づきます。

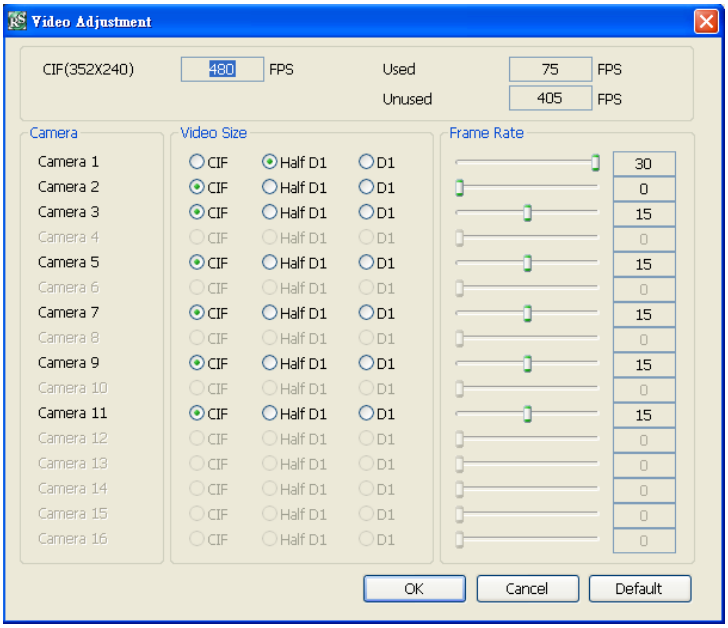
**(6) Video Size (映像サイズ)**

映像のサイズを選択して⊙ボタンをクリックします。 サイズが大きいほど、映像ファイルのサイズが大きくなります。

**(7) Individual Adjustment (個別調整)**

各カメラの映像サイズおよびフレームレートを個別に調整することができます。**Default (デフォルト)** をクリックすると、出荷時のデフォルト設定に戻ります。 CIF モードによるフレームレートの使用状況は、**Used (使用)** および **Unused (未使用)** 欄に表示されます。

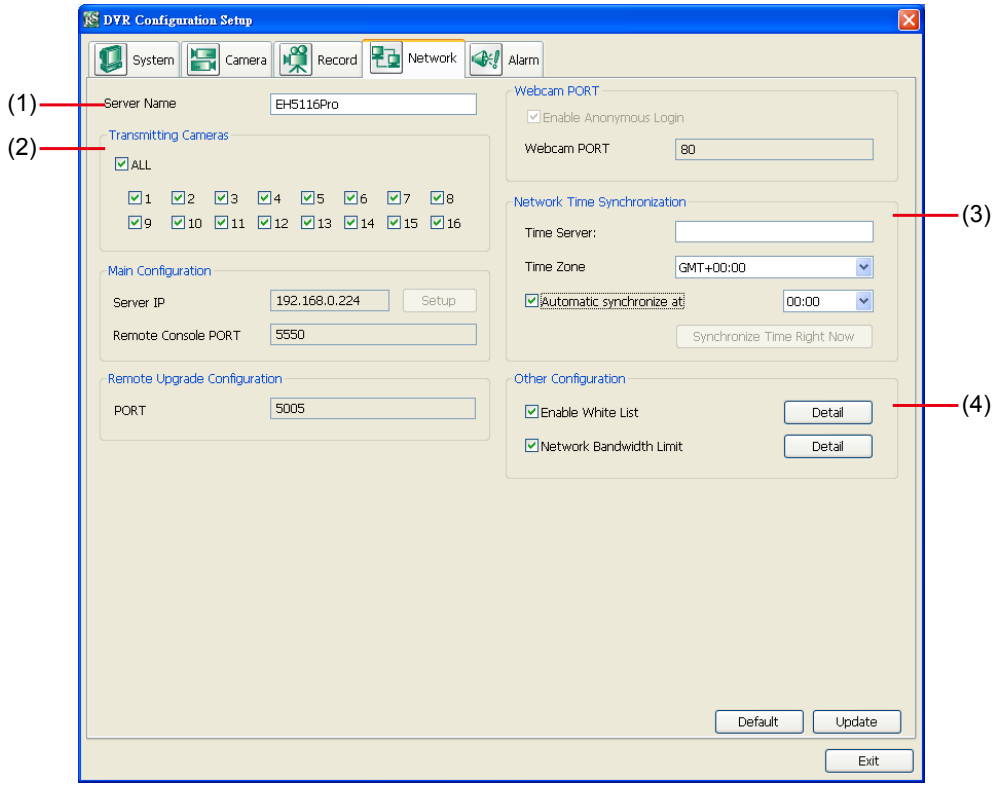
アナログカメラに対してのみ、各カメラの映像サイズおよびフレームレートをチャンネル別に調整することができます。



### 4.1.1.4　ネットワークの設定

**この機能の使用にあたっては池上通信機（株）の代理店もしくは弊社営業担当にご確認ください。ネットワーク設定の変更が必要となる場合があります。**

**Network Setting（ネットワークの設定）**ダイアログボックスで **Update（更新）**をクリックすると新しい設定が保存され、**Exit（終了）**をクリックすると設定の変更内容を保存しないで終了します。製品出荷時の設定を復元するには **Default（デフォルト）**をクリックします。DVR サーバによって使用されるネットワークのサービスポートについては、付録 A を参照してください。




**(1) Server Name（サーバー名）**

DVR ユニットの名前を入力します。使用できるのは英数字のみです。

**(2) Transmitting Cameras（送信対象カメラ）**

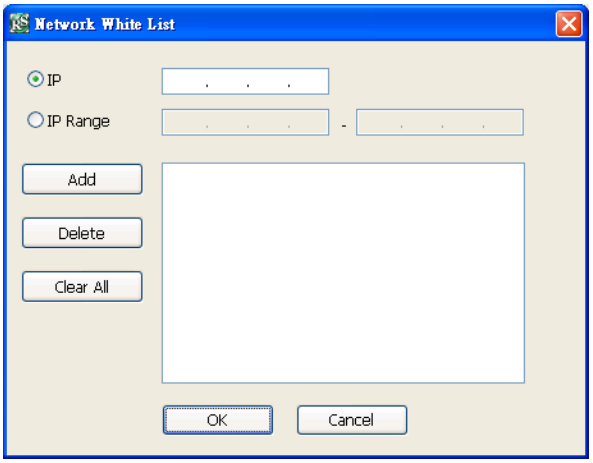
Transmitting Camera セクションで、WebViewer、リモートコンソール、PDA Viewer、JAVAViewer（静止画）を使用した、インターネット経由のアクセスを有効にしたいカメラの番号を選択します。すべてのカメラを選択する場合は **ALL（全部）**チェックボックスを選択します。

**(3) Network Time Synchronization（ネットワーク時刻同期）**

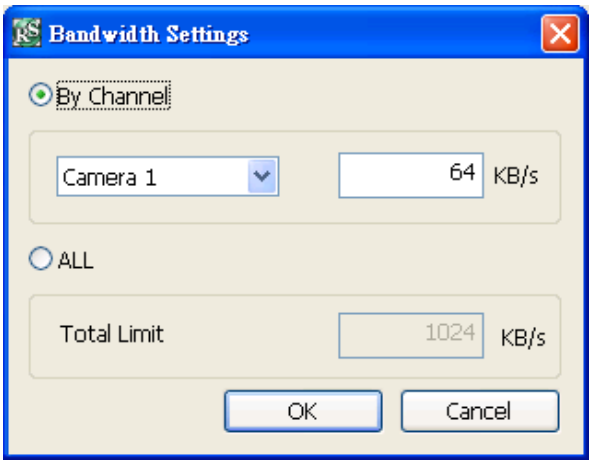
DVR システムの時刻設定をネットワーク時刻サーバーに合わせます。**Time Server（時刻サーバー）**の IP アドレスまたはドメイン名を入力します。DVR が設定されている地域の **Time Zone（タイムゾーン）**を選択します。**Automatic Synchronize（自動同期時刻）**を選択すると、毎日決まった時刻に自動同期が実行されます。

(4) Other Configuration (その他の設定)

- Enable White List (ホワイトリストのアクティブ化)
  DVR サーバーへのリモートアクセス用のアクセス許可リストです。IP アドレスまたは IP アドレス範囲を入力して **Add (追加)** をクリックします。リストから IP を削除するには、IP を選択して **Delete (削除)** ボタンをクリックします。 入力内容をリセットするには **Clear (クリア)** ボタンをクリックします。

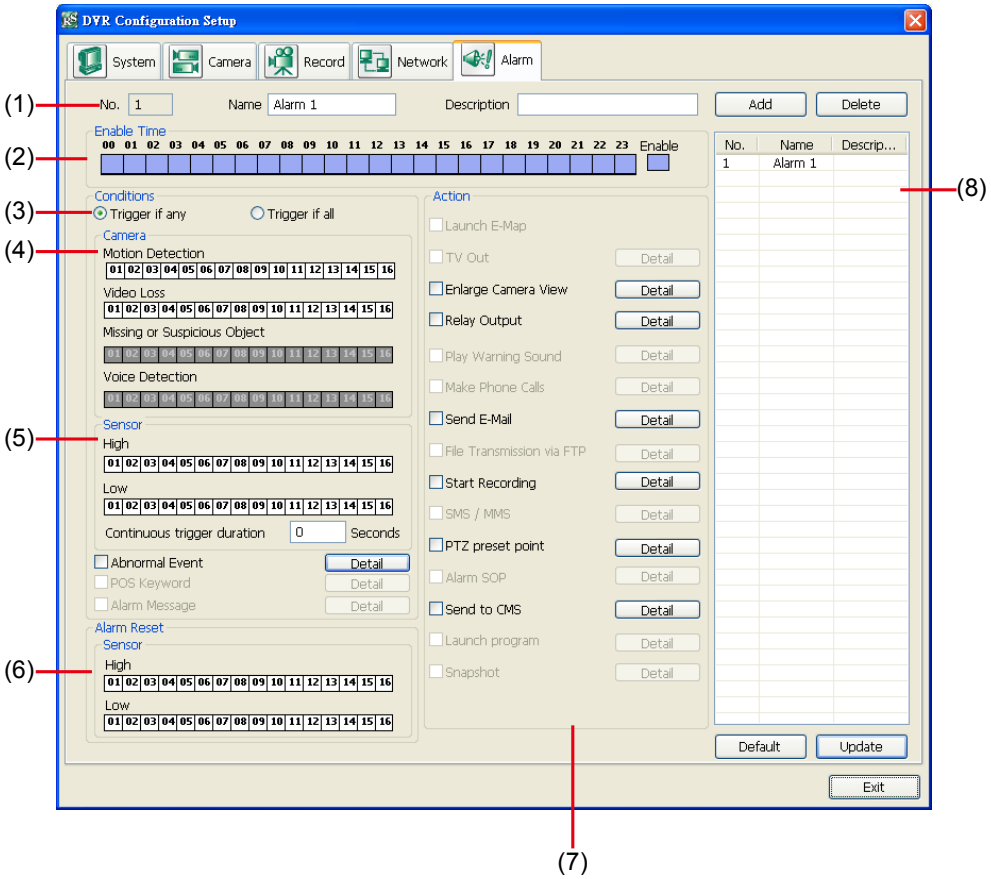



- Network Bandwidth Limit (ネットワークの帯域幅制限)
  **By Channel (チャネル別)**: 各チャンネルごとにネットワーク帯域幅を設定します。
  **ALL (全部)**: ネットワーク帯域幅の使用合計制限を設定します。

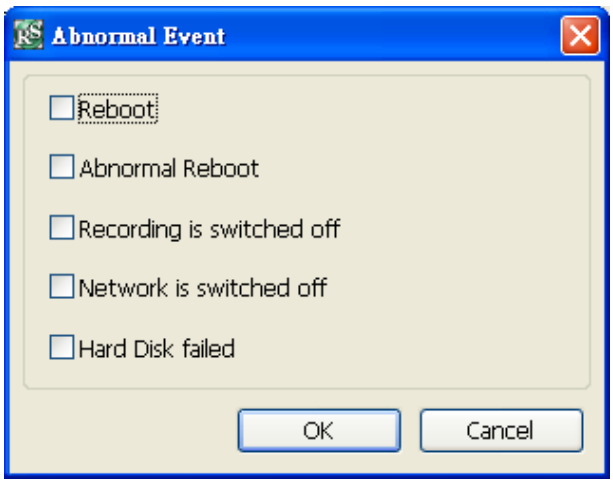


### 4.1.1.5　アラームの設定

Alarm Setting（アラームの設定）ダイアログボックスで、新しいアラーム設定を追加するには **Add（追加）**、選択したアラーム設定を削除するには **Delete（削除）** をクリックします。**Update（更新）** をクリックして設定を保存します。設定の変更内容を保存しないで終了するには **Exit（終了）** をクリックします。また、製品出荷時の設定を復元する場合は **Default（デフォルト）** をクリックします。




1. 新しいアラーム設定を追加するには **Add（追加）** をクリックします。アラーム設定を編集するには、**(8)** のアラーム設定一覧で編集したい項目をクリックします。
2. **(1) No./Name（名前）/Description（説明）** にアラームの名前と説明を入力します。**No.（アラーム番号）** は DVR システムによって自動的に設定されます。
3. **(2) Enable Time（アクティブ化する時間帯）** 内の 00 ～ 23 の数字は、24 時間形式で時刻を表します。アラーム機能を ON/OFF したい時間ブロックをクリックします。OFF に設定されたブロックは白色で表示されます。
4. **(3) Conditions（条件）** では、いずれかの条件に当てはまる場合にアクティブ化する **Trigger if any（最低 1 つの条件一致でトリガする）**、またはすべての条件に一致する場合のみアクティブ化する **Trigger if all（全条件一致でトリガする）** を選択します。
5. **(4) Camera（カメラ）** セクションでは、システムがアラームを発する条件の設定として、**Motion Detected（モーション検出）** および **Video Loss（映像信号の損失）** でカメラ番号（01 ～ 08）をクリックして選択します。
6. **(5) Sensor（センサー）** セクションでは、システムがアラームを発する条件の設定として、センサー番号をクリックして選択します。センサーの正常ステータスが High の場合、センサー条件を Low に設定します。
   - システムがアラームを発するイベント条件を設定するには、**Abnormal Event（異常なイベント）** チェックボックスを選択します。




■**Reboot (再起動)** : DVR システムが異常な条件がないにもかかわらず再起動した場合、システムはアラームメッセージを発信します。

■**Abnormal Reboot (異常な再起動)** : DVR システムが異常な条件によって再起動した場合、システムはアラームメッセージを発信します。

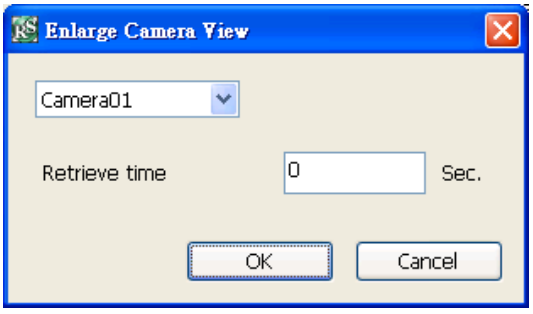
■**Recording is switched off (録画停止)** : 録画が停止した場合、システムはアラームメッセージを発信します。

■**Network is switched off (ネットワーク停止)** : DVR システムのネットワーク接続が損なわれた場合、システムはアラームメッセージを発信します。

■**Hard Disk failed (ハードディスクの異常)** : ハードディスクが正常に動作しない場合、システムはアラームメッセージを発信します。

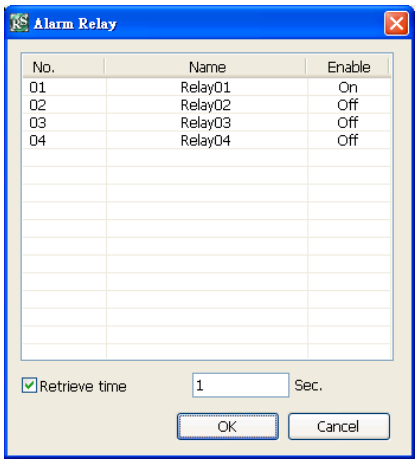
- **Continue trigger duration (連続トリガ間隔)** : センサーがトリガされ、ここで指定した一定時間同じ状態が続いた場合、アラームが発信されます。

7. **(6) Alarm Reset (アラームのリセット)** では、カメラ番号をクリックしてアラームのリセット条件を設定します。 アラームがリセットされると同時にすべてのアラームアクションが停止します。 センサーの正常ステータスが high の場合、アラームのリセット条件を low に設定します。
8. **(7) Action (アクション)** では、アラームの発動時にシステムが行うアラームアクションを設定します。
   - **Enlarge Camera View (カメラビューの拡大表示)**
     アラームが発動された映像のみをプレビューモードで表示するよう切り替えます。
     c. ドロップダウンリストからカメラを選択して、アラーム発動時に画面上で拡大表示するカメラ映像を指定します。
     d. **Retrieve time (回復までの時間)** : システムが元のプレビューモードに戻るまでの待ち時間を設定します。 回復までの時間が未指定の場合、ユーザーが手動でプレビューモードに切り替えるまでアラーム映像の拡大表示が続きます。 回復までの時間は 0 ～ 600 秒の範囲で指定できます。



- **Relay Output (リレー出力)**

  アラーム発動時のリレー操作をアクティブにするかどうか、またリレー操作停止までの延長時間を秒単位で設定します。



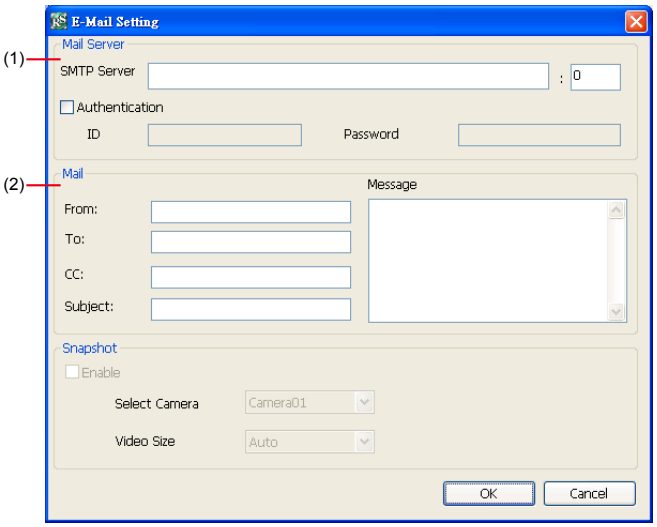

  5. **Relay Output (リレー出力)** チェックボックス横の **Detail (詳細)** ボタンをクリックします。
  6. **Alarm Relay (アラームリレー)** ダイアログボックスで、リレー一覧からリレーを選択し、ステータス ON でアラーム発動時のリレー操作の ON/OFF を設定します。
  7. **Retrieve time (回復までの時間)** チェックボックスでは、リレー操作時間の延長を ON または OFF し、時間を秒単位で設定します。
  8. **OK** をクリックして設定内容を保存します。設定の変更内容を保存しないで終了する場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。

- **Send E-mail (E メール送信)**

  **この機能の使用にあたっては池上通信機（株）の代理店もしくは弊社営業担当にご確認ください。ネットワーク設定の変更が必要となる場合があります。**

  アラーム信号検出に応じて指定アドレスに E メールを送信します。E メールの送信チェックボックス横の **Detail (詳細)** ボタンをクリックします。

  **E-mail Setting (E メール設定)** ダイアログボックスで、**OK** をクリックすると設定内容が保存され終了します。設定内容を保存しないで終了する場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。




  **(1) Mail Server (メールサーバー)**

  **SMTP Server (SMTP サーバー)** および**ポート**を入力します。E メールシステムが認証を必要とする場合は、**Authentication (認証)** をアクティブにし、**ID** と **Password (パスワード)** を入力します。

  **(2) Mail (メール)**

  メール詳細を入力します。

  **From (送信者)**：送信者の E メールアドレスを入力します。

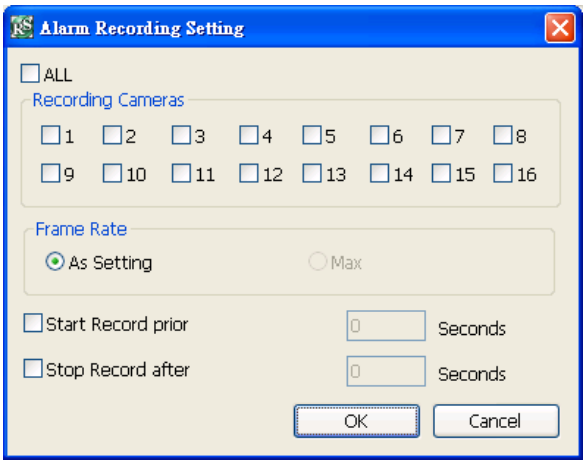
  **To and CC (宛先と CC)**：宛先の E メールアドレスをカンマまたはセミコロン（;）で区切って入力します。

  **Subject (件名)**：メッセージの件名を入力します。

  **Message (メッセージ)**：メッセージを入力します。

- **Start Recording (録画開始)**

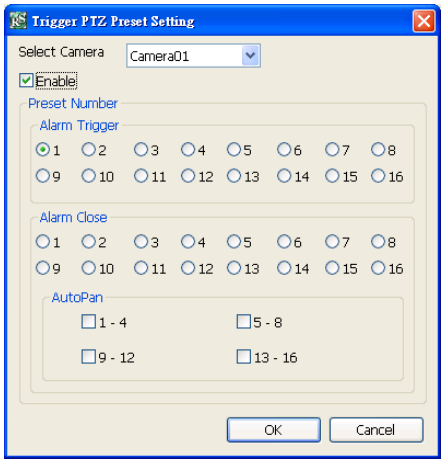
  選択したカメラで映像を録画します。




  1. **Start Recording (録画開始)** チェックボックス横の **Detail (詳細)** ボタンをクリックします。
  2. **Alarm Recording Setting (アラーム録画の設定)** ダイアログボックスで、映像録画を ON または OFF するカメラを選択します。すべてのカメラを一括選択するには **All (全部)** を選択します。
  3. **Frame Rate (フレームレート)** セクションで、**Recording Setting (録画設定)** に基づくフレーム数の録画を行うには **As Setting (設定に従う)** を選択します。
  4. **Start Record prior (録画開始までの秒数)** をアクティブにした場合、アラームの発動後に録画を開始するまでの秒数を指定します。時間は 1 ～ 10 秒の範囲で指定できます。
  5. **Stop Record after (録画停止までの秒数)** をアクティブにした場合、アラームの終了後に録画を停止するまでの秒数を指定します。時間は 1 ～ 999 秒の範囲で指定できます。この項目が未設定での場合、アラームがリセットされるまでアラーム録画は続きます。
  6. **OK** をクリックして設定内容を保存します。設定の変更内容を保存しないで終了する場合は **Cancel (キャンセル)** クリックします。

- **PTZ preset point (PTZ プリセットポイント)**

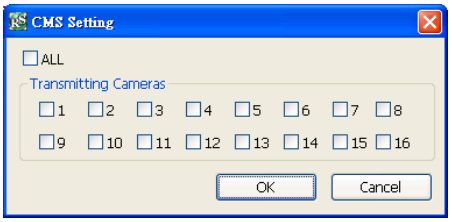
  PTZ カメラをプリセットポイント設定に基づいて配置します。**PTZ preset point (PTZ プリセットポイント)** チェックボックス横の **Detail (詳細)** ボタンをクリックします。**Trigger PTZ Preset Setting (PTZ プリセットのトリガの設定)** ダイアログボックスで、PTZ カメラ番号を選択し **Enable (有効)** チェックボックスを選択します。アラーム発動時および終了時の PTZ カメラの位置を選択します。PTZ カメラの終了ポイントには、プリセット位置またはプリセット位置グループ間の **Auto Pan (オートパン)** を選択することもできます。




- **Send to CMS (Central Management System) (CMS に送信)**

  **CMS は CM3000 というオプション機能に付属します。この機能については池上通信機（株）の代理店もしくは弊社営業担当にご確認ください。**

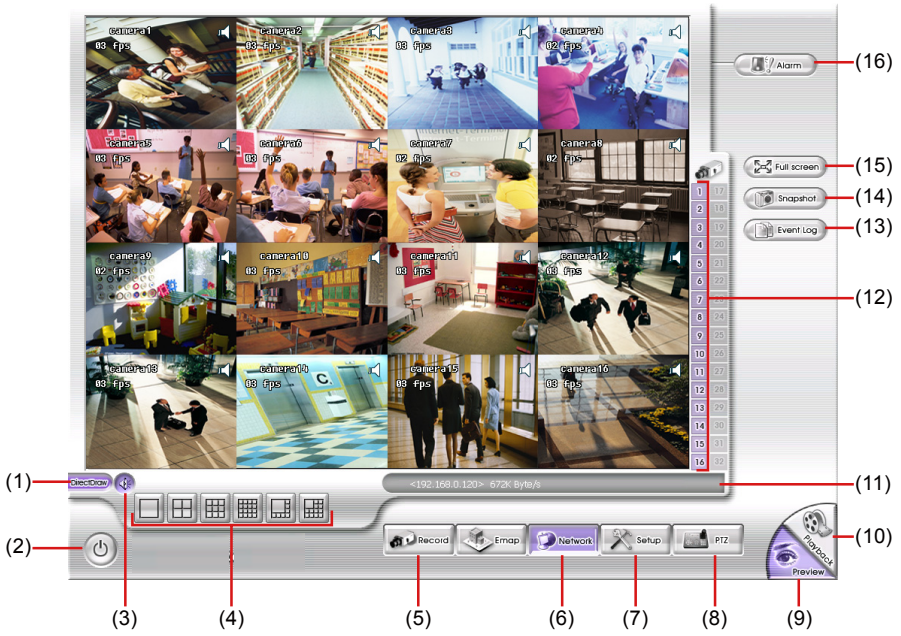
  アラーム発動時に CMS（中央管理システム）に映像を送信するカメラを選択します。Send to **CMS (CMS に送信)** チェックボックス横の **Detail (詳細)** ボタンをクリックします。**CMS Setting (CMS の設定)** で、CMS に映像を送信するカメラを選択します。すべてのカメラを選択するには **All (全部)** を選択します。**OK** をクリックして設定内容を保存します。設定の変更内容を保存しないで終了する場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。



## 4.2 WebViewer PTZ のボタンの名称と説明

| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (1) 方向ボタン | PTZ カメラの焦点位置を調整します。 自動的にパン操作を行うには中心をクリックします。 |
| (2) ズーム +/− | 映像のズームイン･ズームアウトを制御します。 |
| (3) PTZ の選択 | 選択した PTZ カメラを ON/OFF します。 **Select PTZ (PTZ の選択)** ダイアログボックスの **Select (選択) カラム**で、PTZ カメラをクリックすることで表示と制御のオン/オフを切り替えます。<br>**OK** をクリックして設定内容を保存し終了します。設定の変更内容を保存しないで終了する場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。 |
| (4) フォーカス +/− | 映像を明瞭にするための手動のピント調整を行います。 |
| (5) オートパングループ | 選択されたカメラグループのプリセット位置番号に基づいて PTZ カメラを自動運転します。 |
| (6) カメラのプリセット位置番号 | PTZ カメラをプリセット位置に動かします。リセット位置（1 ～ 9）は、ユーザーがローカルサイトで遠隔操作により行った設定内容に基づきます。 |

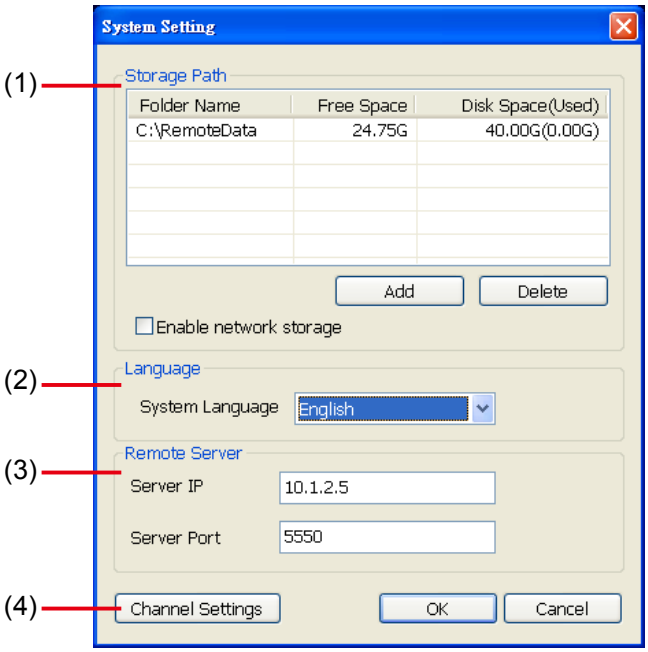
# 4.3 リモートコンソールのボタンの名称と説明




| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (1) DirectDraw | 映像画質を向上させます。 |
| DirectDraw 機能は特定の VGA カードのみに対応しています。 | |
| (2) 終了 | リモートコンソールを終了します。 |
| (3) 音声ボタン | 音声をオン/オフします。 |
| (4) 画面分割モード | 全カメラの録画映像の均等表示再生、単一カメラの録画映像の再生または 1 台のメイン映像ウィンドウと他のカメラの小ウィンドウの同時再生など、4 つの画面分割再生パターンから選択します。 |
| (5) Record (録画) | 映像の録画開始/停止を制御します。 |
| (6) Network (ネットワーク) | システムへのリモートアクセスをオン/オフします。インターネット接続を通して遠隔地から DVR サーバーにアクセスするための機能です。 |
| (7) Setup (設定) | リモートコンソールの設定します。 |
| (8) PTZ | PTZ のコントロールパネルへアクセスします。EH は IP カメラの PTZ 機能に対応しています。 |
| (9) Preview (プレビュー) | プレビューモード/再生モードの切り替えです。ライブ映像を表示します。 |
| (10) Playback (再生) | 再生モードに切り替えます。録画された映像ファイルを表示します。 |
| (11) ステータスバー | 現在の日付、時刻、ハードディスクの空き容量を表示します。 |
| (12) カメラ ID | 映像表示中のカメラ番号を表示します。シングル画面モード時にカメラ ID 番号をクリックすると、そのカメラの映像に切り替わります。 |
| (13) Event Log (イベントログ) | イベントログ、操作ログ、システムログ、ネットワークログを表示します。 |
| (14) Snapshot (スナップショット) | スクリーンショットをキャプチャして*.jpg または*.bmp 形式で保存します。 |
| (15) Full screen (全画面) | 映像を全画面表示とします。<br>普通表示に戻るにはマウスの右クリックまたはキーボードの ESC ボタンを押します。 |
| (16) Alarm (アラーム) | 警報を鳴らし警告情報を表示します。スーパーユーザー、ユーザーのどちらもアラームをリセットすることができます。 |

## 4.3.1 リモートコンソールのセットアップ

**この機能の使用にあたっては池上通信機（株）の代理店もしくは弊社営業担当にご確認ください。ネットワーク設定の変更が必要となる場合があります。**




**Setup（設定）**ボタンをクリックして **System Setting（システムの設定）**ウィンドウを呼び出します。**OK** をクリックすると設定内容を保存し終了します。**Cancel（キャンセル）**をクリックすると設定の変更内容を保存しないで終了します。

**(1) Storage Path（保存先）**

データの保存先ディレクトリを設定します。1 時間分のデータを記録する空き容量が足りないときに、自動的に最も古いデータが上書きされます。格納ディスクが複数存在する場合、空き容量に応じてデータは自動的に次の格納ディスクに保存されます。デフォルトでデータは C:¥RemoteData に格納されます。収納ディスクを追加するには **Add（追加）**を、選択したパスを削除するには **Delete（削除）**をクリックします。

- **Enable Network storage（ネットワークストレージのアクティブ化）**
  録画映像をネットワークアタッチトストレージに送信するには、**Enable network storage（ネットワークストレージの有効）**チェックボックスを選択します。

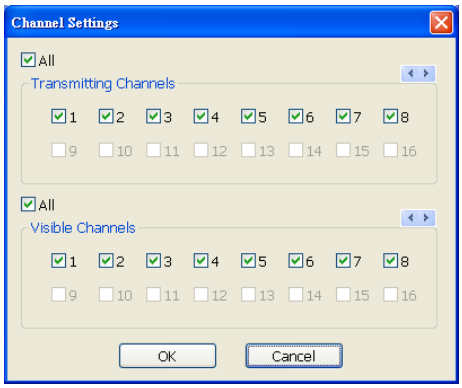
---

ネットワークストレージを追加するには、インターネットストレージドライブ/フォルダが DVR サーバでネットワークドライバとしてマッピングされている必要があります。ネットワークドライブの割り当ておよび接続方法については、Windows ヘルプファイルの「Map Network drive（ネットワークドライブを割り当てる）」を参照してください。

---

**(2) Language (言語)**

ツールチップやダイアログの表示言語を選択します。デフォルトで English (英語) に設定されています。



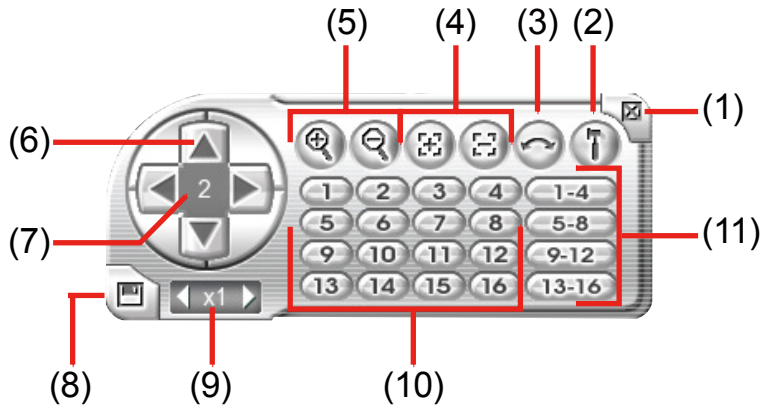

**(3) Remote Server (リモートサーバー)**

DVR の **Server IP (サーバーIP)** と **Server Port (サーバーポート)** 番号を入力します。

**(4) Channel Settings (チャンネル設定)**

1 ～ 8 の番号はカメラ ID を表します。**Transmitting Channel (転送チャネル)** セクションでは、サーバーからカメラ信号を受信するカメラ番号を選択します。 **Visible Channels (表示チャネル)** セクションでは、リモートコンソール画面でカメラからの信号を表示するカメラ番号を選択します。 すべてのカメラを選択する場合は **ALL (全部)** チェックボックスを選択します。

## 4.3.2 PTZ カメラコントローラのボタンの名称と説明



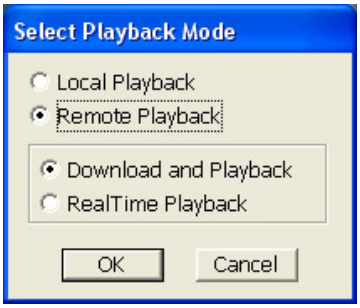

| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (1) 閉じる | PTZ カメラコントローラを終了します。 |
| (2) 設定 | PTZ カメラの設定コントローラーを開きます。 |
| (3) オートパン | 選択されたカメラグループのプリセット位置番号に基づいて PTZ カメラを自動運転します。 |
| (4) フォーカス +/- | 映像を明瞭にするための手動のピント調整です。 |
| (5) ズーム +/- | 映像のズームイン･ズームアウト制御です。 |
| (6) 方向ボタン | PTZ カメラの焦点位置を調整します。 |
| (7) カメラ ID ペイン | 操作中の PTZ カメラ番号を表示します。 |
| (8) カメラのプリセット位置保存 | PTZ カメラのプリセット位置番号を保存。カメラを選択し、プリセット位置番号をクリックして保存します。 |
| (9) カメラレンズ速度コントローラ | PTZ カメラレンズの動く速度を調節します。 |
| (10) カメラのプリセット位置番号 | PTZ カメラをプリセット位置に動かします。 |
| (11) オートパングループ | 自動運転する PTZ カメラグループを選択します。 |

# 4.4リモート再生の使用

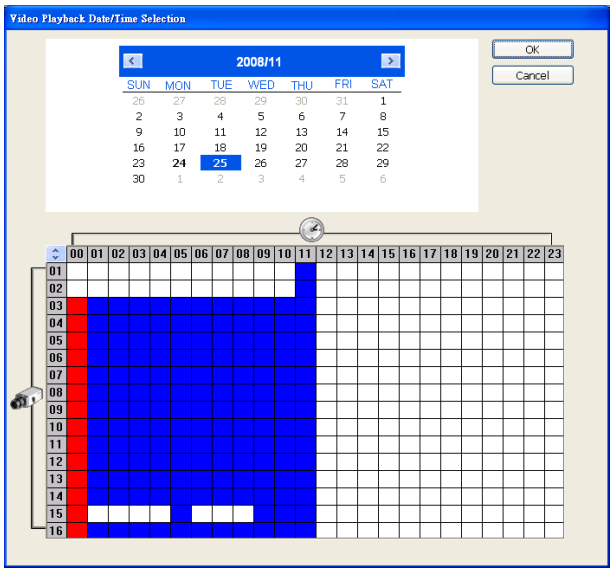
**この機能の使用にあたっては池上通信機（株）の代理店もしくは弊社営業担当にご確認ください。ネットワーク設定の変更が必要となる場合があります。**

この機能を使用するには、ファイルのソースを選択する必要があります。 **Select Playback Mode（再生モードの選択）**ダイアログボックスで、リモートコンソール側で録画されたファイルを開くには **Local Playback（ローカル再生）**を、DVR サーバー側で録画されたファイルを開くには **Remote Playback（リモート再生）**を選択します。 **Remote Playback（リモート再生）**を選択した場合、お使いのインターネット帯域幅が十分に高速で大容量の場合は **RealTime Playback（リアルタイム再生）**を、そうでない場合は **Download and Playback（ダウンロードして再生）**を選択します

**OK** をクリックして次へ進みます。この操作を取り消す場合は **Cancel（キャンセル）**をクリックします。



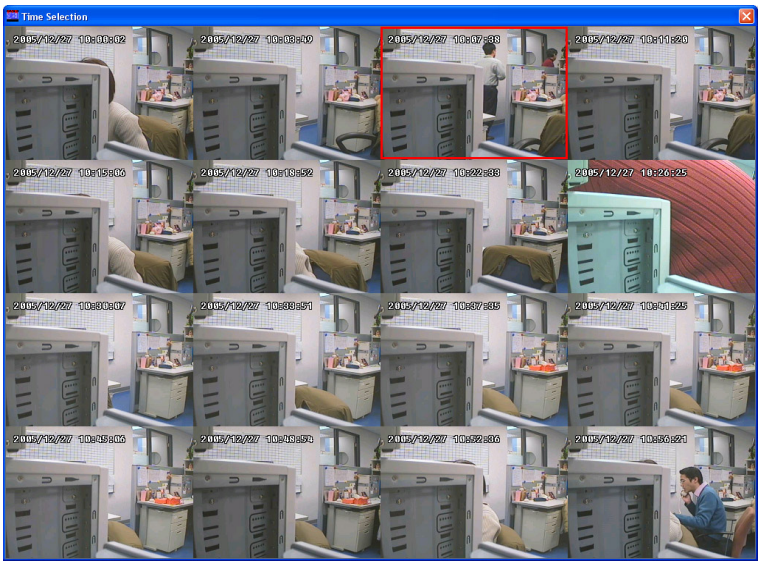

**Video Playback Date/Time Selection（再生する映像の日付/時刻の選択）**ダイアログボックス内の 00 ～ 23 の数字は、24 時間形式で時刻を表します。 01 ～ 8 の数字はカメラ番号を表します。



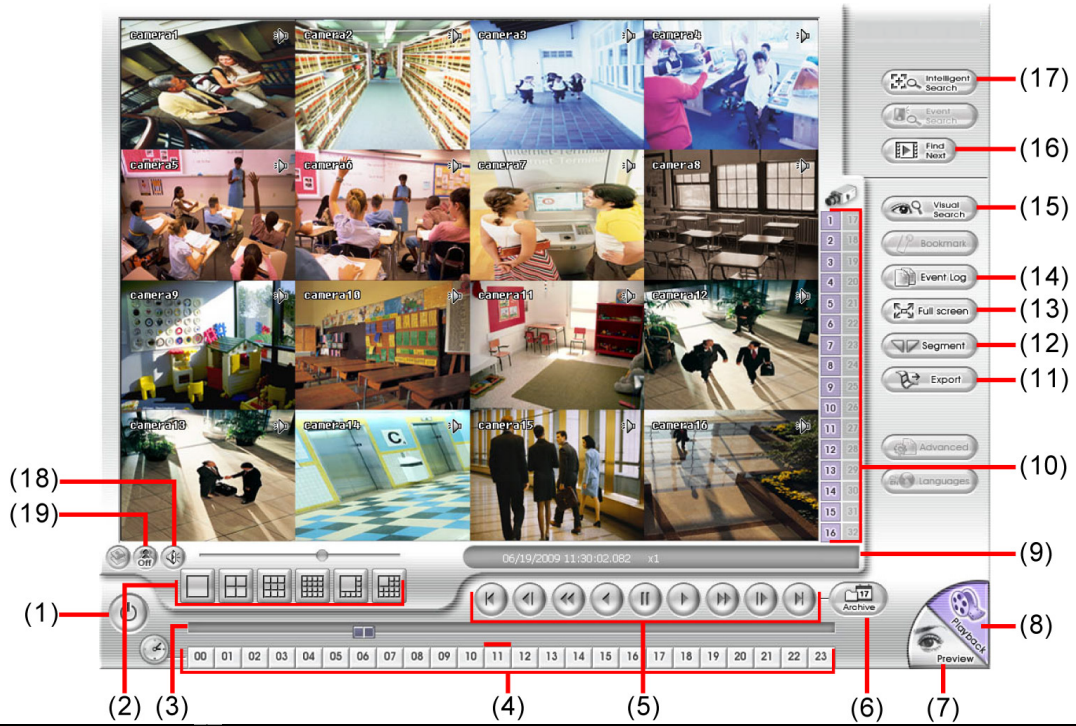

**再生する映像を選択する:**

1. カレンダーで日付を選択します。 カレンダーの月を移動するには ◀ および ▶ ボタンを使用します。
2. 下の表で、青いブロックをクリックすることで録画ファイルを選択し開きます。 選択されたブロックは赤色で表示されます。 白のブロックにはデータが存在しません。**Download and Playback（ダウンロードして再生）**を選択した場合は、1 ブロックのみ選択できます。
3. **OK** をクリックして次へ進みます。この操作を取り消す場合は **Cancel（キャンセル）**をクリックします。

4. **Download Playback（ダウンロードして再生）**を選択した場合、再生する映像の日付と時刻を選択すると、選択した時間帯の映像が 16 の映像サムネイルに分割されます。**Time Selection（時刻の選択）**画面で、ダウンロードしたい映像のサムネイルをクリックします。




## 4.4.1 ローカル再生時のボタンの名称と説明




| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (1) 終了 | 本ソフトウェアを終了します。 |
| (2) 画面分割モード | 全カメラの録画映像の均等表示再生、単一カメラの録画映像の再生または 1 台のメイン映像ウィンドウと他のカメラの小ウィンドウの同時再生など、4 つの画面分割再生パターンから選択します。 |
| (3) プログレスバー | 再生中のファイルの進捗を表示。バー内の任意の位置に移動することでトラック内の該当箇所にジャンプできます。 |

- カメラ入力がが 8ch のため、16 画面・13 画面分割モードに切り替えることはできません。
- 画面上の特定の領域を拡大表示するには、右クリックしてドラッグすることにより拡大領域を指定します。通常表示に戻るには、チャネル画面を再び右クリックします。

| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (4) 時刻ボタン | 時刻を選択してクリックすることで、特定の時間枠の録画映像ファイルを再生します。 |

時刻ボタンは 24 時間形式で時刻を表します。時刻ボタン上の青いバーは、その時間帯の録画映像ファイルが存在することを示します。 録画データの存在しない時間帯の時刻ボタン上部には色付きバーが表示されません。赤いバーは現在再生中の録画映像ファイルを示します。

| | |
|---|---|
| (5) 再生制御ボタン | **Begin (先頭)**: 録画ファイルの先頭に移動します。<br>**Previous (前)**: 前のコマに戻ります。<br>**Slower (スロー)**: 録画映像のスロー再生 (1/2x, 1/4x, 1/8x) 。<br>**Rewind (巻き戻し)**: 録画映像の巻き戻し。<br>**Pause (一時停止)**: 録画映像ファイル再生の一時停止。<br>**Play (再生)**: 録画映像ファイルの再生。<br>**Faster (倍速再生)**: 録画映像の倍速再生 (2x, 4x, 8x, 16x, 32x) 。<br>**Next (次)**: 次のコマに進みます。<br>**End (最後)**: 録画ファイルの最後に移動します。 |
| (6) Date (日付) | 録画映像の再生開始日時を指定するには、カレンダーで日付を選択し、00 ～ 23 の間で時刻を選択します。 |

00 ～ 23 の数字は 24 時間形式で時刻を表します。01 ～ 08 の数字はカメラ ID を表します。また、赤いカラムは録画映像ファイルの再生開始位置を示します。 録画データの存在しない日付のボタン上部には色付きバーが表示されません。

| | |
|---|---|
| (7) Preview (プレビュー) | プレビューモードに切り替えます。 |
| (8) Playback (再生) | 再生モードに切り替えます。 録画された映像ファイルを表示します。 |
| (9) ステータスバー | 録画日時および HDD の容量 (プレビューモード時) または再生速度 (再生モード時) を表示します。 |
| (10) カメラ ID | 映像表示中のカメラ番号を表示します。シングル画面モード時にカメラ ID 番号をクリックすると、そのカメラの映像に切り替わります。 |
| (11) Output (エクスポート) | エクスポート機能には、スナップショット、プリント、ビデオクリップ出力の機能があります。<br>λ **スナップショット**: スクリーンショットをキャプチャして JPEG フォーマットのファイルとして出力します。<br>λ **プリント**: スクリーンショットをプリントします。<br>λ **ビデオクリップアウト**: 部分切り出しを行ったファイルを *.dvr 形式で出力します。 |
| (12) Segment (セグメント) | 録画映像の一部分を分割します。 |
| (13) Full screen (全画面) | コンパクト再生モードで表示します。 普通表示に戻るにはマウスの右ボタンまたはキーボードの ESC ボタンを押します。 |
| (14) Snapshot (スナップショット) | スクリーンショットをキャプチャして*.jpg または*.bmp 形式で保存します。 |
| (15) Event Log (イベントログ) | システムに記録されたログを表示するします。 |
| (16) Visual Search (ビジュアルサーチ) | 特定のカメラから日付、時刻、分、秒で検索します。 |
| (17) Find Next (次を検索) | 次のイベント検索します。本機能はイベントサーチを使用しているときのみ使用できます。 |

| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (18) Intelligent Search (選択的サーチ) | モーション検出フレームで変化を検索します。 |
| (19) 音声 | 音声をオンまたはオフにします。 |
| (20) インターレース除去 | 映像画質を向上させます。動きのない画像をキャプチャする場合はインターレース除去モードを#1 に、動きの多い画像の場合は#2 に設定します。 |

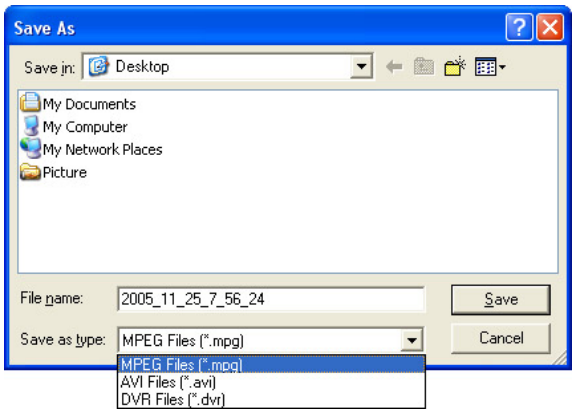
#### 4.4.1.1 録画映像の一部分（時間）を切り取って保存する

1. 再生制御ボタンを使用、または再生プログレスバーをドラッグして、切り取りの開始位置で一時停止します。 **Segment (セグメント)** をクリックして開始マークをつけます。

2. 再生制御ボタンを使用、または再生プログレスバーをドラッグして、切り取りの終了位置で一時停止します。 **Segment (セグメント)** をクリックして終了マークをつけます。 分割を取り消す、またはセグメントマークをリセットする場合は、**Segment (セグメント)** ボタンを再度クリックします。

3. **Output (出力)** ボタンをクリックして切り取ったクリップを保存します。

4. 名前をつけて保存ダイアログボックスでファイルの保存場所を選択し、ファイル名を入力して映像形式を選択します。



## 4.4.2 リアルタイム再生時のボタンの名称と説明

| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (1) 終了 | 本ソフトウェアを終了します。 |
| (2) 画面分割モード | 全カメラの録画映像の均等表示再生または単一カメラの録画映像の再生など、4 つの画面分割再生パターンから選択します。 |

- カメラ入力がが 8ch のため、16 画面・13 画面分割モードに切り替えることはできません。
- 画面上の特定の領域を拡大表示するには、**右**クリックして**ドラッグ**することにより拡大領域を指定します。

| | |
|---|---|
| (3) プログレスバー | 再生中のファイルの進捗を表示します。バー内の任意の位置に移動することでトラック内の該当箇所にジャンプできます。 |
| (4) 時刻ボタン | 時刻を選択してクリックすることで、特定の時間枠の録画映像ファイルを再生します。 |

時刻ボタンは 24 時間形式で時刻を表します。時刻ボタン上の青いバーは、その時間帯の録画映像ファイルが存在することを示します。赤いバーは現在再生中の録画映像ファイルを示します。

| | |
|---|---|
| (5) 再生制御ボタン | **Begin (先頭)**: 録画ファイルの先頭に移動します。<br>**Previous (前)**: 前のコマに戻ります。<br>**Slower (スロー)**: 録画映像のスロー再生 (1/2x, 1/4x, 1/8x)。<br>**Rewind (巻き戻し)**: 録画映像の巻き戻し。<br>**Pause (一時停止)**: 録画映像ファイル再生の一時停止。<br>**Play (再生)**: 録画映像ファイルの再生。<br>**Faster (倍速再生)**: 録画映像の倍速再生 (2x, 4x, 8x, 16x, 32x)。<br>**Next (次)**: 次のコマに進みます。<br>**End (最後)**: 録画ファイルの最後に移動します。 |
| (6) Date (日付) | 録画映像の再生開始日時を指定するには、カレンダーで日付を選択し、00 ～ 23 の間で時刻を選択します。 |

00 ～ 23 の数字は 24 時間形式で時刻を表します。01 ～ 08 の数字はカメラ ID を表します。青いバーは、その時間帯の録画映像ファイルが存在することを示します。また、赤いバーは録画映像ファイルの再生開始位置を示します。

| 名称 | 機能 |
| --- | --- |
| (7) Preview<br>（プレビュー） | プレビューモード/拡張モードの切り替えです。 |
| (8) Playback（再生） | 再生モードに切り替えます。 録画された映像ファイルを表示します。 |
| (9) ステータスバー | 録画日時および再生速度を表示します。 |
| (10) カメラ ID | 映像表示中のカメラ番号を表示します。 シングル画面モード時にカメラ ID 番号をクリックすると、そのカメラの映像に切り替わります。 |
| (11) Export<br>（エクスポート） | **スナップショット:** スクリーンショットをキャプチャして*.jpg または*.bmp 形式で保存します。 |
| (12) Full screen<br>（全画面） | コンパクト再生モードで表示します。 普通表示に戻るにはマウスの右ボタンまたはキーボードの **ESC** ボタンを押します。<br>複数画面モード時に全画面表示に切り替えた場合、**左**クリックで単一映像/全ての映像表示がトグルできます。 |
| (13) Event Log<br>（イベントログ） | システムに記録されたログを表示します。 |
| (14) 音声 | 音声をオンまたはオフにします。 |
| (15) インターレース除去 | 映像画質を向上させます。動きのない画像をキャプチャする場合はインターレース除去モード#1 に、動きの多い画像の場合は#2 に設定します。 |

## 4.4.3 ダウンロードして再生時のボタンの名称と説明

| 名称 | 機能 |
|---|---|
| (1) 終了 | 本アプリケーションを終了します。 |
| (2) プログレスバー | 再生中のファイルの進捗を表示します。バー内の任意の位置に移動することでトラック内の該当箇所にジャンプできます。 |
| (3) 時刻ボタン | 時刻を選択してクリックすることで、特定の時間枠の録画映像ファイルを再生します。 |
| ⓘ | 時刻ボタンは 24 時間形式で時刻を表します。時刻ボタン上の青いバーは、その時間帯の録画映像ファイルが存在することを示します。赤いバーは現在再生中の録画映像ファイルを示します。 |
| (4) 再生制御ボタン | **Begin (先頭)**：録画ファイルの先頭に移動します。<br>**Previous (前)**：前のコマに戻ります。<br>**Slower (スロー)**：録画映像のスロー再生（1/2x, 1/4x, 1/8x）。<br>**Rewind (巻き戻し)**：録画映像の巻き戻し。<br>**Pause (一時停止)**：録画映像ファイル再生の一時停止。<br>**Play (再生)**：録画映像ファイルの再生。<br>**Faster (倍速再生)**：録画映像の倍速再生（2x, 4x, 8x, 16x, 32x）。<br>**Next (次)**：次のコマに進みます。<br>**End (最後)**：録画ファイルの最後に移動します。 |
| (5) ステータスバー | 録画日時および再生速度を表示します。 |
| (6) Language (言語) | 画面表示言語を切り替えます。 |
| (7) Export (エクスポート) | エクスポートにはスナップショット、印刷、映像クリップ出力機能が含まれます。<br>λ **Snapshot (スナップショット)**：スクリーンショットをキャプチャして*.jpg または *.bmp 形式で保存します。<br>λ **Print (印刷)**：スクリーンショットの印刷をします。<br>λ **Output Video Clip (映像クリップ出力)**：分割したファイルを*.mpg、*.avi または *.dvr 形式で保存します。 |

| 名称 | 機能 |
| --- | --- |
| (8) Segment<br>（セグメント） | 録画映像の一部分を分割します。<br>λ 映像クリップを出力するには以下の手順を実行します:<br>1. 再生制御ボタンを使用、または再生プログレスバーをドラッグして、切り取りの開始位置で一時停止します。 **Segment（セグメント）** をクリックして開始マークをつけます。<br> <br><br>2. 再生制御ボタンを使用、または再生プログレスバーをドラッグして、切り取りの終了位置で一時停止します。 **Segment（セグメント）** をクリックして終了マークをつけます。 分割を取り消す、またはセグメントマークをリセットする場合は、**Segment（セグメント）** ボタンを再度クリックします。<br> <br><br>3. **Export（エクスポート）** →**Output Video Clip（映像クリップの出力）** ボタンをクリックして切り取ったクリップを保存します。<br>4. **Save As（名前をつけて保存）** ダイアログボックスでファイルの保存場所を選択し、ファイル名を入力して映像形式を選択します。 |
| (9) Full screen<br>（全画面） | コンパクト再生モードで表示します。 普通表示に戻るにはマウスの右ボタンまたはキーボードの **ESC** ボタンを押します。<br><br>複数画面モード時に全画面表示に切り替えた場合、**左**クリックで単一映像/全ての映像表示がトグルできます。 |
| (10) Event Log<br>（イベントログ） | システムに記録されたログを表します。 |
| (11) Visual Search<br>（ビジュアルサーチ） | 特定のカメラから日付、時刻、分、10 秒単位、秒で検索します。（第 3.6.2 章 参照） |

# 付録 A ドメイン名の登録

**この機能の使用にあたっては池上通信機（株）の代理店もしくは弊社営業担当にご確認ください。お客様のネットワーク環境および設定の変更が必要となる場合があります。**

**DDNS（ダイナミック DNS）**とは、ドメイン名をインターネットアドレスに変換するために主にインターネット上で使用されるデータクエリサービスです。 DDNS を利用することで、リモートクライアントはサーバのインターネットアドレスを事前に問い合わせることなく、ダイナミックサーバーを検索することができます。

このサービスを利用するには、まず以下の Web サイトに自分のドメイン名を登録します

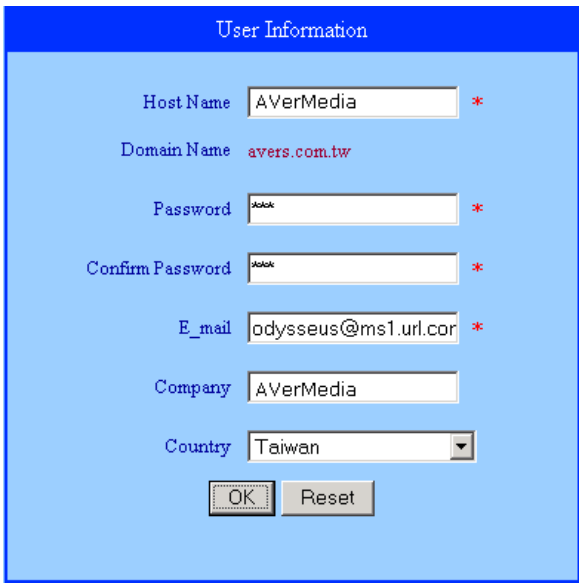
http://ddns.avers.com.tw

1. **User Login（ユーザーログイン）**
   Microsoft IE または Netscape Navigator で Web サイト **ddns.avers.com.tw** を開き、以下のダイアログにアクセスします。

2. まず、CD-Key No. に DVR ユニットの MAC アドレスを入力し、Product（製品）名を選択します。 次に **OK** をクリックしてログインします。入力内容をクリアするには **Reset**（リセット）をクリックします。

- DVR ユニットの MAC アドレスを調べるには、DVR ユニット本体の背面パネルに貼ってあるステッカーを確認します。
- また、DVR ユニットの MAC アドレスは、ネットワーク設定のメイン構成から確認することもできます。 **SETUP（設定）→ NETWORK（ネットワーク）→Main Configuration（メイン構成）**を選択します。

3. **User Information（ユーザー情報）**
   次のユーザー情報を入力します: **Host Name（ホスト名）**（他のユーザーの迷惑にならない限り、お好きな名前を選択することができます）、**Password（パスワード）**、E-mail、Company（**会社名**）、Country（**国名**）。 最後に **OK** をクリックしてドメイン名の登録を完了します。



# 付録 B ネットワークのサービスポート

以下は、DVR サーバが特定のネットワークサービスに対し使用するポートの表です。

| | ポート# | 可変 |
|---|---|---|
| Remote Console (リモートコンソール) | 5550 | Y |
| WebViewer | 80 | Y |
| CM3000 | 80 | Y |
| ファームウェアの更新 | 5005 | Y |
| DVR DDNS (アップロード/ダウンロード) | 53/1053 | N |

# 付録 C　ファンクションキーの使用

本 DVR システムはショートカットキーを提供します。 以下はファンクションキーとその説明です。

| ファンクションキー | 説明 |
|---|---|
| Q | システムを終了する |
| F1 | システム情報の表示 |
| F2 | 録画開始 |
| F3 | ネットワーク機能の有効化 |
| F4 | システム設定へのアクセス |
| F5 | 再生モードに切り替え |
| F6 | E マップモードに切り替え |
| F7 | PTZ カメラのコントロールパネルへアクセスする |
| F8 | スナップショット |
| F9 | 全画面表示に切り替え |
| F11 | オートスキャンに切り替え |

# 保証について

**限定保証**

本製品の製造者である AVerMedia INFORMATION, Inc.と販売者である池上通信機（株）は以下の条件において、本製品の製造上の不良または部品の不良に起因する欠陥がないことを保証します:

**保証期間**

池上通信機（株）の保証規定によります。

お買い上げ日から 1 年間の修理保証をいたします。

お買い上げ日から 1 年間の部品保証をいたします。

交換製品については、元の 1 年間の保証期間内、または 30 日間のうちのいずれか長いほうが保証期間となります。

**保証対象者**

池上通信機（株）発行の保証書の提示をもって有効となります。

この保証は日本国内に対してのみ有効です。

**保証の対象・対象外となる場合**

下記に記載された場合を除き、この保証は本製品の製造不良に起因するすべての欠陥を対象とします。 以下の場合は保証対象外となります。

1. シリアル番号が損傷、修正、除去された製品
2. 以下に起因する損傷、劣化、機能不全:

   事故、不正使用、誤使用、放置、火事、水害、落雷あるいはその他の自然災害、商業的あるいは工業的利用、不正な製品改造、または製品付属のマニュアルの記載に従わなかった場合。

   池上通信機（株）またはその代行者以外の何者かによるサービスの不正利用。

   製品欠陥に関係のないその他のあらゆる原因
3. 本製品と共に使用された段ボール箱、ケース、電池、キャビネット、テープまたはアクセサリ。
4. AVerMedia 社は、本製品がお客様の要件に適合することにつき保証しません。本製品がお客様の目的に適合しているかどうかはお客様の自己責任でご判断ください。
5. ハードディスクドライブは消耗品です。保証対象ではありません。

**費用負担について**

以下についてはお客様の負担となります。

1. 製品の取り外しおよび設置費用
2. 送料
3. それらのあらゆる付随的費用

**例外とされる損傷**

本保証についてメーカーが負う義務および責任は、製造者である AVerMedia INFORMATION, Inc の判断による欠陥品の修理または交換のみに限られます。 いかなる場合においても、メーカーは本製品の購入者またはあらゆる第三者に対し、付随的または結果的損害（サービスの中断や業務上の損失に起因する損害を含むが必ずしもこれらに限定されない）の責任を負わず、本製品に関する、または本製品の使用や所有に起因する不正行為の責任を負わないものとします。

**黙示的保証の限定**

本書に記載された以外の口述または書面による保証は、市販性、特定目的との適合性に関し（ただし必ずしもこれらに限定されない）表現としてまたは黙示的に存在しません。 あらゆる黙示の保証は、お買い上げ日から 1 年間に限られます。

**国家または州の法律と保証について**

この保証はお客様に特定の法的権利を与えるものです。お客様には国家または州の法律に保証されたその他の権利が認められる場合もあります。 これらの権利はお住まいの地域によって異なります。

〈〈 メモ 〉〉

**ハイブリッドデジタルレコーダー**
**SDR-108HV**
**ユーザーマニュアル**

本書の一部または全部を、著作権法の範囲を超えて
無断で複写、複製、テープ化、ファイル化等を行い、
それを配布することを禁じます。
予告なく、仕様，構成を変更することがあります。

Copyright. 2010. 池上通信機株式会社

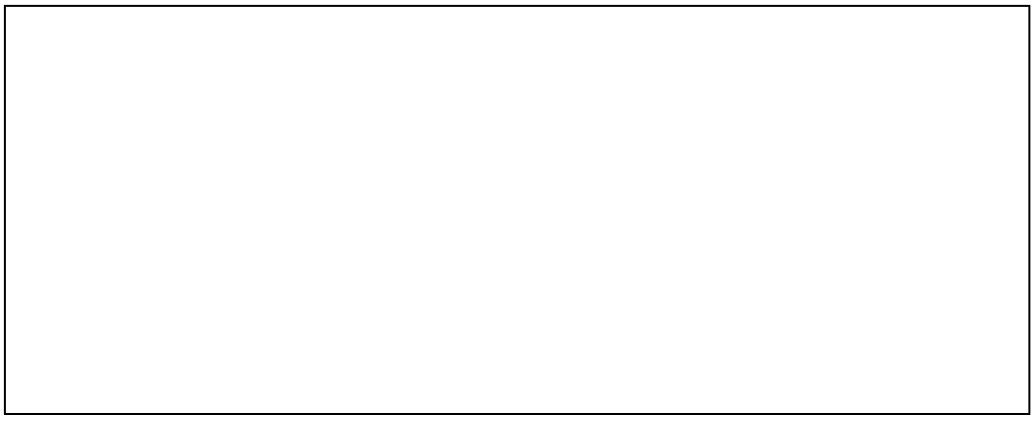
## 製造元

AVerMedia INFORMATION, Inc.
5F No. 135, Jian Yi Rd., Chung Ho City, Taipei, Taiwan
TEL: 886-2-2226-3630
FAX: 886-2-2226-7241
ウェブサイト: http://www.avermedia.com
http://www.averdigi.com

## お問い合わせ先

池上通信機株式会社映像情報事業本部

| | | |
|---|---|---|
| 国内営業部門 | 146-8567 東京都大田区池上 5-6-16 | 03-5748-2211 |
| 大阪支店 | 564-0052 大阪府吹田市広芝町 9-6 第一江坂池上ビル | 06-6389-4466 |
| 名古屋営業所 | 465-0051 名古屋市名東区杜が丘 1-1506 加藤第 2 ビル | 052-705-6521 |
| 福岡営業所 | 812-0016 福岡市博多区博多駅南 3-7-10 ST ビル | 092-451-2521 |
| 仙台営業所 | 983-0862 仙台市宮城野区二十人町 99 仙台 NE ビル | 022-292-2420 |
| 札幌営業所 | 060-0051 札幌市中央区南一条東 1-3 パークイースト札幌 | 011-231-8218 |

Ikegami

NN-U017125-00